

にかほ市国民健康保険
第3期データヘルス計画
及び
第4期特定健康診査等実施計画



「旗の行列」 1987年 ©Shuzo IKEDA

令和6年3月

にかほ市

はじめに	3
第1部 第3期データヘルス計画	
第1章 計画策定について	
1. 計画の趣旨	5
2. 計画期間	6
3. 実施体制・関係者連携	6
4. データ分析期間	7
第2章 地域の概況	
1. 地域の特性	8
2. 人口構成	9
3. 医療基礎情報	12
4. 平均余命と平均自立期間	13
5. 介護保険の状況	15
6. 死亡の状況	21
第3章 過去の取り組みの考察	
1. 第2期データヘルス計画全体の評価	24
2. 各事業の達成状況	25
第4章 健康・医療情報等の分析	
1. 医療費の基礎集計	48
2. 生活習慣病に関する分析	57
3. 健康診査データによる分析	62
4. 被保険者の階層化	66
第5章 健康課題の抽出と保健事業の実施内容	
1. 分析結果に基づく健康課題の抽出と解決のための対策	68
2. 健康課題を解決するための個別の保健事業	70
第6章 その他	
1. 計画の評価及び見直し	82
2. 計画の公表・周知	82
3. 個人情報の取扱い	82
4. 地域包括ケアに係る取り組み及びその他の留意事項	83
第2部 第4期特定健康診査等実施計画	
第1章 特定健康診査等実施計画について	
1. 計画策定の趣旨	85
2. 特定健康診査等実施計画の位置づけ	85
3. 計画期間	85
4. データ分析期間	86
第2章 特定健康診査及び特定保健指導の現状と評価	
1. 取り組みの実施内容	87
2. 特定健康診査の受診状況	88
3. 特定保健指導の実施状況	91
4. メタボリックシンドローム該当状況	97
5. 第3期計画の評価と考察	98

[illegible]

はじめに

厚生労働省が令和元年に策定した「健康寿命延伸プラン」においては、令和22年までに健康寿命を男女ともに3年以上延伸し(平成28年比)、75歳以上とすることを目指すとしています。またそのためには、「次世代を含めた全ての人の健やかな生活習慣形成」、「疾病予防・重症化予防」、「介護予防・フレイル対策、認知症予防」の3分野を中心に取り組みを推進することとあります。健康寿命の延伸は社会全体の課題ですが、目標達成に向けては地域の特性や現状を踏まえた健康施策の検討・推進が必要不可欠であり、地方自治体が担う役割は大きくなっています。

また、令和2年から世界的に大流行した新型コロナウイルス感染症は、国内でも感染が拡大し、価値観や生活様式等が大きく変化しました。健康・医療分野においては、コロナ禍の中で全国的に健(検)診や医療機関の受診控えがみられ、健(検)診受診率、医療費の動向及び疾病構造等に影響が出ました。一方、コロナ禍をきっかけとして、オンライン診療やオンライン服薬指導、ICTを活用した保健指導等の支援サービスの普及が加速度的に進むなど、現在は大きな転換期にあります。

にかほ市国民健康保険においては、「データヘルス計画」(第1期～第2期)及び「特定健康診査等実施計画」(第1期～第3期)を策定し、計画に定める保健事業を推進してきました。「データヘルス計画」はデータ分析に基づく保健事業の実施内容やその目的・目標を、「特定健康診査等実施計画」は保健事業の中核をなす特定健康診査・特定保健指導の実施方法や目標等をそれぞれ定めたもので、いずれも、被保険者の生活の質(QOL)の維持・向上、健康寿命の延伸、その結果としての医療費適正化に資することを目的としています。このたび令和5年度に両計画が最終年度を迎えることから、過去の取り組みの成果・課題を踏まえ、より効果的・効率的に保健事業を実施するために、「第3期データヘルス計画」と「第4期特定健康診査等実施計画」を一体的に策定します。

計画書の構成

		目的	根拠法令
第1部	第3期データヘルス計画	健康・医療情報等を活用したデータ分析に基づき、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施計画を定め、実施及び評価を行う。	国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針(厚生労働省告示)
第2部	第4期特定健康診査等実施計画	特定健康診査等基本指針(厚生労働省告示)に基づき、特定健康診査及び特定保健指導の実施方法や目標等、基本的な事項を定める。	高齢者の医療の確保に関する法律第19条

第1部
第3期データヘルス計画

第1章 計画策定について

1. 計画の趣旨

(1) 背景

平成25年6月に閣議決定された「日本再興戦略」において、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」と掲げられました。またこれを受け、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」の一部が改正され、「市町村及び組合は(中略)健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画を策定した上で、保健事業の実施及び評価を行うこと。」と定められました。その後、平成30年4月から都道府県が財政運営の責任主体として共同保険者となり、また、令和2年7月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2020(骨太方針2020)」において、データヘルス計画の標準化等の取り組みの推進が掲げられ、令和4年12月の経済財政諮問会議における「新経済・財政再生計画 改革工程表2022」においては、データヘルス計画の標準化の進展にあたり、保険者共通の評価指標やアウトカムベースでの適切なKPI※の設定を推進するとの方針が示されました。このように、全ての保険者にデータヘルス計画の策定が求められ、効果的・効率的な保健事業の実施に向けて、標準化の取り組みの推進や評価指標の設定の推進が進められています。

市町村国保においては、幅広い年代の被保険者が存在するため、これらの年代の身体的な状況等に応じた健康課題を的確に捉え、課題に応じた保健事業を実施することにより、健康の保持増進、生活の質(QOL)の維持及び向上が図られ、結果として、医療費の適正化に資すると考えられます。本計画は、第1期及び第2期計画における実施結果等を踏まえ、PDCAサイクルに沿った保健事業の展開、達成すべき目標やその指標等を定めたものです。計画の推進に当たっては、医療介護分野における連携を強化し、地域の実情に根差したきめ細かな支援の実現を目指し、地域で一体となって被保険者を支える地域包括ケアの充実・強化に努めるものとします。

※KPI…Key Performance Indicatorの略称。重要業績評価指標。

(2) 計画の位置づけ

保健事業の実施計画(データヘルス計画)とは、被保険者の健康の保持増進に資することを目的として、保険者が効果的・効率的な保健事業の実施を図るため、特定健康診査・特定保健指導の結果、レセプトデータ等の健康・医療情報を活用して、PDCAサイクルに沿って運用するものです。

データヘルス計画の策定に当たっては、健康増進法に基づく「基本的な方針」を踏まえ、健康寿命の延伸と健康格差の縮小等を基本的な方向とするとともに、関連する他計画(健康増進計画、医療費適正化計画、介護保険事業計画、高齢者保健事業の実施計画(データヘルス計画)、国民健康保険運営方針、特定健康診査等実施計画)と調和のとれた内容とします。本計画において推進・強化する取り組み等については他計画の関連事項・関連目標を踏まえて検討し、関係者等に共有し、理解を図るものとします。

2. 計画期間

計画期間は、関係する計画との整合性を踏まえ、令和6年度から令和11年度までの6年間とします。

3. 実施体制・関係者連携

(1) 保険者内の連携体制の確保

にかほ市国民健康保険における健康課題の分析や計画の策定、保健事業の実施、評価等は、保健衛生部局等の関係部局や県、保健所、国民健康保険団体連合会等の関係機関の協力を得て、国保部局が主体となって行います。国民健康保険には幅広い年代の被保険者が属し、その健康課題もさまざまであることから、後期高齢者医療部局や介護保険部局、生活保護部局(福祉事務所等)等と連携してそれぞれの健康課題を共有するとともに、後期高齢者や生活保護受給者の健康課題も踏まえて保健事業を展開します。

国保部局は、研修等による職員の資質向上に努め、計画期間を通じてPDCAサイクルに沿った計画運用ができるよう、体制を確保します。

(2) 関係機関との連携

計画の実効性を高めるためには、関係機関との連携・協力が重要となります。共同保険者である秋田県のほか、国民健康保険団体連合会や連合会内に設置される支援・評価委員会、地域の医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、栄養士会等の保健医療関係者等、保険者協議会、後期高齢者医療広域連合、健康保険組合等の他の医療保険者、地域の医療機関や大学等の社会資源等と健康課題を共有し、連携強化に努めます。

また、計画は、被保険者の健康保持増進が最終的な目標であり、被保険者自身が主体的、積極的に健康づくりに取り組むことが重要であることから、第2部に掲げる特定健康診査等実施計画による、特定健診・特定保健指導により生活習慣病の予防に努めます。

4. データ分析期間

■入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト

単年分析

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)

■健康診査データ

単年分析

令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)

■国保データベース(KDB)システムデータ

平成30年度～令和4年度(5年分)

■介護データ(KDB「要介護(支援)者突合状況」を使用)

単年分析

令和4年4月～令和5年3月分(12カ月分)

第2章 地域の概況

1. 地域の特性

(1) 地理的・社会的背景

秋田県南西部に位置し、南に鳥海山、西に日本海を臨む、山と海に抱かれた風光明媚なまちです。南北約23km、東西約17kmの範囲に広がり、面積は241.13㎢となっています。鳥海山の山すそが海岸近くまで延び、海岸部の平野部に人口が集中しています。気候は、秋田県内では春の訪れが最も早く降雪量は最も少ない地域です。市内を国道7号と日本海沿岸東北自動車道、JR羽越本線が走り、秋田県南西部の玄関口となっています。

(2) 医療アクセスの状況

以下は、本市の令和4年度における、医療提供体制を示したものです。診療所数・病床数・医師数がいずれも秋田県より少ないことを踏まえた考察が必要となります。

医療提供体制（令和4年度）

医療項目	にかほ市	県	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.4	0.3	0.4	0.3
診療所数	3.3	4.2	3.5	4.2
病床数	37.5	75.5	67.7	61.1
医師数	4.2	12.8	9.7	13.8
外来患者数	838.3	763.6	728.3	709.6
入院患者数	22.4	22.7	23.6	18.8

出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

2. 人口構成

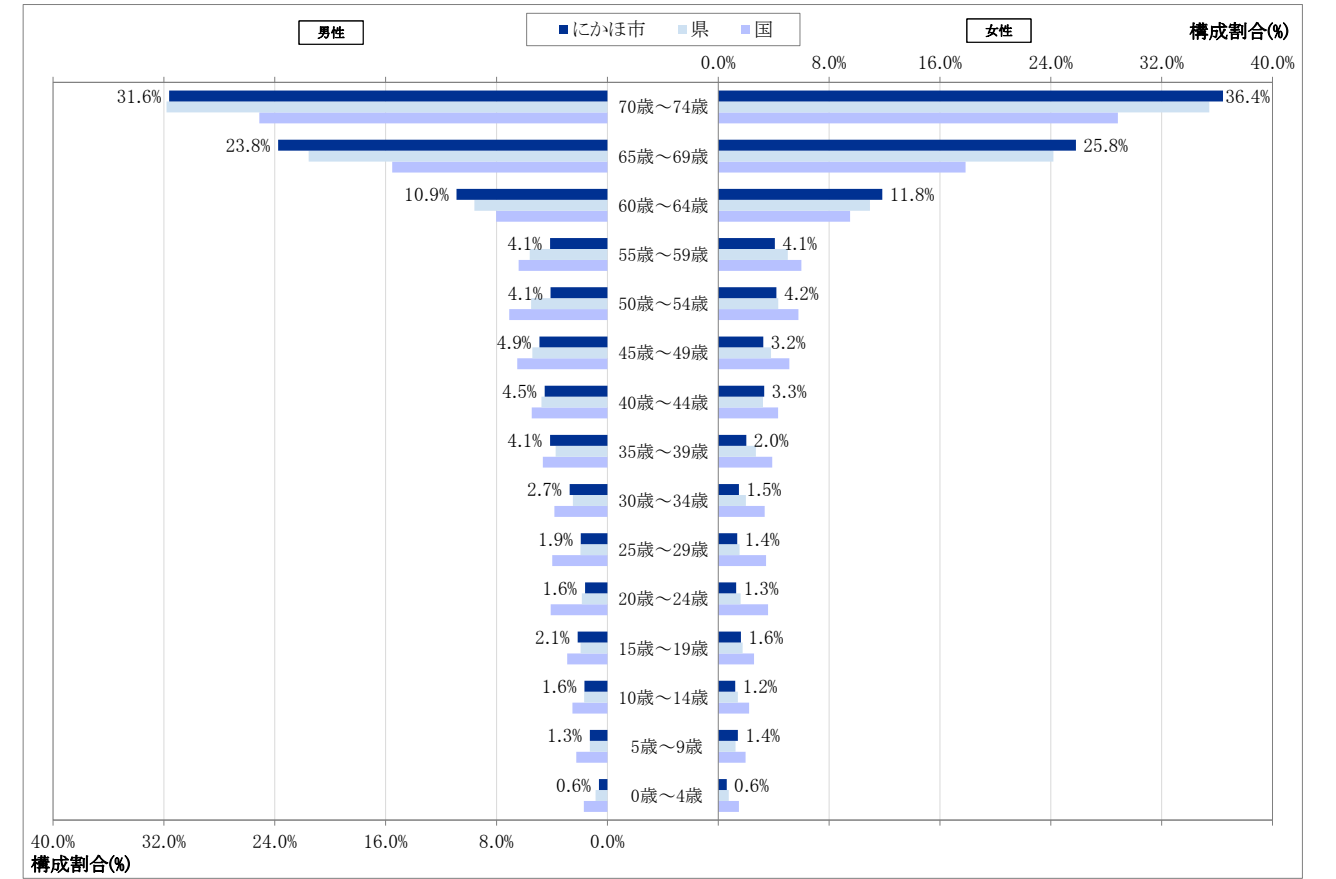
以下は、本市の令和4年度における人口構成概要を示したものです。国民健康保険被保険者数は5,228人で、市の人口に占める国民健康保険加入率は22.3%です。国民健康保険被保険者平均年齢は59.5歳で、国53.4歳より6.1歳高く、秋田県58.9歳より0.6歳高いです。

人口構成概要(令和4年度)

区分	人口総数(人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
にかほ市	23,425	39.0%	5,228	22.3%	59.5	3.6	15.8
県	950,928	37.6%	190,257	20.0%	58.9	4.7	16.2
同規模	32,195	36.2%	7,214	22.4%	56.1	5.5	15.1
国	123,214,261	28.7%	24,660,500	20.0%	53.4	6.8	11.1

※「県」は秋田県を指す。以下全ての表において同様である。
出典：国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(令和4年度)



出典：国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

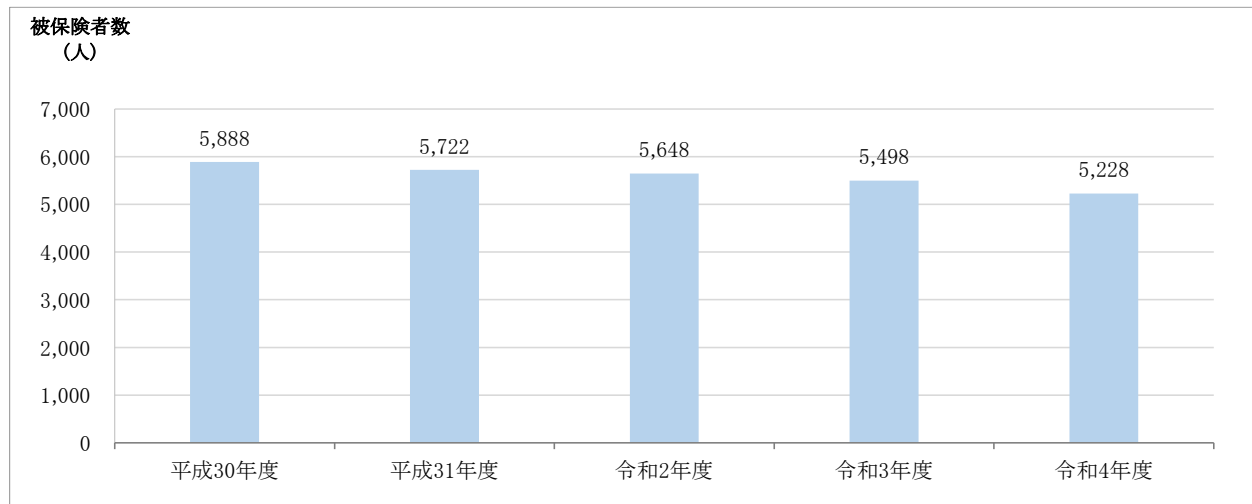
以下は、本市の平成30年度から令和4年度における、人口構成概要を年度別に示したものです。令和4年度を平成30年度と比較すると、国民健康保険被保険者数5,228人は平成30年度5,888人より660人減少、11.2%減少しており、国民健康保険被保険者平均年齢59.5歳は平成30年度58.8歳より0.7歳上昇しています。被保険者数が11.0%減少、平均年齢は1.3歳上昇している秋田県よりも上昇幅が小さいです。

年度別 人口構成概要

区分		人口総数 (人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者 数(人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
にかほ市	平成30年度	25,301	34.4%	5,888	23.3%	58.8	5.6	14.1
	令和4年度	23,425	39.0%	5,228	22.3%	59.5	3.6	15.8
県	平成30年度	1,014,579	33.8%	213,698	21.1%	57.6	5.8	14.6
	令和4年度	950,928	37.6%	190,257	20.0%	58.9	4.7	16.2
同規模	平成30年度	33,668	32.9%	8,090	24.0%	54.9	6.6	14.2
	令和4年度	32,195	36.2%	7,214	22.4%	56.1	5.5	15.1
国	平成30年度	125,640,987	26.6%	28,039,851	22.3%	52.5	8.0	10.3
	令和4年度	123,214,261	28.7%	24,660,500	20.0%	53.4	6.8	11.1

出典:国保データベース (KDB) システム 「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

年度別 被保険者数



出典:国保データベース (KDB) システム 「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

以下は、男女・年齢階層別被保険者数を年度別に示したものです。

年度別 男女・年齢階層別国民健康保険被保険者数 単位:人

年齢階層	平成30年度			平成31年度			令和2年度		
	男女合計	男性	女性	男女合計	男性	女性	男女合計	男性	女性
0歳～4歳	57	23	34	49	16	33	44	21	23
5歳～9歳	73	44	29	74	41	33	82	42	40
10歳～14歳	82	43	39	82	50	32	73	35	38
15歳～19歳	111	59	52	113	58	55	110	62	48
20歳～24歳	89	46	43	85	36	49	67	35	32
25歳～29歳	90	60	30	90	60	30	86	52	34
30歳～34歳	137	89	48	129	82	47	124	84	40
35歳～39歳	189	110	79	181	109	72	173	112	61
40歳～44歳	206	129	77	207	125	82	214	125	89
45歳～49歳	214	100	114	209	103	106	201	102	99
50歳～54歳	199	114	85	199	107	92	201	107	94
55歳～59歳	358	179	179	319	165	154	286	146	140
60歳～64歳	833	370	463	746	329	417	670	292	378
65歳～69歳	1,719	811	908	1,561	734	827	1,487	716	771
70歳～74歳	1,531	740	791	1,678	806	872	1,830	879	951
合計	5,888	2,917	2,971	5,722	2,821	2,901	5,648	2,810	2,838

年齢階層	令和3年度			令和4年度		
	男女合計	男性	女性	男女合計	男性	女性
0歳～4歳	46	24	22	32	16	16
5歳～9歳	68	37	31	70	33	37
10歳～14歳	77	36	41	75	43	32
15歳～19歳	95	56	39	99	56	43
20歳～24歳	72	41	31	76	42	34
25歳～29歳	93	53	40	86	50	36
30歳～34歳	109	72	37	110	71	39
35歳～39歳	172	113	59	161	108	53
40歳～44歳	191	114	77	205	118	87
45歳～49歳	211	113	98	213	128	85
50歳～54歳	214	106	108	217	107	110
55歳～59歳	246	134	112	215	108	107
60歳～64歳	642	293	349	594	284	310
65歳～69歳	1,389	669	720	1,296	620	676
70歳～74歳	1,873	877	996	1,779	825	954
合計	5,498	2,738	2,760	5,228	2,609	2,619

出典:国保データベース (KDB) システム「人口及び被保険者の状況」

3. 医療基礎情報

以下は、本市の令和4年度における、医療基礎情報を示したものです。本市の受診率は860.7であり、秋田県と比較すると74.4ポイント高いです。また、一件当たり医療費は35,860円であり、秋田県より11.7%低いです。外来・入院別にみると、外来においては受診率は秋田県より高く、一件当たり医療費は秋田県より低いです。入院においては入院率・一件当たり医療費いずれも秋田県より低いです。

医療基礎情報（令和4年度）

医療項目	にかほ市	県	同規模	国
受診率	860.7	786.3	751.9	728.4
一件当たり医療費(円)	35,860	40,590	42,450	39,870
一般(円)	35,850	40,590	42,450	39,870
退職(円)	0	51,540	69,760	67,230
外来				
外来費用の割合	59.9%	58.4%	56.7%	59.9%
外来受診率	838.3	763.6	728.3	709.6
一件当たり医療費(円)	22,060	24,410	24,850	24,520
一人当たり医療費(円) ※	18,490	18,640	18,100	17,400
一日当たり医療費(円)	16,240	17,720	16,990	16,500
一件当たり受診回数	1.4	1.4	1.5	1.5
入院				
入院費用の割合	40.1%	41.6%	43.3%	40.1%
入院率	22.4	22.7	23.6	18.8
一件当たり医療費(円)	551,980	585,450	585,610	619,090
一人当たり医療費(円) ※	12,370	13,280	13,820	11,650
一日当たり医療費(円)	31,240	33,560	34,310	38,730
一件当たり在院日数	17.7	17.4	17.1	16.0

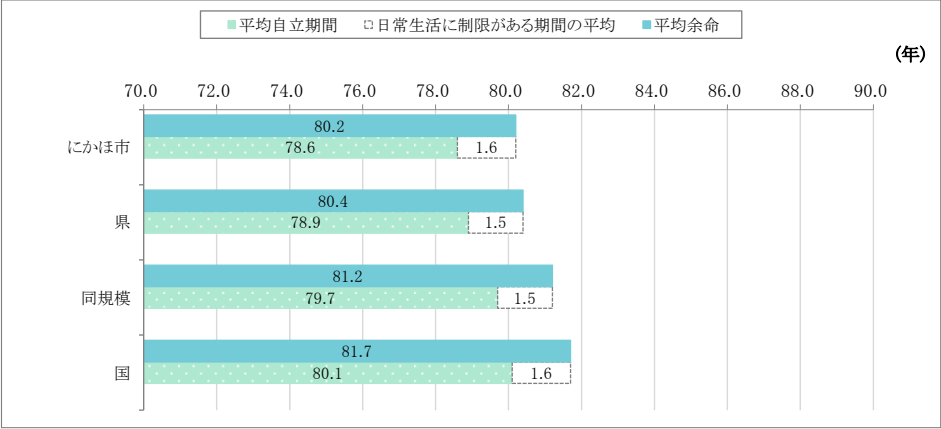
出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」
※一人当たり医療費…1カ月分相当。

4. 平均余命と平均自立期間

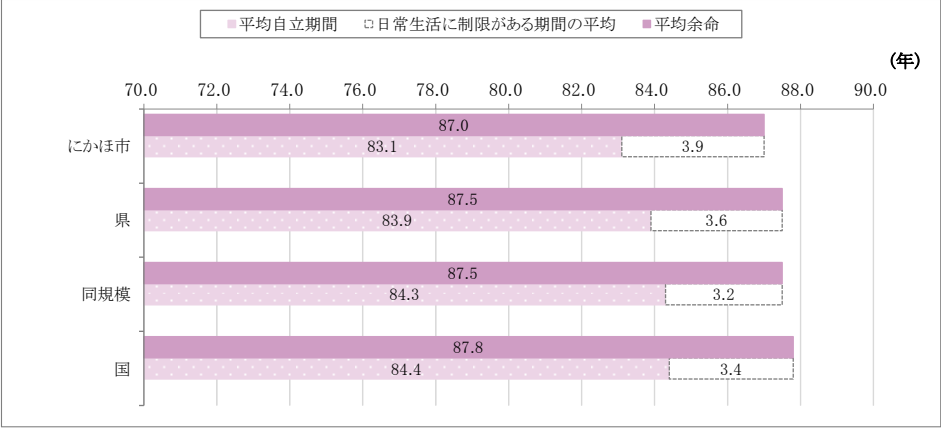
以下は、令和4年度における平均余命と平均自立期間の状況を示したものです。平均余命は、ある年齢の人々がその後何年生きられるかという期待値を指し、ここでは0歳時点の平均余命を示しています。また、平均自立期間は、要介護2以上になるまでの期間を「日常生活動作が自立している期間」としてその平均を算出したもので、健康寿命の指標の一つです。平均余命と平均自立期間の差は、日常生活に制限がある期間を意味しています。

本市の男性の平均余命は80.2年で秋田県より0.2年短く、平均自立期間は78.6年で秋田県より0.3年短いです。日常生活に制限がある期間の平均は1.6年で、秋田県の1.5年より長いです。本市の女性の平均余命は87.0年で秋田県より0.5年短く、平均自立期間は83.1年で秋田県より0.8年短いです。日常生活に制限がある期間の平均は3.9年で、秋田県の3.6年より長いです。

(男性) 平均余命と平均自立期間、日常生活に制限がある期間の平均(令和4年度)

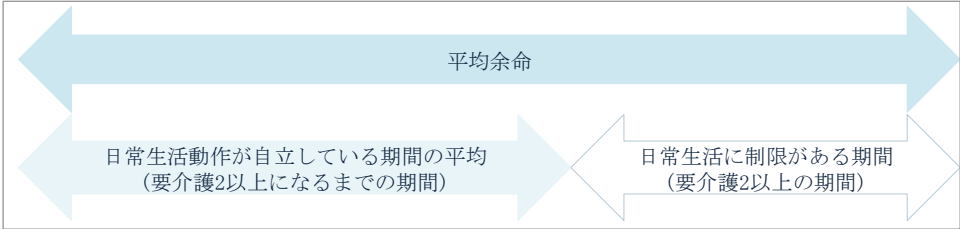


(女性) 平均余命と平均自立期間、日常生活に制限がある期間の平均(令和4年度)



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

【参考】 平均余命と平均自立期間について



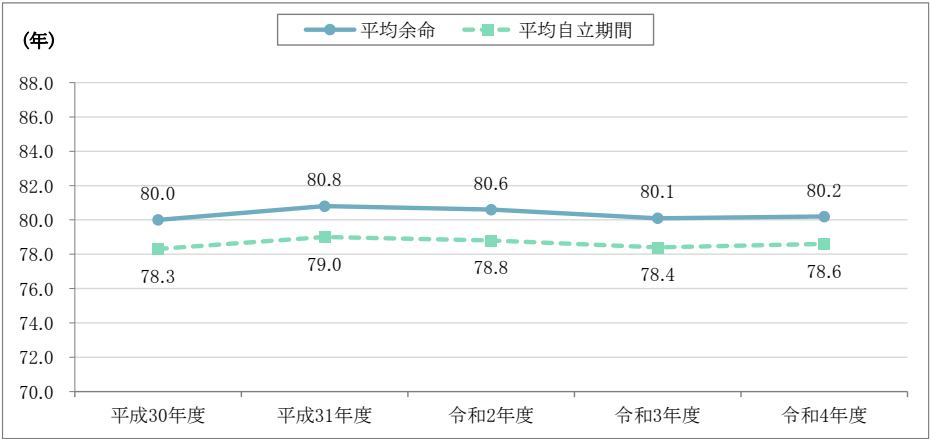
以下は、本市の平成30年度から令和4年度における平均余命と平均自立期間の状況を示したものです。男性における令和4年度の平均自立期間78.6年は平成30年度78.3年から0.3年延伸しています。女性における令和4年度の平均自立期間83.1年は平成30年度82.2年から0.9年延伸しています。この影響もあって、男性の平均余命は0.2年延伸し、女性の平均余命は1.2年延伸しています。

年度・男女別 平均余命と平均自立期間、日常生活に制限がある期間の平均

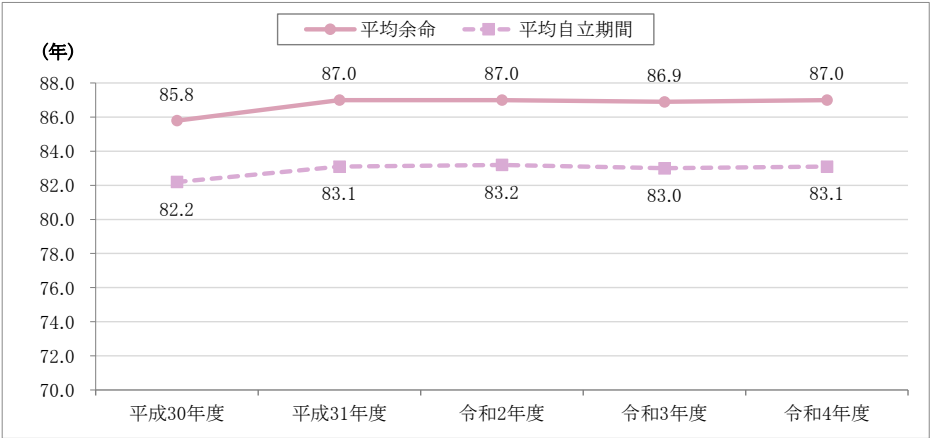
年度	男性			女性		
	平均余命(年)	平均自立期間(年)	日常生活に制限がある期間の平均(年)	平均余命(年)	平均自立期間(年)	日常生活に制限がある期間の平均(年)
平成30年度	80.0	78.3	1.7	85.8	82.2	3.6
平成31年度	80.8	79.0	1.8	87.0	83.1	3.9
令和2年度	80.6	78.8	1.8	87.0	83.2	3.8
令和3年度	80.1	78.4	1.7	86.9	83.0	3.9
令和4年度	80.2	78.6	1.6	87.0	83.1	3.9

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(男性)年度別 平均余命と平均自立期間



(女性)年度別 平均余命と平均自立期間



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

5. 介護保険の状況

(1) 要介護(支援)認定状況

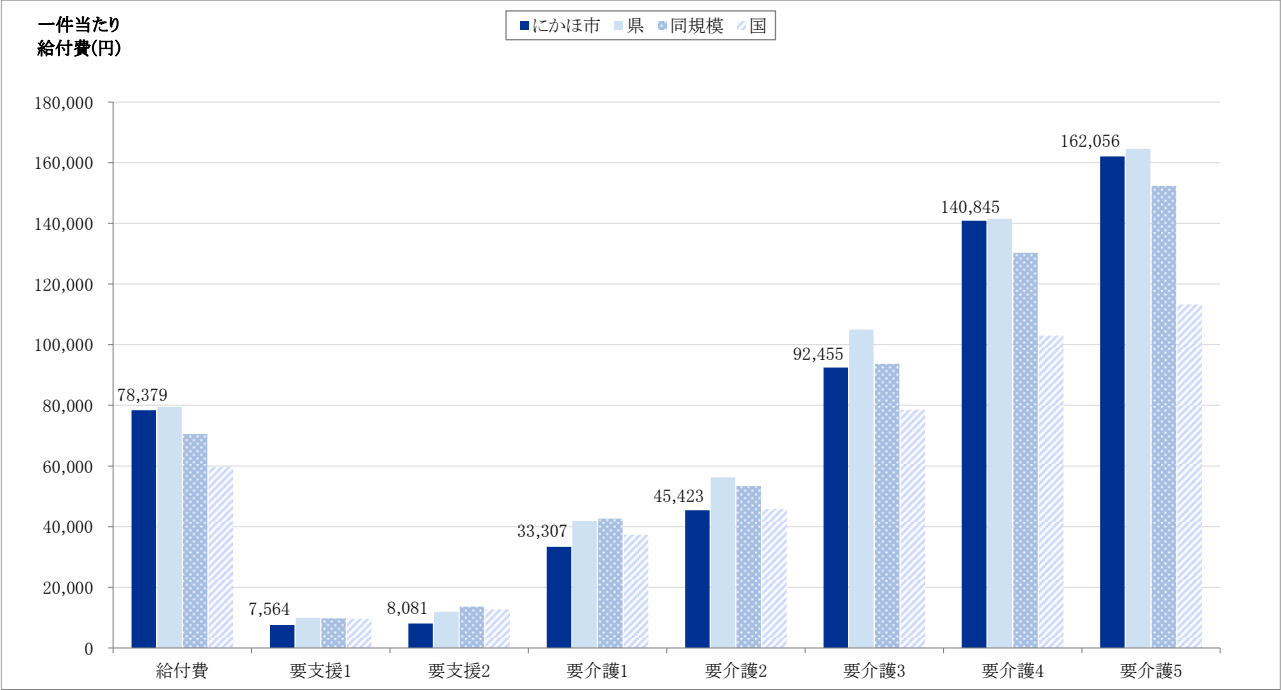
以下は、本市の令和4年度における、要介護(支援)認定率及び介護給付費等の状況を示したものです。認定率19.0%は秋田県より1.5ポイント低く、一件当たり給付費78,379円は秋田県より1.3%低いです。一件当たり給付費は、全ての要支援・要介護区分において本市が秋田県よりも低くなっています。

要介護(支援)認定率及び介護給付費等の状況(令和4年度)

区分	にかほ市	県	同規模	国
認定率	19.0%	20.5%	19.1%	19.4%
認定者数(人)	1,742	73,980	630,569	6,880,137
第1号(65歳以上)	1,716	72,642	619,810	6,724,030
第2号(40～64歳)	26	1,338	10,759	156,107
一件当たり給付費(円)				
給付費	78,379	79,448	70,503	59,662
要支援1	7,564	9,890	9,733	9,568
要支援2	8,081	11,925	13,649	12,723
要介護1	33,307	41,825	42,595	37,331
要介護2	45,423	56,239	53,391	45,837
要介護3	92,455	104,925	93,678	78,504
要介護4	140,845	141,522	130,313	103,025
要介護5	162,056	164,594	152,364	113,314

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

要介護度別 一件当たり介護給付費(令和4年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

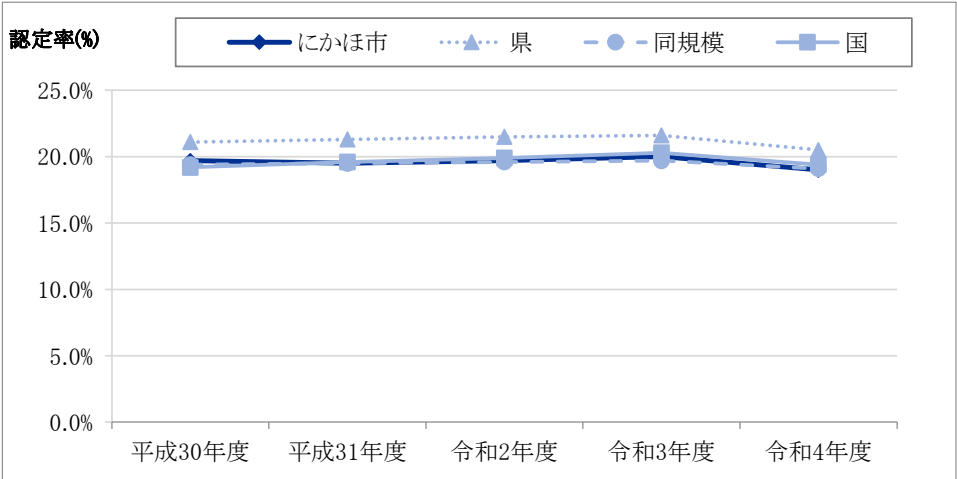
以下は、平成30年度から令和4年度における、要介護(支援)認定率及び認定者数を年度別に示したものです。令和4年度認定率19.0%は平成30年度19.7%より0.7ポイント減少しています。減少幅は秋田県と同水準であり、いずれの年度も本市の認定率が秋田県を下回る状況が続いています。

年度別 要介護(支援)認定率及び認定者数

区分		認定率	認定者数(人)		
				第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)
にかほ市	平成30年度	19.7%	1,730	1,708	22
	平成31年度	19.5%	1,751	1,725	26
	令和2年度	19.7%	1,767	1,746	21
	令和3年度	20.0%	1,779	1,752	27
	令和4年度	19.0%	1,742	1,716	26
県	平成30年度	21.1%	74,345	72,853	1,492
	平成31年度	21.3%	75,620	74,174	1,446
	令和2年度	21.5%	75,529	74,152	1,377
	令和3年度	21.6%	75,269	73,884	1,385
	令和4年度	20.5%	73,980	72,642	1,338
同規模	平成30年度	19.4%	584,451	573,606	10,845
	平成31年度	19.5%	606,045	595,070	10,975
	令和2年度	19.6%	614,438	603,658	10,780
	令和3年度	19.7%	625,835	615,011	10,824
	令和4年度	19.1%	630,569	619,810	10,759
国	平成30年度	19.2%	6,482,704	6,329,312	153,392
	平成31年度	19.6%	6,620,276	6,467,463	152,813
	令和2年度	19.9%	6,750,178	6,595,095	155,083
	令和3年度	20.3%	6,837,233	6,681,504	155,729
	令和4年度	19.4%	6,880,137	6,724,030	156,107

出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 要介護(支援)認定率



出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

(2) 要介護(支援)認定者の疾病別有病状況

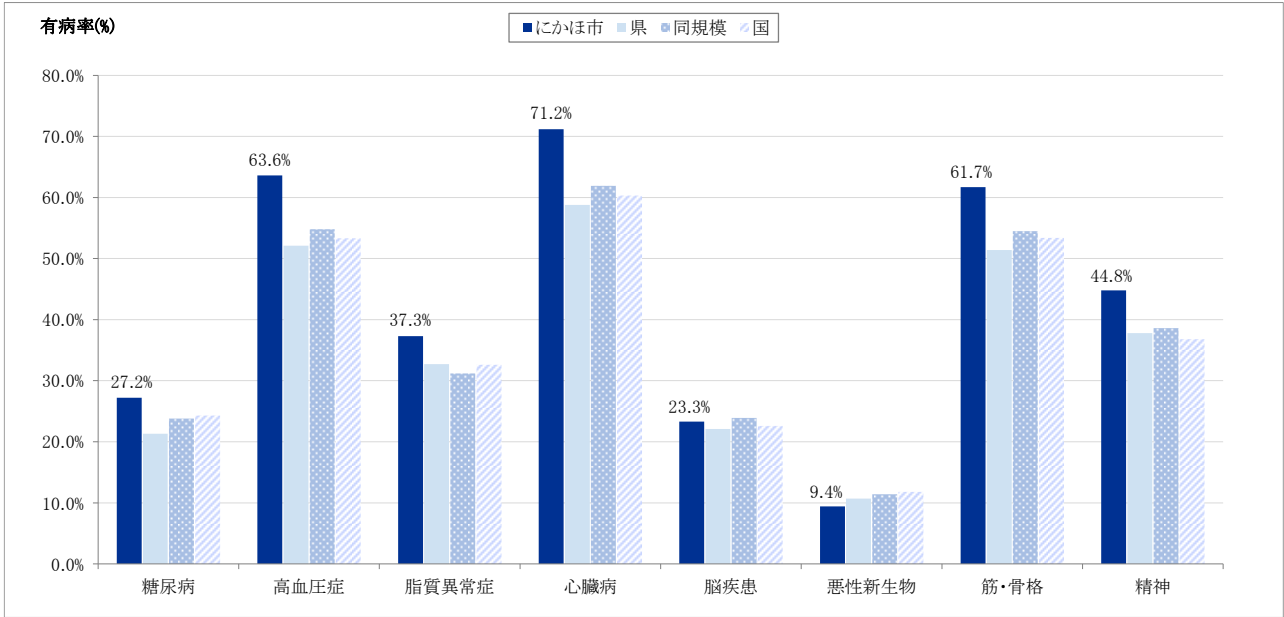
以下は、本市の令和4年度における、要介護(支援)認定者の疾病別有病率を示したものです。心臓病71.2%が第1位、高血圧症63.6%が第2位、筋・骨格61.7%が第3位です。上位3疾病は秋田県と同一であり、有病率はいずれも秋田県より大幅に高いです。なお、KDB定義では心臓病に高血圧症が含まれており、この点について留意する必要があります。

要介護(支援)認定者の疾病別有病状況(令和4年度) ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

区分		にかほ市	順位	県	順位	同規模	順位	国	順位
認定者数(人)		1,742		73,980		630,569		6,880,137	
糖尿病	実人数(人)	431	6	15,993	7	154,694	6	1,712,613	6
	有病率	27.2%		21.3%		23.8%		24.3%	
高血圧症	実人数(人)	1,052	2	39,186	2	352,398	2	3,744,672	3
	有病率	63.6%		52.1%		54.8%		53.3%	
脂質異常症	実人数(人)	639	5	24,749	5	203,112	5	2,308,216	5
	有病率	37.3%		32.7%		31.2%		32.6%	
心臓病	実人数(人)	1,172	1	44,159	1	397,324	1	4,224,628	1
	有病率	71.2%		58.8%		61.9%		60.3%	
脳疾患	実人数(人)	355	7	16,300	6	151,330	7	1,568,292	7
	有病率	23.3%		22.1%		23.9%		22.6%	
悪性新生物	実人数(人)	155	8	8,137	8	74,764	8	837,410	8
	有病率	9.4%		10.7%		11.4%		11.8%	
筋・骨格	実人数(人)	1,022	3	38,892	3	350,465	3	3,748,372	2
	有病率	61.7%		51.4%		54.5%		53.4%	
精神	実人数(人)	744	4	28,474	4	246,296	4	2,569,149	4
	有病率	44.8%		37.8%		38.6%		36.8%	

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

要介護(支援)認定者の疾病別有病率(令和4年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

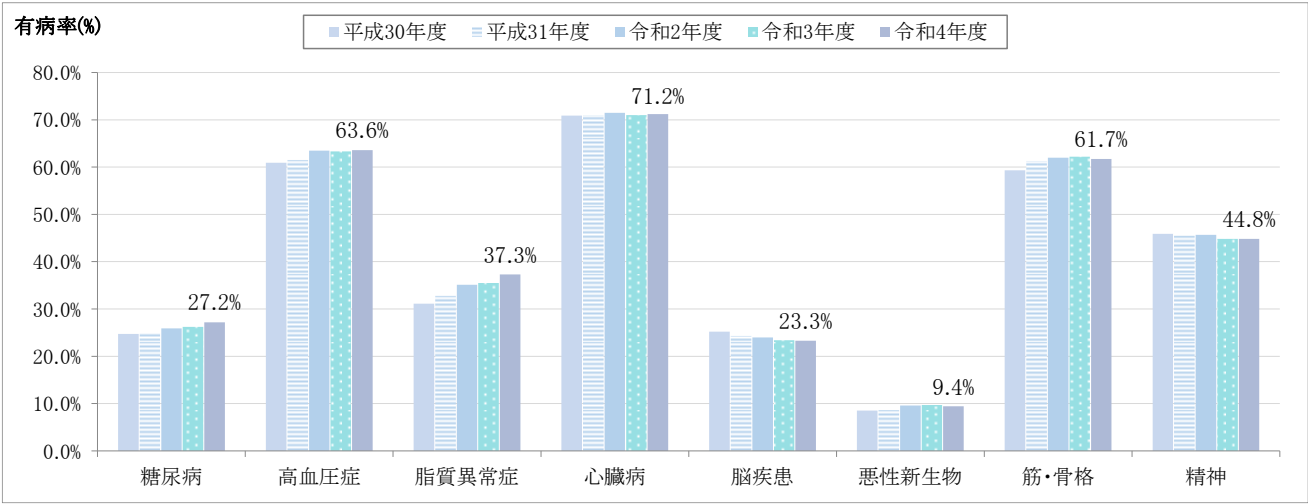
以下は、本市の平成30年度から令和4年度における、要介護(支援)認定者の疾病別有病率を年度別に示したものです。上位3疾病は平成30年度と比較すると、有病率はいずれも上昇しています。秋田県の有病率が減少している中で、差は拡大しています。

年度別 要介護(支援)認定者の疾病別有病状況 ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

区分		にかほ市									
		平成30年度	順位	平成31年度	順位	令和2年度	順位	令和3年度	順位	令和4年度	順位
認定者数(人)		1,730		1,751		1,767		1,779		1,742	
糖尿病	実人数(人)	405	7	467	6	468	6	490	6	431	6
	有病率(%)	24.7%		24.9%		25.9%		26.2%		27.2%	
高血圧症	実人数(人)	1,043	2	1,103	2	1,134	2	1,142	2	1,052	2
	有病率(%)	60.9%		61.5%		63.5%		63.3%		63.6%	
脂質異常症	実人数(人)	544	5	585	5	644	5	647	5	639	5
	有病率(%)	31.1%		32.8%		35.1%		35.5%		37.3%	
心臓病	実人数(人)	1,211	1	1,259	1	1,275	1	1,284	1	1,172	1
	有病率(%)	70.9%		71.0%		71.5%		71.0%		71.2%	
脳疾患	実人数(人)	431	6	426	7	426	7	426	7	355	7
	有病率(%)	25.2%		24.3%		24.0%		23.4%		23.3%	
悪性新生物	実人数(人)	151	8	162	8	181	8	177	8	155	8
	有病率(%)	8.5%		8.6%		9.6%		9.7%		9.4%	
筋・骨格	実人数(人)	1,038	3	1,077	3	1,117	3	1,127	3	1,022	3
	有病率(%)	59.3%		61.3%		62.0%		62.2%		61.7%	
精神	実人数(人)	797	4	813	4	815	4	819	4	744	4
	有病率(%)	45.9%		45.5%		45.7%		44.8%		44.8%	

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 要介護(支援)認定者の疾病別有病率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定者の疾病別有病状況(県)

区分		県					にかほ市 (再掲)				
		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
認定者数(人)		74,345	75,620	75,529	75,269	73,980	1,730	1,751	1,767	1,779	1,742
糖尿病	実人数(人)	16,172	16,518	16,343	16,324	15,993	405	467	468	490	431
	有病率(%)	21.7%	21.6%	21.3%	21.3%	21.3%	24.7%	24.9%	25.9%	26.2%	27.2%
高血圧症	実人数(人)	39,793	40,472	40,437	40,049	39,186	1,043	1,103	1,134	1,142	1,052
	有病率(%)	53.4%	53.2%	52.2%	52.2%	52.1%	60.9%	61.5%	63.5%	63.3%	63.6%
脂質異常症	実人数(人)	23,475	24,217	24,688	24,877	24,749	544	585	644	647	639
	有病率(%)	31.3%	31.7%	31.6%	32.1%	32.7%	31.1%	32.8%	35.1%	35.5%	37.3%
心臓病	実人数(人)	45,203	45,940	45,813	45,270	44,159	1,211	1,259	1,275	1,284	1,172
	有病率(%)	60.8%	60.5%	59.3%	59.1%	58.8%	70.9%	71.0%	71.5%	71.0%	71.2%
脳疾患	実人数(人)	18,928	18,561	18,207	17,468	16,300	431	426	426	426	355
	有病率(%)	25.8%	24.7%	23.7%	23.1%	22.1%	25.2%	24.3%	24.0%	23.4%	23.3%
悪性新生物	実人数(人)	8,129	8,333	8,490	8,479	8,137	151	162	181	177	155
	有病率(%)	10.7%	10.9%	10.7%	10.8%	10.7%	8.5%	8.6%	9.6%	9.7%	9.4%
筋・骨格	実人数(人)	39,289	40,058	39,921	39,473	38,892	1,038	1,077	1,117	1,127	1,022
	有病率(%)	52.8%	52.7%	51.7%	51.4%	51.4%	59.3%	61.3%	62.0%	62.2%	61.7%
精神	実人数(人)	29,421	29,727	29,714	29,278	28,474	797	813	815	819	744
	有病率(%)	39.5%	39.3%	38.4%	38.3%	37.8%	45.9%	45.5%	45.7%	44.8%	44.8%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定者の疾病別有病状況(同規模)

区分		同規模					にかほ市 (再掲)				
		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
認定者数(人)		584,451	606,045	614,438	625,835	630,569	1,730	1,751	1,767	1,779	1,742
糖尿病	実人数(人)	134,265	139,887	145,502	149,851	154,694	405	467	468	490	431
	有病率(%)	22.9%	23.1%	22.9%	23.4%	23.8%	24.7%	24.9%	25.9%	26.2%	27.2%
高血圧症	実人数(人)	322,486	333,418	341,576	347,718	352,398	1,043	1,103	1,134	1,142	1,052
	有病率(%)	55.1%	54.9%	54.2%	54.7%	54.8%	60.9%	61.5%	63.5%	63.3%	63.6%
脂質異常症	実人数(人)	171,464	181,020	189,136	196,080	203,112	544	585	644	647	639
	有病率(%)	29.1%	29.7%	29.7%	30.5%	31.2%	31.1%	32.8%	35.1%	35.5%	37.3%
心臓病	実人数(人)	366,683	378,090	386,876	392,976	397,324	1,211	1,259	1,275	1,284	1,172
	有病率(%)	62.7%	62.4%	61.4%	61.9%	61.9%	70.9%	71.0%	71.5%	71.0%	71.2%
脳疾患	実人数(人)	155,413	155,845	156,541	154,880	151,330	431	426	426	426	355
	有病率(%)	26.9%	26.0%	25.1%	24.7%	23.9%	25.2%	24.3%	24.0%	23.4%	23.3%
悪性新生物	実人数(人)	63,977	67,192	70,665	72,651	74,764	151	162	181	177	155
	有病率(%)	10.8%	11.0%	11.0%	11.3%	11.4%	8.5%	8.6%	9.6%	9.7%	9.4%
筋・骨格	実人数(人)	319,815	330,145	338,553	344,525	350,465	1,038	1,077	1,117	1,127	1,022
	有病率(%)	54.6%	54.6%	53.8%	54.3%	54.5%	59.3%	61.3%	62.0%	62.2%	61.7%
精神	実人数(人)	231,263	238,440	244,121	246,532	246,296	797	813	815	819	744
	有病率(%)	39.2%	39.3%	38.8%	39.0%	38.6%	45.9%	45.5%	45.7%	44.8%	44.8%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定者の疾病別有病状況(国)

区分		国					にかほ市 (再掲)				
		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
認定者数(人)		6,482,704	6,620,276	6,750,178	6,837,233	6,880,137	1,730	1,751	1,767	1,779	1,742
糖尿病	実人数(人)	1,470,196	1,537,914	1,633,023	1,671,812	1,712,613	405	467	468	490	431
	有病率(%)	22.4%	23.0%	23.3%	24.0%	24.3%	24.7%	24.9%	25.9%	26.2%	27.2%
高血圧症	実人数(人)	3,318,793	3,472,146	3,642,081	3,690,454	3,744,672	1,043	1,103	1,134	1,142	1,052
	有病率(%)	50.8%	51.7%	52.4%	53.2%	53.3%	60.9%	61.5%	63.5%	63.3%	63.6%
脂質異常症	実人数(人)	1,915,551	2,036,238	2,170,776	2,236,475	2,308,216	544	585	644	647	639
	有病率(%)	29.2%	30.1%	30.9%	32.0%	32.6%	31.1%	32.8%	35.1%	35.5%	37.3%
心臓病	実人数(人)	3,770,674	3,939,115	4,126,341	4,172,696	4,224,628	1,211	1,259	1,275	1,284	1,172
	有病率(%)	57.8%	58.7%	59.5%	60.3%	60.3%	70.9%	71.0%	71.5%	71.0%	71.2%
脳疾患	実人数(人)	1,563,143	1,587,755	1,627,513	1,599,457	1,568,292	431	426	426	426	355
	有病率(%)	24.3%	24.0%	23.6%	23.4%	22.6%	25.2%	24.3%	24.0%	23.4%	23.3%
悪性新生物	実人数(人)	702,800	739,425	798,740	817,260	837,410	151	162	181	177	155
	有病率(%)	10.7%	11.0%	11.3%	11.6%	11.8%	8.5%	8.6%	9.6%	9.7%	9.4%
筋・骨格	実人数(人)	3,305,225	3,448,596	3,630,436	3,682,549	3,748,372	1,038	1,077	1,117	1,127	1,022
	有病率(%)	50.6%	51.6%	52.3%	53.2%	53.4%	59.3%	61.3%	62.0%	62.2%	61.7%
精神	実人数(人)	2,339,782	2,437,051	2,554,143	2,562,308	2,569,149	797	813	815	819	744
	有病率(%)	35.8%	36.4%	36.9%	37.2%	36.8%	45.9%	45.5%	45.7%	44.8%	44.8%

出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

6. 死亡の状況

本市の令和4年度の標準化死亡比は、男性111.7、女性110.3となっており、男性は秋田県よりも3.0ポイント高く、女性は秋田県よりも4.8ポイント高くなっています。

男女別 標準化死亡比(令和4年度)

	にかほ市	県	同規模	国
男性	111.7	108.7	103.4	100.0
女性	110.3	105.5	101.4	100.0

出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

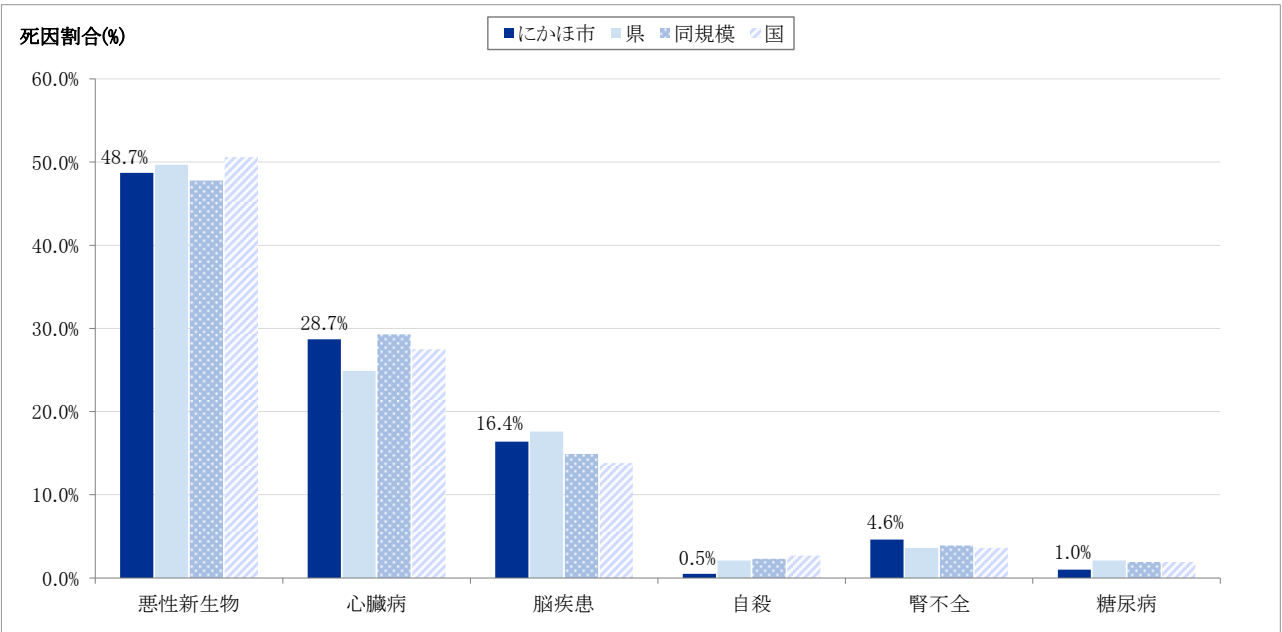
本市の令和4年度の主たる死因をみると、心臓病の割合は秋田県より3.8ポイント高く、腎不全の割合は秋田県より1.0ポイント高くなっています。一方で、自殺の割合は秋田県より1.6ポイント低く、脳疾患の割合は秋田県より1.2ポイント低くなっています。なお、死因はKDBで定義された6死因となっています。

主たる死因の状況(令和4年度)

疾病項目	にかほ市		県	同規模	国
	人数(人)	割合(%)			
悪性新生物	95	48.7%	49.7%	47.8%	50.6%
心臓病	56	28.7%	24.9%	29.3%	27.5%
脳疾患	32	16.4%	17.6%	14.9%	13.8%
自殺	1	0.5%	2.1%	2.3%	2.7%
腎不全	9	4.6%	3.6%	3.9%	3.6%
糖尿病	2	1.0%	2.1%	1.9%	1.9%
合計	195				

出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

主たる死因の割合(令和4年度)



出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

本市の平成30年度から令和4年度における標準化死亡比は、男性が減少傾向にあり、女性が増加傾向にあります。

年度・男女別 標準化死亡比

区分	男性					女性				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
にかほ市	116.3	116.3	116.3	111.7	111.7	109.2	109.2	109.2	110.3	110.3
県	109.6	109.6	109.6	108.7	108.7	104.2	104.2	104.2	105.5	105.5
同規模	104.8	104.7	104.6	103.5	103.4	101.3	101.4	101.3	101.5	101.4
国	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

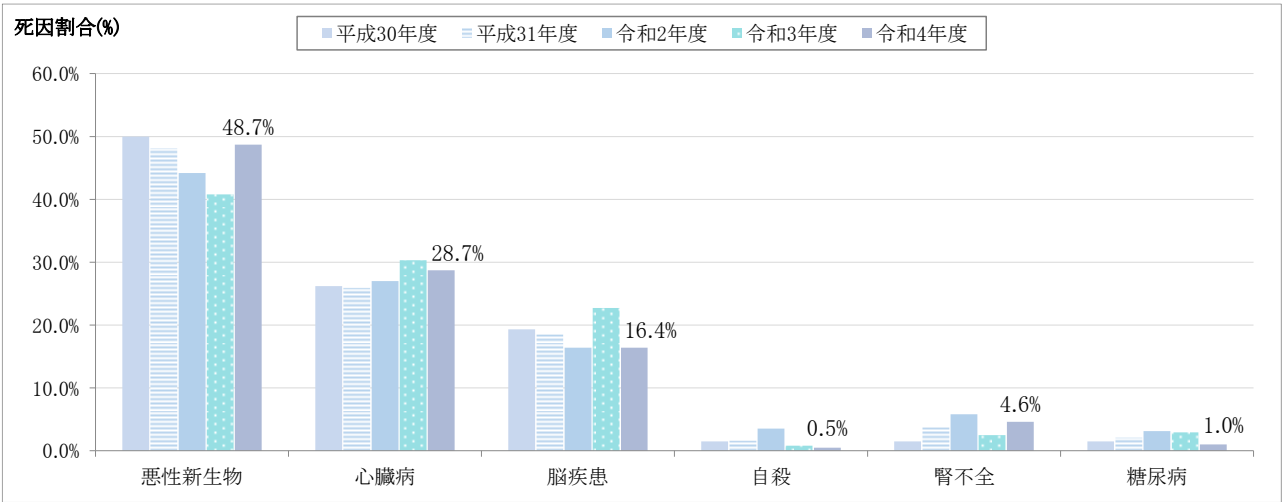
主たる死因の状況について、令和4年度を平成30年度と比較すると、人口総数が7.4%減少している中、高齢化率が高まっていることもあり、死亡者数は7人減少、3.5%減少となっています。脳疾患を死因とする人数32人は平成30年度39人より7人減少しており、悪性新生物を死因とする人数95人は平成30年度101人より6人減少しています。一方で、腎不全を死因とする人数9人は平成30年度3人より6人増加しており、心臓病を死因とする人数56人は平成30年度53人より3人増加しています。

年度別 主たる死因の状況

疾病項目	にかほ市									
	人数(人)					割合(%)				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
悪性新生物	101	91	100	97	95	50.0%	48.1%	44.2%	40.8%	48.7%
心臓病	53	49	61	72	56	26.2%	25.9%	27.0%	30.3%	28.7%
脳疾患	39	35	37	54	32	19.3%	18.5%	16.4%	22.7%	16.4%
自殺	3	3	8	2	1	1.5%	1.6%	3.5%	0.8%	0.5%
腎不全	3	7	13	6	9	1.5%	3.7%	5.8%	2.5%	4.6%
糖尿病	3	4	7	7	2	1.5%	2.1%	3.1%	2.9%	1.0%
合計	202	189	226	238	195					

出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 主たる死因の割合



出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 主たる死因の割合(県)

疾病項目	県					にかほ市 (再掲)				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
悪性新生物	49.0%	48.3%	48.9%	48.8%	49.7%	50.0%	48.1%	44.2%	40.8%	48.7%
心臓病	24.2%	24.6%	24.7%	24.0%	24.9%	26.2%	25.9%	27.0%	30.3%	28.7%
脳疾患	18.8%	19.0%	18.2%	19.1%	17.6%	19.3%	18.5%	16.4%	22.7%	16.4%
自殺	2.8%	2.9%	2.3%	2.3%	2.1%	1.5%	1.6%	3.5%	0.8%	0.5%
腎不全	3.2%	3.2%	3.9%	4.1%	3.6%	1.5%	3.7%	5.8%	2.5%	4.6%
糖尿病	2.0%	2.0%	2.0%	1.8%	2.1%	1.5%	2.1%	3.1%	2.9%	1.0%
合計										

出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 主たる死因の割合(同規模)

疾病項目	同規模					にかほ市 (再掲)				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
悪性新生物	47.1%	46.6%	46.5%	46.8%	47.8%	50.0%	48.1%	44.2%	40.8%	48.7%
心臓病	28.3%	29.1%	29.6%	29.6%	29.3%	26.2%	25.9%	27.0%	30.3%	28.7%
脳疾患	16.5%	16.4%	15.8%	15.7%	14.9%	19.3%	18.5%	16.4%	22.7%	16.4%
自殺	2.5%	2.3%	2.3%	2.2%	2.3%	1.5%	1.6%	3.5%	0.8%	0.5%
腎不全	3.7%	3.8%	3.9%	3.9%	3.9%	1.5%	3.7%	5.8%	2.5%	4.6%
糖尿病	1.8%	1.8%	2.0%	1.9%	1.9%	1.5%	2.1%	3.1%	2.9%	1.0%
合計										

出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 主たる死因の割合(国)

疾病項目	国					にかほ市 (再掲)				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
悪性新生物	50.5%	49.9%	49.8%	50.2%	50.6%	50.0%	48.1%	44.2%	40.8%	48.7%
心臓病	26.8%	27.4%	27.8%	27.7%	27.5%	26.2%	25.9%	27.0%	30.3%	28.7%
脳疾患	14.8%	14.7%	14.4%	14.2%	13.8%	19.3%	18.5%	16.4%	22.7%	16.4%
自殺	2.8%	2.7%	2.7%	2.6%	2.7%	1.5%	1.6%	3.5%	0.8%	0.5%
腎不全	3.3%	3.4%	3.5%	3.5%	3.6%	1.5%	3.7%	5.8%	2.5%	4.6%
糖尿病	1.8%	1.9%	1.9%	1.8%	1.9%	1.5%	2.1%	3.1%	2.9%	1.0%
合計										

出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

第3章 過去の取り組みの考察

1. 第2期データヘルス計画全体の評価

以下は、第2期データヘルス計画全般に係る評価として、全体目標及びその達成状況について示したものです。

全体目標	被保険者自らが自分の健康課題を把握し、自主的に健康増進や疾病予防に取り組むことで生涯にわたる生活の質を維持・向上できるよう保健事業を推進する。
全体評価	第2期においては、新型コロナウイルス感染症流行の影響もあり令和2年度において事業の見直しや実績値の落ち込みがみられたが、令和3年度から令和4年度にかけては改善がみられる。 全体評価としては、限られた時間と人材の中ではあるが地区診断をしっかりと行い当市の実情に即した事業を実施できている。 健康寿命の延伸、生活習慣病予防、医療費適正化を目指し、引続き各種保健事業を実施していく。

次ページより目標達成のための事業・評価を記載

2. 各事業の達成状況

以下は、第2期データヘルス計画に基づき実施した各事業についての達成状況を示したものです。

事業名	実施年度	事業目的	実施内容
全 体			
医療費通知	平成30年度 ～ 令和5年度	被保険者自身の医療費の把握 と医療費適正化	2ヵ月ごとに6回および年間1回発送
ジェネリック医薬品 差額通知	平成30年度 ～ 令和5年度	ジェネリック医薬品切り替え による医療費抑制	年間2回発送
広報活動	平成30年度 ～ 令和5年度	○国民健康保健事業内容・特定健診計画の周知を図るため ○特定健診日程・勧奨及び国保事業周知など	○年1回「国保だより」を全世帯へ配布 ○特定健診日程・勧奨及び国保事業周知を目的に 適宜広報に掲載 ○保険証更新時に合わせパンフレット送付
個 別			
特定健診及び受診勧奨	平成30年度 ～ 令和5年度	被保険者の健康状態を把握し 病気を早期発見することで医療費適正化に資するため	受診券の全戸配布・追加健診の勧奨状発送
人間ドック助成 (市民課)	平成30年度 ～ 令和5年度	被保険者の健康状態を把握し、 生活習慣病の早期発見と予防 につなげるため	人間ドックの受診に補助をする
特定保健指導	平成30年度 ～ 令和5年度	特定健診の結果、対象となった住民に対し利用券を発行。 採血・栄養教室・運動教室も取り入れたプログラムで実施	特定健診の結果、対象となった住民に対し利用券 を発行。採血・栄養教室・運動教室も取り入れた プログラムで実施

5:目標達成
4:改善している
3:横ばい
2:悪化している
1:評価できない

アウトプット…実施量、実施率を評価 / アウトカム…事業の成果を評価

評価指標 (上段:アウトプット、下段:アウトカム)	計画策定時実績 2016年度(H28)	目標値 2023年度(R5)	達成状況 2022年度(R4)	評価
事業				
ー			実施済	5
使用割合		80.0%	87.2%	5
ー			実施済	5
事業				
・健診受診率	44.2%	60.0%	41.2%	4
・結果提出			実施済	4
保健指導実施率	動機付け支援 10月～4月まで 117人中48人 41.0% 1月～7月まで 23人中9人 39.1% 積極的支援 10月～4月まで 43人中11人25.6% 1月～7月まで 21人中4人 19.0%	45.0%	26.4%	3

事業名	実施年度	事業目的	実施内容
各種がん検診	平成30年度 ～ 令和5年度	がんを早期発見し、適切な治療を行うことでがんによる死亡を減少させる	がんを早期発見し、適切な治療を行うことでがんによる死亡を減少させる
楽しく アンチエイジング教室	平成30年度 ～ 令和5年度	健診結果より生活習慣の改善が必要な人、特定保健指導対象者・実施者に対し、様々なメニューを通して生活習慣の改善を促す	健診結果より生活習慣の改善が必要な人、特定保健指導対象者・実施者に対し、様々なメニューを通して生活習慣の改善を促す
巡回健康相談・ 町内健康教室	平成30年度 ～ 令和5年度	健診（検診）の受診勧奨・健康づくりの意識の向上・健康についての知識の普及を図る	健診（検診）の受診勧奨・健康づくりの意識の向上・健康についての知識の普及を図る
貯蓄体操教室	平成30年度 ～ 令和5年度	自らの健康のために運動習慣を確立すること	月3～4回、保健センターを会場に実施
市町村健康づくり 人材育成事業	平成30年度 ～ 令和5年度	地域の健康課題を共有し、課題解決に向けて、行政と共に歩む健康づくりの担い手を育成する	地域の健康課題を共有し、課題解決に向けて、行政と共に歩む健康づくりの担い手を育成する
人間ドック助成 （健康推進課）	平成30年度 ～ 令和5年度	働く世代の受診しやすい環境づくりを目指し、疾病の早期発見・早期治療、壮年期のがん死亡率の減少を目的として実施	働く世代の受診しやすい環境づくりを目指し、疾病の早期発見・早期治療、壮年期のがん死亡率の減少を目的として実施

5:目標達成
4:改善している
3:横ばい
2:悪化している
1:評価できない

アウトプット…実施量、実施率を評価 / アウトカム…事業の成果を評価

評価指標 (上段:アウトプット、下段:アウトカム)	計画策定時実績 2016年度(H28)	目標値 2023年度(R5)	達成状況 2022年度(R4)	評価
検診受診率(市の検診に事前申し込みのあった希望者における受診率) ・次期計画から受診率における指標の見直しを図るための参考 国保被保険者を対象とした部位別の受診率(R3年度) 胃がん10.3% 大腸がん17.6% 肺がん13.1% 子宮頸がん9.9% 乳がん16.0%	胃がん 46.9% 大腸がん 59.0% 肺がん 55.3% 乳がん 51.6% 子宮頸がん・卵巣腫瘍 38.7% 前立腺がん57.4%	60.0%	72.6%	4
参加者数の増加	364人 14回	350人	378人 14回	3
教室開催回数の増加	538人 46回	10回	8回	4
参加者数の増加	1,091人 57回	1,000人	1,109人 43回	5
人材育成		年間50人	52人	5
受診者数の増加	73人			5

事業名	実施年度	事業目的	実施内容
食生活講習会	平成30年度 ～ 令和5年度	食生活改善推進員に対して講習会を行い、地域での食育活動を推進する	食生活改善推進員に対して講習会を行い、地域での食育活動を推進する
食生活改善推進員養成講座	平成30年度 ～ 令和5年度	地域での食生活を中心とした健康づくりボランティアを行うための推進員を養成する	地域での食生活を中心とした健康づくりボランティアを行うための推進員を養成する
健康づくり食育教室 (家庭訪問)	平成30年度 ～ 令和5年度	健康づくりと生活習慣予防のため、「食」について考えるきっかけづくりを行い、食育を推進する	健康づくりと生活習慣予防のため、「食」について考えるきっかけづくりを行い、食育を推進する
生活習慣病重症化 予防対策	平成30年度 ～ 令和5年度	糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者・受診中断者を健診データから抽出し、受診勧奨を行う	糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者・受診中断者を健診データから抽出し、受診勧奨を行う
生活習慣病 (糖尿病等) 訪問指導	平成30年度 ～ 令和5年度	高血糖による要医療判定者（未治療者）に対し受診勧奨や訪問保健指導を行い、早期受診、早期治療を促進する。	高血糖による要医療判定者（未治療者）に対し受診勧奨や訪問保健指導を行い、早期受診、早期治療を促進する。

【廃止事業について】

特定健診結果説明会	平成30年度 ～ 令和4年度	個別に健診結果について説明。特定保健指導への勧奨・受診状況の確認・食事や運動等の生活指導を実施	個別に健診結果について説明。特定保健指導への勧奨・受診状況の確認・食事や運動等の生活指導を実施
健康ポイント制事業	平成30年度 ～ 令和4年度	自らの健康づくりに積極的に取り組み、健康管理に対する意識を高めていくこと	健康ポイントカードを発行する
にか歩まちなか ウォーキング事業	平成30年度	ウォーキングを生活の中に取り入れ習慣化することにより、生活習慣病の予防に役立てるとともに、心身の健康維持増進を図る	ウォーキングを生活の中に取り入れ習慣化することにより、生活習慣病の予防に役立てるとともに、心身の健康維持増進を図る
メタボさよなら 運動教室事業	平成30年度	運動指導士による運動マシンを使用しての個別トレーニング及びマシンなしでの運動を実施	運動指導士による運動マシンを使用しての個別トレーニング及びマシンなしでの運動を実施

5:目標達成
4:改善している
3:横ばい
2:悪化している
1:評価できない

アウトプット…実施量、実施率を評価 / アウトカム…事業の成果を評価

評価指標 (上段:アウトプット、下段:アウトカム)	計画策定時実績 2016年度(H28)	目標値 2023年度(R5)	達成状況 2022年度(R4)	評価
参加者数の増加	114人 9回		100人 12回	1
参加者数の増加	33人 12回			1
参加者数の増加	226人(対象者) 141人(実人数)		138人 15回	3
受診勧奨数値			13人	5
重症化するリスクの高い者(医療機関から連絡があった者も含む)に対する迅速できめ細かい指導の実施	100%	100%	100% 17/17人	5

【廃止事業について】

結果説明者の増加	実施回数9回 参加者69名		R4まで	見直し
参加者数の増加	47.8%		R4まで	見直し
参加者数の増加			H30まで	見直し
参加者数の増加			H30まで	見直し

医療費通知

事業目的	被保険者の医療費に対する意識の向上を図る
対象者	全受診世帯
事業実施年度	平成30年度～令和5年度
実施内容	医療費通知を2ヵ月ごとに6回および年間1回発送

【アウトプット・アウトカム評価】

医療費通知の発送

	計画策定時点 2016年度 (H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	—	—	—	—	—	—	—
達成状況	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	—

【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

地味な取組ながらも継続して行っていることを評価する。医療費適正化の基となる取組であり、通知により改めて医療費を見える化し、被保険者自らが医療費に対して意識を持つことに繋がっている。

事業全体の評価	5：目標達成 4：改善している 3：横ばい 2：悪化している 1：評価できない	考察 (成功・未達要因)	保険者努力支援制度（取組評価分）医療費通知の取組の実施状況に適した取り組みを行うことができている。
		今後の方向性	継続して実施する

ジェネリック医薬品差額通知

事業目的	ジェネリック医薬品の利用を促進し、医療費の削減を図る
対象者	対象世帯
事業実施年度	平成30年度～令和5年度
実施内容	ジェネリック医薬品差額通知を年間2回（8月、2月）発送

【アウトプット・アウトカム評価】

使用割合

	計画策定時点 2016年度 (H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
達成状況	－	85.99%	87.74%	88.67%	88.9%	87.2%	－

ジェネリック医薬品差額通知発送

	計画策定時点 2016年度 (H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回
達成状況	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	－

【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

ジェネリック医薬品の利用促進に関して目標を達成できていることを評価する。医師会、薬剤師会等をはじめとした秋田県全体での取り組みの成果がみられる。

事業全体の評価	5：目標達成	考察 (成功・未達要因)	保険者努力支援制度（取組評価分）後発医薬品の促進等に関する取組の実施状況に適した取り組みを行うことができています。 数量ベースでの普及率は80%を超えている。 リフィル処方箋についての周知・啓発を今後の取組課題とする。
	4：改善している 3：横ばい 2：悪化している 1：評価できない	今後の方向性	継続して実施する。 （第3期データヘルス計画において県の定める標準化指標内、医療費適正化、後発医薬品使用率に資する）

広報活動

事業目的	健康及び医療に関する知識の普及及び意識の高揚を図るため、広報や国保だよりを発行し啓蒙を図る。
対象者	被保険者 及び 全市民
事業実施年度	平成30年度～令和5年度
実施内容	年1回「国保だより」を全世帯へ配布（国保制度周知、直診診療所紹介） 特定健診日程・勧奨及び国保事業周知を目的に適宜広報に掲載 保険証更新時に合わせパンフレット送付

【アウトプット・アウトカム評価】

保険証更新時に合わせパンフレット送付

	計画策定時点 2016年度 (H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	-	-	-	-	-	-	-
達成状況	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	-

【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

被保険者のみならず、広報誌や独自作成の国保だよりで全市民向けへも周知ができていることを評価する。

事業全体の評価	5：目標達成 4：改善している 3：横ばい 2：悪化している 1：評価できない	考察 (成功・未達要因) 年1回の国保だよりは、被保険者世帯のみならず、全世帯へ配布している。国保制度、財政状況の周知、直進診療所・保健事業の紹介等を行い、お互いに支えあい、健康を守る国保を周知している。保険証更新時に同封するパンフレット（国保のしおり）は毎年度最新のものを配付している。保険者努力支援制度（取組評価分）個人への分かりやすい情報提供の実施、その他周知・啓発活動に資するものとなっている。
		今後の方向性 継続して実施する。

特定健診及び受診勧奨

事業目的	被保険者の健康状態を把握し病気を早期発見することで医療費適正化に資するため
対象者	被保険者40歳～74歳
事業実施年度	平成30年度～令和5年度
実施内容	受診券の全戸配布・健診の勧奨状発送

【アウトプット・アウトカム評価】

健診受診率

	計画策定時点 2016年度 (H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値 (受診目標)	55.0%	45.0%	45.0%	50.0%	50.0%	55.0%	60.0%
達成状況 (受診率)	44.2%	40.5%	41.4%	35.1%	43.8%	41.2%	-

【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

令和2年度はコロナ禍で落ち込んだが、以後は以前の状態に戻りつつある。国の目標60%を目指すため、かかりつけ医からの情報提供を促す取り組みを実施するなど着実な前進がみられる。
--

事業全体の評価	5：目標達成 4:改善している 3：横ばい 2：悪化している 1：評価できない	考察 (成功・未達要因) 特定健診の受診勧奨はヘルスアップ事業の交付金対象に適するものとして事業を実施している。国の目標とする指標は60%となっており、毎年、国保連合会の外部評価・支援も受けて改善に取り組んでいる。令和5年度では、かかりつけ医への受診をしていて、特定健診を受けていない者からの健診情報を受ける為、かかりつけ医からの情報提供を促す取り組みを実施することで、目標数値の向上を図ることとしている。
		今後の方向性 継続して実施する。

人間ドック助成（市民課）

事業目的	被保険者の健康状態を把握し、生活習慣病の早期発見と予防につなげるために人間ドックの受診へ補助をする
対象者	被保険者0歳～74歳
事業実施年度	平成30年度～令和5年度
実施内容	人間ドックの受診に補助をする（年1回） 人間ドック 10,000円 脳ドック 20,000円

【アウトプット・アウトカム評価】

結果提出

	計画策定時点 2016年度 (H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	-	-	-	-	-	-	-
達成状況(人)	人間ドック 575 脳ドック 22	人間ドック 559 脳ドック 20	人間ドック 597 脳ドック 20	人間ドック 531 脳ドック 19	人間ドック 587 脳ドック 20	人間ドック 583 脳ドック 26	-

【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

補助事業の見直しが予定されている。継続しておこなっている事業であることから、周知期間を設けるなど、検証した上で見直しを行うことを評価する。

事業全体の評価	5：目標達成 4:改善している 3:横ばい 2:悪化している 1:評価できない	考察 (成功・未達要因)	人間ドック助成については、ただ補助を行うだけでなく、受診結果表の添付を求めることで、対象者の特定健診受診にも資するものとしている。また、補助金適正化における観点からの改善として助成額をR7年度より変更予定。上限は変えないものの、下限について、あくまでも自己負担額の1/2以内とすること、補助について3年ごとに見直しを図ることとしている。
		今後の方向性	見直しの上、継続して実施する。

特定保健指導

事業目的	市民が自ら生活習慣病予防に取り組めるように、健診結果をもとに個別に応じた保健指導を実施する
対象者	被保険者40歳～74歳
事業実施年度	平成30年度～令和5年度
実施内容	特定健診の結果、対象となった住民に対し利用券を発行。 結果をもとに、生活状況を確認して食事や運動等の改善を図る。 採血・栄養教室・運動教室も取り入れたプログラムで実施していたが令和5年度からは個別面談のみの実施とした。

【アウトプット・アウトカム評価】

保健指導実施率

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	35.0%	35.0%	35.0%	40.0%	40.0%	40.0%	45.0%
達成状況	72/204人 (35.3%)	53/184人 (28.8%)	58/119人 (48.7%)	35/83人 (42.2%)	36/100人 (36.0%)	37/140人 (26.4%)	—

【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

目標数値には至らないものの、改善策を設けている。次期計画では目標値も見直し、集団健診会場での初回面談に取り組むことでの実施率の向上を図ることとしており、体制づくり、実施方法の改善について評価する。

事業全体の評価	5：目標達成 4：改善している 3：横ばい 2：悪化している 1：評価できない	考察 (成功・未達要因)	新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限や保健事業の中止が保健指導実施率低下の要因の一つだと考える。また、初回面談から継続支援に繋がらない方もいるため、対象者の指導方法や評価方法を検討し、指導を受けやすい体制を整える必要がある。
		今後の方向性	R5年度からは特定健診集体会場にて特定保健指導（初回分割）を実施している。また、体組成測定日も再開したため、相談会の他にも保健事業への参加をととして保健指導実施率の向上を図る。

各種がん検診

事業目的	がんの早期発見・早期治療に努め、がんによる死亡を減少させる
対象者	被保険者 市民 胃がん 40歳以上 大腸がん 30歳以上 肺がん 30歳以上 乳がん 40歳以上の偶数歳の女性 子宮頸がん・卵巣がん、HPV検査（20～40歳） ①20～40歳までの女性 ②42歳以上の偶数歳の女性 前立腺がん 50歳以上の男性
事業実施年度	平成30年度～令和5年度
実施内容	集団方式によるがん検診の実施（胃・大腸・乳・子宮頸・前立腺がん検診） 医療機関方式によるがん検診の実施（胃・乳・子宮頸がん検診）

【アウトプット・アウトカム評価】

検診受診率(市の検診に事前申し込みのあった希望者における受診率)

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	55.0%	55.0%	55.0%	55.0%	55.0%	60.0%	60.0%
達成状況	56.4%	53.7%	55.1%	55.6%	59.2%	72.6%	—

【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

実施体制を改善しながら取組を行っていることを評価する。また次期計画から検診の受診率の考え方について見直すこととしている。次期においては県の共通指標の中で、厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」の数値とする。（受診率の算出に用いる母数が国保被保険者）R3参考 胃がん10.3%、大腸がん17.6%、肺がん13.1%、子宮頸がん9.9%、乳がん16.0%

事業全体の評価	5：目標達成 4：改善している 3：横ばい 2：悪化している 1：評価できない	考察 (成功・未達要因)	医療機関方式による受診体制（R1年度胃バリウム、R4年度胃内視鏡、R3年度子宮・乳がん検診受診対象年齢を拡大）を整備した。また、R4年度からがん検診Web予約システム及びコールセンターによる予約体制を整備し、完全予約制によるがん検診を実施したところ、がん検診当日の混雑が改善され、受診者の負担軽減を図ることができた。これまで胃がん検診の受診率は55%未満で経過していたが、R4年度61.8%と目標達成している。受診者の受診方法の選択肢が増えたことや、完全予約制により受診当日の負担が軽減した効果だと考える。
		今後の方向性	医療機関方式協力医療機関の拡大を検討。

楽しくアンチエイジング教室

事業目的	健康づくりのために運動習慣を身に付けたいと思っている人、また、健診結果より生活習慣の改善が必要な人、特定保健指導対象者・実施者に対し、様々な運動を通して生活習慣の改善を促す
対象者	被保険者 市民 健診結果で生活習慣の改善が必要と思われる者 特定保健指導実施者
事業実施年度	平成30年度～令和5年度
実施内容	市内公共施設を会場に月1～2回実施 体力測定、体幹トレーニング、ヨガなど毎回内容を変えて実施

【アウトプット・アウトカム評価】

参加者数の増加

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	350人	350人	350人	350人	350人	350人	350人
達成状況	364人 14回	291人 14回	390人 14回	421人 11回	474人 14回	378人 14回	—

【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

当教室は年間登録制で、登録者に年間予定表を送付している。毎月1～2回実施しているが、毎月の申込みは不要で、都合のいい日に参加している。毎月の参加者数は、20人前後であるが、その時の天候（気温が高すぎる、大雪等）等で参加者数が左右されることもあるため、増減がある。ただし、毎月の申込み不要の気軽さから、継続して参加している方が多い。

事業全体の評価	5：目標達成 4：改善している 3：横ばい 2：悪化している 1：評価できない	考察 (成功・未達要因)	R2、R3はコロナ過であったが、参加者数がH31年度以前より増加している。外出控えで家に居る時間が多かったことにより、運動の機会を求めて参加者が増加したのではないかと考える。R4は、当市もコロナ感染者が急増したため、参加者自身の感染や濃厚接触者、感染予防等で参加控えがあったため、前年に比べると参加者が大幅に減ったのではないかと考える。
		今後の方向性	年間登録者は継続者が多く、新規登録者数は毎年5人前後である。今後は新規登録者を増やすために、広報等でのPR及び、特定保健指導対象者や体組成測定日参加者等にも教室の案内をしていく。

巡回健康相談・町内健康教室

事業目的	地域の身近な場所である通いの場（自治会サロン等）に出向き、健康寿命の延伸に向けて自ら健康づくりが出来るよう働きかける
対象者	被保険者 市民
事業実施年度	平成30年度～令和5年度
実施内容	血圧測定、健康講話、健康相談等の実施

【アウトプット・アウトカム評価】

教室開催回数の増加

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	30回	30回	30回	3回	3回	5回	10回
達成状況	46回	39回	37回	コロナにて縮小 7回	コロナにて中止	コロナにて縮小 8回	—

【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

コロナ禍において、回数のみを目標とするのではなく、健康寿命の延伸に向けたポピュレーションアプローチによる支援を心掛けている。

事業全体の評価	5: 目標達成 4: 改善している 3: 横ばい 2: 悪化している 1: 評価できない	考察 (成功・未達 要因)	新型コロナウイルスの流行期には実施回数が激減したが、ウィズコロナを経てアフターコロナとなり徐々に増加傾向にある。コロナが蔓延した時期からは、実施回数のみを目標値にするのではなく、他課とのタイアップや体が可視化できる体組成測定などを取り入れ、質の高さも目標としている。
		今後の方向性	希望する自治会には現在と同様、回数制限なく実施

貯蓄体操教室

事業目的	自らの健康のために運動習慣を確立すること
対象者	被保険者 市民
事業実施年度	平成30年度～令和5年度
実施内容	月3～4回、保健センターを会場に実施

【アウトプット・アウトカム評価】

参加者数の増加

	計画策定時点 2016年度 (H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人
達成状況	1,091人 57回	981人 35回	1,006人 45回	1,371人 38回	1,096人 43回	1,109人 43回	—

【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

気軽に参加できること、コロナ禍においても参加延べ人数に変化は見られなかったことを評価する。生活習慣病の予防にもつながる事業内容でもあり、事業目的である健康のための運動習慣の確立のため、継続して事業を実施したい。

事業全体の評価	5: 目標達成	考察 (成功・未達要因)	東洋医学に基づいたストレッチ様の体操であるため、60～80代まで幅広い年齢の方が参加しやすく継続できていると考える。また、体操の前後1時間程度も会場を開放し、健康相談への対応及び、他者との交流の場となるような環境づくりをしている。R2年度は、コロナ感染症予防措置として、何度か開催を中止したが、参加延べ人数は例年より多い。外出控えで家に居る時間が多くなったことにより、運動の機会を求めて参加者が増加したのではないかと考える。
	4: 改善している 3: 横ばい 2: 悪化している 1: 評価できない		今後の方向性
			今後もこれまで通りの体制・方法で実施していく。

市町村健康づくり人材育成事業

事業目的	当市の健康課題の解決に向けて、行政と共に歩む健康づくりの担い手を育成する
対象者	健康推進員
事業実施年度	平成30年度～令和5年度
実施内容	当市の健康課題に適した内容を単年ごとに設定し、行政と共に歩む健康づくりの担い手を1年に50人、10年間で500人育成する

【アウトプット・アウトカム評価】

人材の育成

	計画策定時点 2016年度 (H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値		年間50人	年間50人	年間50人	年間50人	年間50人	年間50人
達成状況		103人	45人	35人	22人	52人	50人

【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

コロナ禍の年度を差し引いて、令和4年度目標を達成したことを評価する。

事業全体の評価	5：目標達成	考察 (成功・未達要因)	地区診断を実施し健康課題解決に向けてのテーマを設定している。新型コロナウイルス流行期には健康づくりの担い手が減少したが、令和4年度からは概ね年間50人育成できている。
	4：改善している 3：横ばい 2：悪化している 1：評価できない	今後の方向性	令和8年度まで継続実施

人間ドック助成（健康推進課）

事業目的	働く世代の受診しやすい環境づくりを目指し、疾病の早期発見・早期治療、壮年期のがん死亡率の減少を目的として実施 健康維持増進と疾病の早期発見・早期治療のため、がん検診を含んだ人間ドック料金の一部を助成する
対象者	被保険者 市民 令和4年度までは40～69歳の方 令和5年度からは40～68歳の偶数年齢の方
事業実施年度	平成30年度～令和5年度
実施内容	働く世代の受診しやすい環境づくりを目指し、疾病の早期発見・早期治療、壮年期のがん死亡率の減少を目的として実施 助成額 10,000円（40・50・60歳は半額補助）

【アウトプット・アウトカム評価】

半額助成である40・50・60歳希望者の受診率

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
達成状況	100%	100%	100%	100%	100%	100%	—

【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

Web予約の開始など事業について改善しながら進めていることを評価する。

事業全体の評価	5：目標達成	考察 (成功・未達要因)	時間の短縮が図られる人間ドックを希望する方が年々増えているが、各医療機関の定員数が限られているため、希望者全員を受診させることができない状況にある。そのため抽選方式を取り入れたが、2年連続抽選漏れとなるなど健診本来の目的にそぐわない状況も発生している。そのため検討が必要な時期と判断し、令和5年度からは対象者を変更した。
	4：改善している 3：横ばい 2：悪化している 1：評価できない	今後の方向性	令和5年度の人間ドックから40～68歳の偶数年齢を対象とし、希望する方全員が受診できるように配慮。また働く世代の受診者増加を目指し、Web予約を開始し利便性の向上を図った。

食生活講習会

事業目的	食生活改善推進員に対して講習会を行い、地域での食育活動を推進する
対象者	食生活改善推進員
事業実施年度	平成30年度～令和5年度
実施内容	食生活改善推進員に対して講習会を行い、地域での食育活動を推進する 各保健センターを会場に年12回実施 栄養講話・調理実習

【アウトプット・アウトカム評価】

参加者数の増加

	計画策定時点 2016年度 (H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値							
達成状況	114人 9回	168人 12回	168人 12回	137人 12回	134人 12回	100人 12回	99人 12回

【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

目標を定めていない為、評価できない。
健康と食という観点から推進員の育成は継続したい。

事業全体の評価	5：目標達成	考察 (成功・未達 要因)	全国的な食生活改善推進員の減少や高齢化は当市でも同様になっており、それに伴い講習会への参加数も減少しているが、現役の推進員は食生活改善等について学びたい方が多い傾向にある。また学んだ内容を地域に伝達するためのボランティア活動に協力する方も多いため、今後も市と協働で食生活改善活動を行う。
	4：改善している		
	3：横ばい	今後の 方向性	食生活改善推進員に学習してみたい内容等を確認しながら、国や県からの委託事業等にも対応出来るよう工夫する。
	2：悪化している		
	1：評価できない		

食生活改善推進員養成講座

事業目的	地域での食生活を中心とした健康づくりボランティアを行うための推進員を養成する
対象者	被保険者 市民
事業実施年度	平成30年度～令和5年度
実施内容	地域での食生活を中心とした健康づくりボランティアを行うための推進員を養成する 食生活改善推進員養成講座カリキュラム10単位20時間を受講（講話・調理実習・運動等）

【アウトプット・アウトカム評価】

参加者数の増加

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値							
達成状況	33人 12回	75人 17回	73人 10回	34人 11回			

【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

コロナ禍の影響を受け直近2年は中止となっており、評価できない。

事業全体の評価	5：目標達成 4：改善している 3：横ばい 2：悪化している 1：評価できない	考察 (成功・未達要因)	令和3年度及び令和4年度はコロナ禍により中止した。国では毎年、食生活改善推進員を育成し「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに地域で食を中心としたボランティア活動を目指している。養成講座は全国共通のカリキュラムがあり、20時間の養成時間が求められている。
		今後の方向性	毎年、食生活改善推進員になるための養成講座を開催し、開催日に来れない方には補講等を実施して年度末まで推進員を養成する。

健康づくり食育教室

事業目的	健康づくりと生活習慣予防のため、「食」について考えるきっかけづくりを行い、食育を推進する
対象者	被保険者 市民
事業実施年度	平成30年度～令和5年度
実施内容	健康づくりと生活習慣予防のため、「食」について考えるきっかけづくりを行い、食育を推進する 市内公共施設を会場に5月～2月（月1回）実施 栄養講話・調理実習

【アウトプット・アウトカム評価】

参加者数の増加

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値							
達成状況	226人(対象者) 141人(実人数)	204人 13回	219人 15回	195人 15回	175人 15回	138人 15回	—

【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

目標は定めていないものの、コロナ禍の中でも事業を継続してきた。目的にもある健康づくりと生活習慣病予防のため、「食」という観点からの支援は貴重なものであり、継続して実施したい。

事業全体の評価	5: 目標達成 4: 改善している 3: 横ばい 2: 悪化している 1: 評価できない	考察 (成功・未達要因) 保健センターで実施する保健分野の食育事業で、健康づくりを意識した料理教室のため、健康問題を抱える世代（自らが病気と診断された。家族が病気になってしまった。家庭の食事を見直したい）等、目的を持って参加している方が多い。内容も料理を作るだけでなく、栄養講話もあるため参加しているという意見もある。
		今後の方向性 コロナ禍もあり、人数制限をしながら教室を実施してきたが、今後も回数等を精査しながら、栄養講話・調理実習を中心とした内容で実施していく。

生活習慣病重症化予防対策

事業目的	糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者・受診中断者を健診データから抽出し、受診勧奨を行う
対象者	未受診者・受診中断者
事業実施年度	平成30年度～令和5年度
実施内容	糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者・受診中断者を健診データから抽出し、受診勧奨を行う

【アウトプット・アウトカム評価】

受診勧奨数

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	-	-	-	-	-	-	-
達成状況	-	55	34	17	12	13	-

【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

毎年健診データから対象者を抽出し受診勧奨を行っている。県単位、保健所単位での糖尿病重症化予防対策推進会議への参加など、県全体、地域全体での取組体制となっていることを評価する。

事業全体の評価	5：目標達成	考察 (成功・未達要因)	県の定める糖尿病腎症重症化予防プログラムにも資する取組として、実施している。健康推進課との連携、広域として由利本荘市、由利地域振興局とも連携して事業を実施する。保険者努力支援制度（取組評価分）生活習慣病予防・重症化予防の取組の実施状況に資するもの。
	4:改善している 3:横ばい 2:悪化している 1:評価できない	今後の方向性	継続して実施。 (第3期データヘルス計画において県の定める標準化指標内、糖尿病重症化予防に対応するものであり、県の定める糖尿病腎症重症化予防プログラムに資するもの)

生活習慣病(糖尿病等)訪問指導

事業目的	糖尿病が重症化するリスクの高い医療機関の未治療者・治療中断者に対して訪問指導を行い、早期受診、早期治療に結びつける。
対象者	重症化するリスクの高い者
事業実施年度	平成30年度～令和5年度
実施内容	特定健診結果で、尿蛋白（＋）以上かつHbA1c6.5以上または尿蛋白（＋）以上かつ空腹時血糖126mg/dl以上に訪問を実施

【アウトプット・アウトカム評価】

訪問指導率

	計画策定時点 2016年度(H28)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
達成状況	5/5人	6/6人	5/5人	7/7人	3/3人	17/17人	—

【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

毎月の特定健診結果から、メタボリックシンドローム判定該当者で医療機関未受診者に対して、訪問及び結果説明会で受診勧奨を行っていたが、R2年度から高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業が開始となり、それに伴いメタボリックシンドローム非該当であっても、HbA1c6.5以上で未受診者の40～74歳を対象を拡大して事業を実施した。訪問して結果を詳しく説明することで、ほとんどの方が医療機関に結びついている。

事業全体の評価	5: 目標達成	考察 (成功・未達要因)	未受診の中には「病院に行くのが怖い」「何ともないと思う」などという理由から受診していない方がいる。少し期間を空けて、再度訪問や電話をしているが、なかなか受診に結びつかないケースがある。
	4: 改善している 3: 横ばい 2: 悪化している 1: 評価できない	今後の方向性	これまで、HbA1c6.5以上で未受診の方を対象としていたが、かかりつけ医から大丈夫と言われたというケースが多く、R5年度からは、県モデルプログラムに準じて、対象を尿蛋白（＋）以上かつHbA1c6.5以上または尿蛋白（＋）以上かつ空腹時血糖126mg/dl以上に訪問を実施していく。

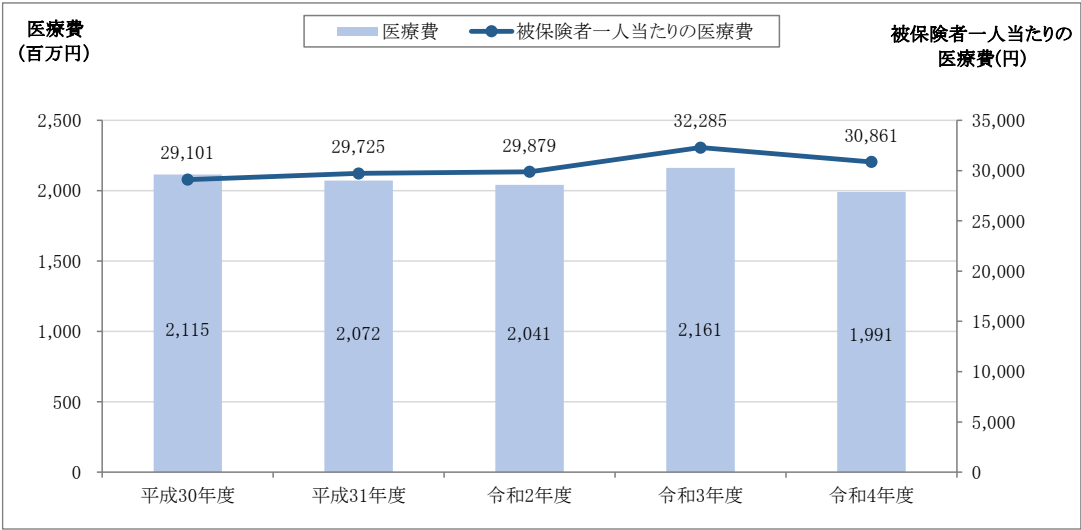
第4章 健康・医療情報等の分析

1. 医療費の基礎集計

(1) 医療費の状況

以下は、本市の医療費の状況を示したものです。被保険者数が減少する中、令和4年度の医療費1,991百万円は平成30年度2,115百万円と比べて5.9%減少しており、被保険者一人当たりの医療費は6.0%増加しています。

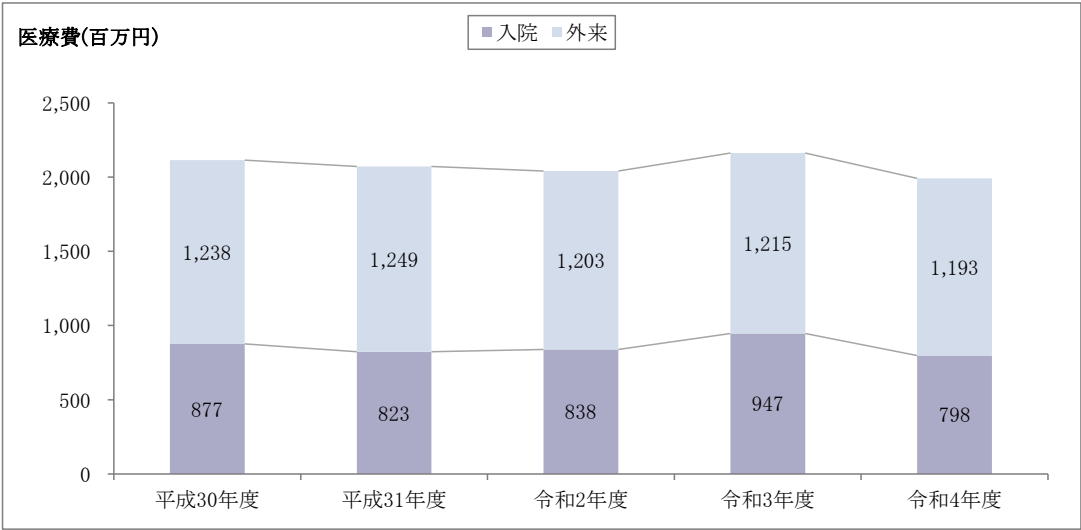
年度別 医療費の状況



出典: 国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」
被保険者一人当たりの医療費…1カ月分相当。

入院・外来別にみると、平成30年度から令和4年度にかけて、入院医療費は9.0%減少、外来医療費は3.6%減少しています。

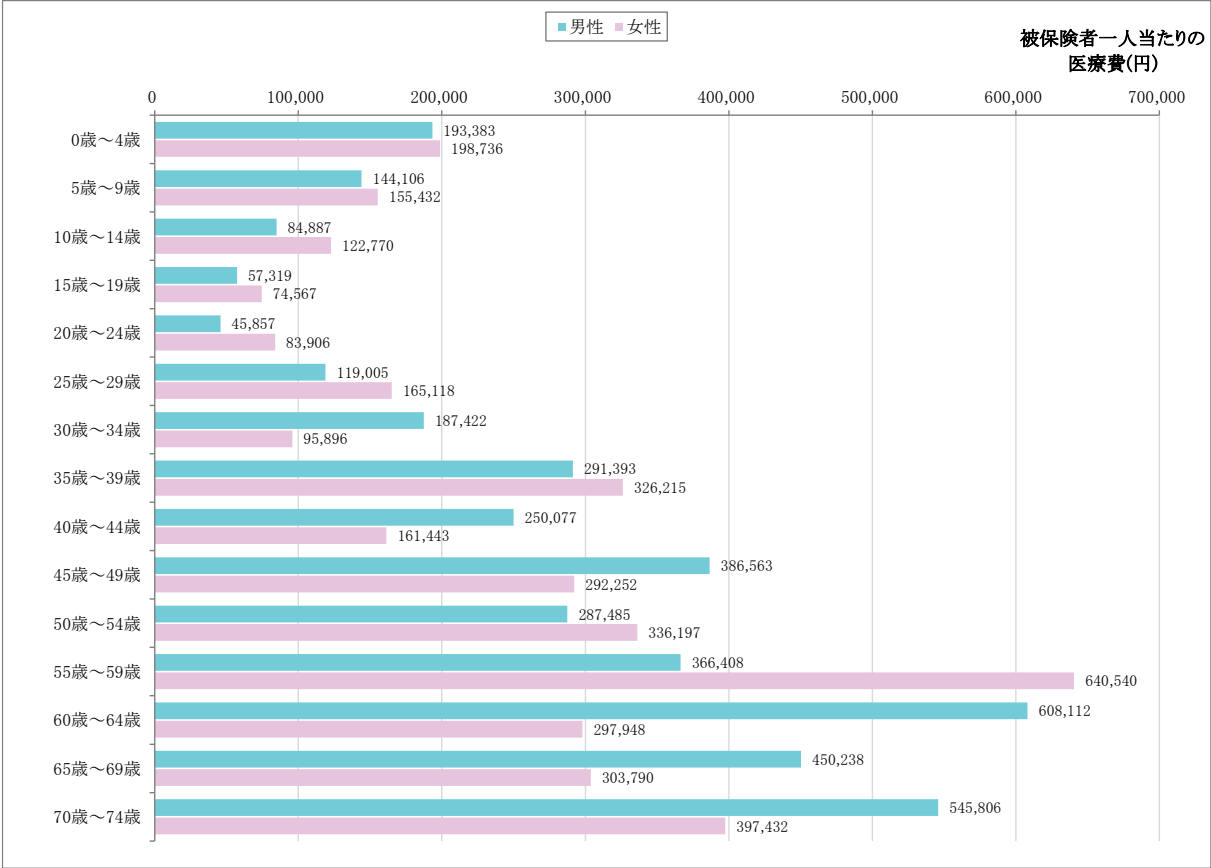
年度別 入院・外来別医療費



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

以下は、令和4年度における、本市の被保険者一人当たりの医療費を男女年齢階層別に示したものです。39歳以下では女性が男性より高い年齢階層が多い一方、60歳以上では男性が女性よりかなり高くなっています。

男女年齢階層別 被保険者一人当たりの医療費(令和4年度)



出典：国保データベース (KDB) システム「疾病別医療費分析 (大分類)」

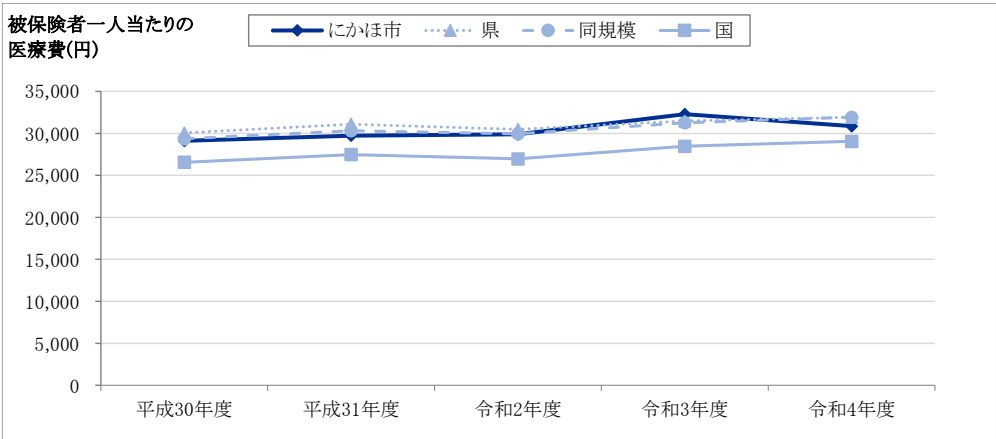
本市の令和4年度の年度別の被保険者一人当たりの医療費は30,861円であり、秋田県と比較すると3.3%低いです。本市の年度別の被保険者一人当たりの医療費は平成30年度から令和4年度で6.0%増加しており、6.2%増加した秋田県より増加割合はやや小さく、秋田県との差はやや拡大しています。

年度別 被保険者一人当たりの医療費 単位：円

年度	にかほ市	県	同規模	国
平成30年度	29,101	30,067	29,348	26,555
平成31年度	29,725	31,097	30,311	27,475
令和2年度	29,879	30,478	29,958	26,961
令和3年度	32,285	31,471	31,258	28,469
令和4年度	30,861	31,919	31,918	29,043

出典：国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」
被保険者一人当たりの医療費…1カ月分相当。

年度別 被保険者一人当たりの医療費

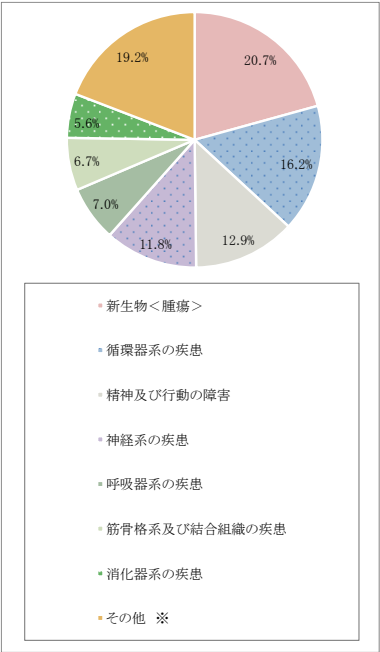


出典：国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」
被保険者一人当たりの医療費…1カ月分相当。

(2) 疾病別医療費

令和4年度の入院医療費では、「新生物＜腫瘍＞」が最も高く、20.7%を占めています。

大分類別医療費構成比
(入院) (令和4年度)



※その他…入院医療費に占める割合が5%未満の疾病を集約。

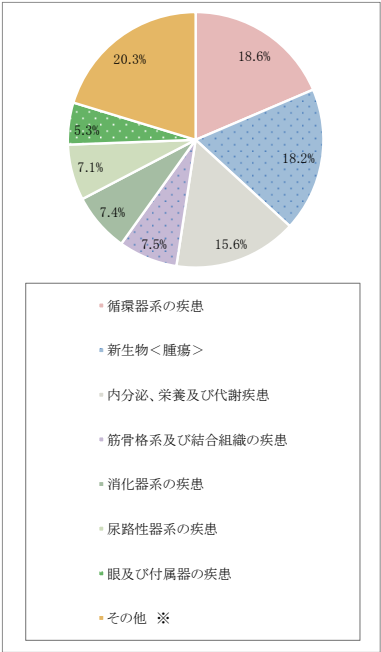
大・中・細小分類別分析
(入院) (令和4年度)

順位	大分類別分析		中分類別分析			細小分類分析	
1	新生物＜腫瘍＞	20.7%	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	8.4%		前立腺がん	1.2%
			気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	2.9%		膀胱がん	1.1%
						膵臓がん	1.0%
						肺がん	2.9%
						悪性リンパ腫	2.7%
2	循環器系の疾患	16.2%	その他の心疾患	5.7%		不整脈	1.2%
			脳梗塞	4.9%		心臓弁膜症	0.8%
						脳梗塞	4.9%
			虚血性心疾患	2.6%		狭心症	1.4%
3	精神及び行動の障害	12.9%	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	6.5%		統合失調症	6.5%
			気分(感情)障害(躁うつ病を含む)	4.8%			
						うつ病	4.8%
			神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	0.8%			
4	神経系の疾患	11.8%	その他の神経系の疾患	7.4%		睡眠時無呼吸症候群	0.5%
			てんかん	2.4%			
			アルツハイマー病	1.3%			

出典：国保データベース（KDB）システム「医療費分析（2）大・中・細小分類」
※疾病中分類に紐づく細小分類が存在しない場合、空白としている。

令和4年度の外来医療費では、「循環器系の疾患」が最も高く、18.6%を占めています。

大分類別医療費構成比
(外来) (令和4年度)



※その他…外来医療費に占める割合が5%未満の疾病を集約。

大・中・細小分類別分析
(外来) (令和4年度)

順位	大分類別分析		中分類別分析		細小分類分析	
1	循環器系の疾患	18.6%	高血圧性疾患	10.4%	高血圧症	10.4%
			その他の心疾患	6.3%		
					不整脈	4.2%
					虚血性心疾患	0.9%
2	新生物＜腫瘍＞	18.2%	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	4.7%	腎臓がん	1.0%
			気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	4.5%	前立腺がん	0.9%
					膵臓がん	0.3%
					肺がん	4.5%
3	内分泌、栄養及び代謝疾患	15.6%	糖尿病	10.3%	糖尿病	9.6%
			脂質異常症	3.9%	糖尿病網膜症	0.6%
					脂質異常症	3.9%
					その他の内分泌、栄養及び代謝障害	0.8%
4	筋骨格系及び結合組織の疾患	7.5%	骨の密度及び構造の障害	1.7%	骨粗しょう症	1.7%
			炎症性多発性関節障害	1.5%		
					脊椎障害(脊椎症を含む)	1.4%

出典:国保データベース(KDB)システム「医療費分析(2)大、中、細小分類」
※疾病中分類に紐づく細小分類が存在しない場合、空白としている。

令和4年度の医療費を細小分類別にみると、医療費上位第1位は「高血圧症」で6.5%を占めており、第2位「糖尿病」は6.0%を占めています。

細小分類による医療費上位10疾病(令和4年度)

順位	細小分類別疾患	医療費(円)	割合(%) ※
1	高血圧症	128,746,880	6.5%
2	糖尿病	119,551,260	6.0%
3	肺がん	76,061,510	3.8%
4	統合失調症	65,427,140	3.3%
5	不整脈	59,251,030	3.0%
6	慢性腎臓病(透析あり)	57,632,490	2.9%
7	うつ病	55,022,800	2.8%
8	関節疾患	51,065,570	2.6%
9	大腸がん	46,288,460	2.3%
10	脂質異常症	46,225,550	2.3%

出典:国保データベース(KDB)システム「医療費分析(2)大、中、細小分類」
※割合…総医療費に占める割合。
※細小分類のうち、「その他」及び「小児科」については上位10疾病の対象外としている。

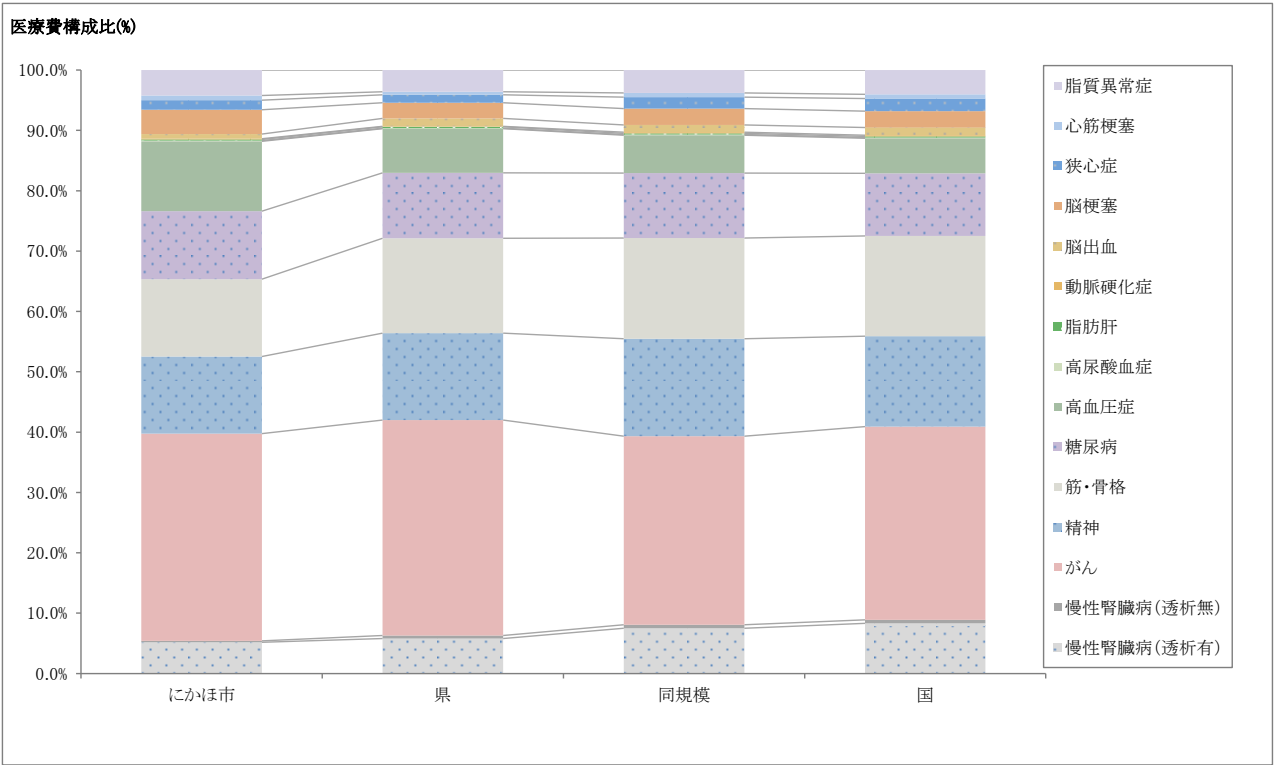
以下は、令和4年度における最大医療資源傷病名別の医療費構成比を示したものです。

最大医療資源傷病名別医療費構成比(令和4年度)

傷病名	にかほ市	県	同規模	国
慢性腎臓病(透析有)	5.2%	5.8%	7.5%	8.3%
慢性腎臓病(透析無)	0.2%	0.5%	0.6%	0.6%
がん	34.4%	35.6%	31.3%	32.0%
精神	12.8%	14.4%	16.2%	15.0%
筋・骨格	12.8%	15.7%	16.7%	16.6%
糖尿病	11.3%	10.8%	10.8%	10.4%
高血圧症	11.6%	7.3%	6.3%	5.8%
高尿酸血症	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
脂肪肝	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%
動脈硬化症	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%
脳出血	0.8%	1.3%	1.2%	1.3%
脳梗塞	4.0%	2.6%	2.7%	2.7%
狭心症	1.6%	1.3%	1.9%	2.1%
心筋梗塞	0.8%	0.5%	0.7%	0.7%
脂質異常症	4.2%	3.6%	3.8%	4.0%

出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

最大医療資源傷病名別医療費構成比(令和4年度)



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

以下は、令和4年度の生活習慣病医療費の状況について、入院、外来、入外合計別に示したものです。上位5疾病をみると、がん、筋・骨格は入院・外来共通ですが、入院では、精神と脳梗塞と狭心症、外来では高血圧症と糖尿病と脂質異常症が上位となっています。

生活習慣病等疾病別医療費統計(入院)(令和4年度)

疾病分類	医療費(円)	構成比(%)	順位	レセプト件数(件)	構成比(%)	順位	レセプト一件当たりの医療費(円)	順位
糖尿病	4,495,380	0.6%	9	10	0.7%	8	449,538	8
高血圧症	4,736,500	0.6%	8	11	0.8%	7	430,591	9
脂質異常症	0	0.0%	11	0	0.0%	11	0	11
高尿酸血症	0	0.0%	11	0	0.0%	11	0	11
脂肪肝	0	0.0%	11	0	0.0%	11	0	11
動脈硬化症	713,560	0.1%	10	1	0.1%	10	713,560	6
脳出血	8,612,030	1.1%	6	15	1.0%	5	574,135	7
脳梗塞	39,302,130	4.9%	4	54	3.7%	4	727,817	4
狭心症	10,791,760	1.4%	5	15	1.0%	5	719,451	5
心筋梗塞	8,284,850	1.0%	7	6	0.4%	9	1,380,808	1
がん	165,319,090	20.7%	1	222	15.4%	2	744,681	3
筋・骨格	53,144,730	6.7%	3	63	4.4%	3	843,567	2
精神	103,310,090	12.9%	2	280	19.4%	1	368,965	10
その他(上記以外のもの)	399,454,890	50.0%		769	53.2%		519,447	
合計	798,165,010			1,446			551,981	

出典:国保データベース(KDB)システム「疾病別医療費分析(生活習慣病)」

生活習慣病等疾病別医療費統計(外来)(令和4年度)

疾病分類	医療費(円)	構成比(%)	順位	レセプト件数(件)	構成比(%)	順位	レセプト一件当たりの医療費(円)	順位
糖尿病	120,846,200	10.2%	3	4,666	8.6%	3	25,899	4
高血圧症	124,010,380	10.4%	2	9,064	16.8%	1	13,682	11
脂質異常症	46,277,650	3.9%	5	3,736	6.9%	4	12,387	12
高尿酸血症	1,042,570	0.1%	10	122	0.2%	9	8,546	13
脂肪肝	1,906,310	0.2%	9	93	0.2%	10	20,498	6
動脈硬化症	688,990	0.1%	11	23	0.0%	11	29,956	3
脳出血	502,440	0.0%	13	21	0.0%	12	23,926	5
脳梗塞	4,923,090	0.4%	8	314	0.6%	8	15,679	10
狭心症	7,253,520	0.6%	7	365	0.7%	7	19,873	7
心筋梗塞	535,690	0.0%	12	11	0.0%	13	48,699	2
がん	216,525,110	18.2%	1	1,936	3.6%	6	111,841	1
筋・骨格	88,776,260	7.5%	4	5,160	9.5%	2	17,205	9
精神	38,915,250	3.3%	6	2,182	4.0%	5	17,835	8
その他(上記以外のもの)	535,632,160	45.1%		26,388	48.8%		20,298	
合計	1,187,835,620			54,081			21,964	

出典:国保データベース(KDB)システム「疾病別医療費分析(生活習慣病)」

生活習慣病等疾病別医療費統計(入外合計)(令和4年度)

疾病分類	医療費(円)	構成比(%)	順位	レセプト件数(件)	構成比(%)	順位	レセプト一件当たりの医療費(円)	順位
糖尿病	125,341,580	6.3%	5	4,676	8.4%	3	26,805	9
高血圧症	128,746,880	6.5%	4	9,075	16.3%	1	14,187	11
脂質異常症	46,277,650	2.3%	6	3,736	6.7%	4	12,387	12
高尿酸血症	1,042,570	0.1%	13	122	0.2%	9	8,546	13
脂肪肝	1,906,310	0.1%	11	93	0.2%	10	20,498	10
動脈硬化症	1,402,550	0.1%	12	24	0.0%	12	58,440	5
脳出血	9,114,470	0.5%	9	36	0.1%	11	253,180	2
脳梗塞	44,225,220	2.2%	7	368	0.7%	8	120,177	4
狭心症	18,045,280	0.9%	8	380	0.7%	7	47,488	7
心筋梗塞	8,820,540	0.4%	10	17	0.0%	13	518,855	1
がん	381,844,200	19.2%	1	2,158	3.9%	6	176,944	3
筋・骨格	141,920,990	7.1%	3	5,223	9.4%	2	27,172	8
精神	142,225,340	7.2%	2	2,462	4.4%	5	57,768	6
その他(上記以外のもの)	935,087,050	47.1%		27,157	48.9%		34,433	
合計	1,986,000,630			55,527			35,766	

出典：国保データベース (KDB) システム「疾病別医療費分析(生活習慣病)」

2. 生活習慣病に関する分析

(1) 生活習慣病患者の状況

以下は、生活習慣病患者のレセプトデータから、併存している疾患の状況を示したものです。高血圧症64. 0%、脂質異常症51. 5%、糖尿病29. 1%が上位3疾病です。

生活習慣病全体のレセプト分析

年齢階層		被保険者数 (人)	レセプト件数 (件)	生活習慣病対象者		脳血管疾患		虚血性心疾患		人工透析		糖尿病		インスリン療法	
				人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
		A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G	G/C	H	H/C
20歳代以下		455	202	44	9.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	4.5%	0	0.0%
30歳代		284	123	55	19.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	12.7%	2	3.6%
40歳代		401	190	115	28.7%	3	2.6%	3	2.6%	0	0.0%	22	19.1%	5	4.3%
50歳代		463	312	189	40.8%	8	4.2%	19	10.1%	2	1.1%	49	25.9%	4	2.1%
60歳～64歳		650	531	334	51.4%	22	6.6%	22	6.6%	4	1.2%	84	25.1%	10	3.0%
65歳～69歳		1,376	1,211	785	57.0%	52	6.6%	69	8.8%	2	0.3%	234	29.8%	16	2.0%
70歳～74歳		1,869	2,131	1,324	70.8%	127	9.6%	169	12.8%	5	0.4%	430	32.5%	35	2.6%
全体		5,498	4,700	2,846	51.8%	212	7.4%	282	9.9%	13	0.5%	828	29.1%	72	2.5%
再掲	40歳～74歳	4,759	4,375	2,747	57.7%	212	7.7%	282	10.3%	13	0.5%	819	29.8%	70	2.5%
	65歳～74歳	3,245	3,342	2,109	65.0%	179	8.5%	238	11.3%	7	0.3%	664	31.5%	51	2.4%

年齢階層	糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害		高血圧症		高尿酸血症		脂質異常症		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C	N	N/C	
20歳代以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.3%	0	0.0%	5	11.4%	
30歳代	1	1.8%	0	0.0%	1	1.8%	5	9.1%	7	12.7%	11	20.0%	
40歳代	1	0.9%	3	2.6%	0	0.0%	26	22.6%	12	10.4%	36	31.3%	
50歳代	2	1.1%	1	0.5%	1	0.5%	92	48.7%	35	18.5%	81	42.9%	
60歳～64歳	6	1.8%	7	2.1%	1	0.3%	183	54.8%	45	13.5%	166	49.7%	
65歳～69歳	13	1.7%	22	2.8%	4	0.5%	563	71.7%	113	14.4%	426	54.3%	
70歳～74歳	27	2.0%	33	2.5%	8	0.6%	952	71.9%	190	14.4%	742	56.0%	
全体	50	1.8%	66	2.3%	15	0.5%	1,822	64.0%	402	14.1%	1,467	51.5%	
再掲	40歳～74歳	49	1.8%	66	2.4%	14	0.5%	1,816	66.1%	395	14.4%	1,451	52.8%
	65歳～74歳	40	1.9%	55	2.6%	12	0.6%	1,515	71.8%	303	14.4%	1,168	55.4%

出典: 国保データベース (KDB) システム「生活習慣病全体のレセプト分析」(令和4年5月診療分)

糖尿病のレセプト分析

年齢階層	被保険者数 (人)	レセプト件数 (件)	糖尿病		インスリン療法		糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害		
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G	G/C	
20歳代以下	455	202	2	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	284	123	7	2.5%	2	28.6%	1	14.3%	0	0.0%	1	14.3%	
40歳代	401	190	22	5.5%	5	22.7%	1	4.5%	3	13.6%	0	0.0%	
50歳代	463	312	49	10.6%	4	8.2%	2	4.1%	1	2.0%	1	2.0%	
60歳～64歳	650	531	84	12.9%	10	11.9%	6	7.1%	7	8.3%	1	1.2%	
65歳～69歳	1,376	1,211	234	17.0%	16	6.8%	13	5.6%	22	9.4%	4	1.7%	
70歳～74歳	1,869	2,131	430	23.0%	35	8.1%	27	6.3%	33	7.7%	8	1.9%	
全体	5,498	4,700	828	15.1%	72	8.7%	50	6.0%	66	8.0%	15	1.8%	
再掲	40歳～74歳	4,759	4,375	819	17.2%	70	8.5%	49	6.0%	66	8.1%	14	1.7%
	65歳～74歳	3,245	3,342	664	20.5%	51	7.7%	40	6.0%	55	8.3%	12	1.8%

年齢階層	脳血管疾患		虚血性心疾患		人工透析		高血圧症		高尿酸血症		脂質異常症		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	H	H/C	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C	
20歳代以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	28.6%	2	28.6%	4	57.1%	
40歳代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	10	45.5%	6	27.3%	13	59.1%	
50歳代	2	4.1%	5	10.2%	0	0.0%	38	77.6%	14	28.6%	27	55.1%	
60歳～64歳	12	14.3%	11	13.1%	2	2.4%	61	72.6%	20	23.8%	56	66.7%	
65歳～69歳	21	9.0%	33	14.1%	2	0.9%	185	79.1%	40	17.1%	168	71.8%	
70歳～74歳	50	11.6%	72	16.7%	4	0.9%	344	80.0%	78	18.1%	307	71.4%	
全体	85	10.3%	121	14.6%	8	1.0%	640	77.3%	160	19.3%	575	69.4%	
再掲	40歳～74歳	85	10.4%	121	14.8%	8	1.0%	638	77.9%	158	19.3%	571	69.7%
	65歳～74歳	71	10.7%	105	15.8%	6	0.9%	529	79.7%	118	17.8%	475	71.5%

出典: 国保データベース (KDB) システム「糖尿病のレセプト分析」(令和4年5月診療分)

脂質異常症のレセプト分析

年齢階層	被保険者数 (人)	レセプト件数 (件)	脂質異常症		脳血管疾患		虚血性心疾患		人工透析		糖尿病		
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G	G/C	
20歳代以下	455	202	5	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	284	123	11	3.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	36.4%	
40歳代	401	190	36	9.0%	1	2.8%	2	5.6%	0	0.0%	13	36.1%	
50歳代	463	312	81	17.5%	3	3.7%	13	16.0%	1	1.2%	27	33.3%	
60歳～64歳	650	531	166	25.5%	16	9.6%	18	10.8%	3	1.8%	56	33.7%	
65歳～69歳	1,376	1,211	426	31.0%	34	8.0%	46	10.8%	1	0.2%	168	39.4%	
70歳～74歳	1,869	2,131	742	39.7%	84	11.3%	120	16.2%	3	0.4%	307	41.4%	
全体	5,498	4,700	1,467	26.7%	138	9.4%	199	13.6%	8	0.5%	575	39.2%	
再掲	40歳～74歳	4,759	4,375	1,451	30.5%	138	9.5%	199	13.7%	8	0.6%	571	39.4%
	65歳～74歳	3,245	3,342	1,168	36.0%	118	10.1%	166	14.2%	4	0.3%	475	40.7%

年齢階層	インスリン療法		糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害		高血圧症		高尿酸血症		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	H	H/C	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C	
20歳代以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	0	0.0%	1	9.1%	0	0.0%	0	0.0%	3	27.3%	4	36.4%	
40歳代	4	11.1%	1	2.8%	1	2.8%	0	0.0%	12	33.3%	7	19.4%	
50歳代	3	3.7%	2	2.5%	0	0.0%	1	1.2%	52	64.2%	22	27.2%	
60歳～64歳	4	2.4%	3	1.8%	4	2.4%	1	0.6%	108	65.1%	31	18.7%	
65歳～69歳	13	3.1%	10	2.3%	16	3.8%	3	0.7%	330	77.5%	72	16.9%	
70歳～74歳	26	3.5%	18	2.4%	24	3.2%	6	0.8%	579	78.0%	112	15.1%	
全体	50	3.4%	35	2.4%	45	3.1%	11	0.7%	1,084	73.9%	248	16.9%	
再掲	40歳～74歳	50	3.4%	34	2.3%	45	3.1%	11	0.8%	1,081	74.5%	244	16.8%
	65歳～74歳	39	3.3%	28	2.4%	40	3.4%	9	0.8%	909	77.8%	184	15.8%

出典:国保データベース (KDB) システム「脂質異常症のレセプト分析」(令和4年5月診療分)

高血圧症のレセプト分析

年齢階層	被保険者数 (人)	レセプト件数 (件)	高血圧症		脳血管疾患		虚血性心疾患		人工透析		糖尿病		
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G	G/C	
20歳代以下	455	202	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	284	123	5	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	40.0%	
40歳代	401	190	26	6.5%	0	0.0%	1	3.8%	0	0.0%	10	38.5%	
50歳代	463	312	92	19.9%	6	6.5%	15	16.3%	2	2.2%	38	41.3%	
60歳～64歳	650	531	183	28.2%	17	9.3%	13	7.1%	4	2.2%	61	33.3%	
65歳～69歳	1,376	1,211	563	40.9%	45	8.0%	60	10.7%	2	0.4%	185	32.9%	
70歳～74歳	1,869	2,131	952	50.9%	105	11.0%	141	14.8%	4	0.4%	344	36.1%	
全体	5,498	4,700	1,822	33.1%	173	9.5%	230	12.6%	12	0.7%	640	35.1%	
再掲	40歳～74歳	4,759	4,375	1,816	38.2%	173	9.5%	230	12.7%	12	0.7%	638	35.1%
	65歳～74歳	3,245	3,342	1,515	46.7%	150	9.9%	201	13.3%	6	0.4%	529	34.9%

年齢階層	インスリン療法		糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害		高尿酸血症		脂質異常症		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	H	H/C	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C	
20歳代以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	60.0%	3	60.0%	
40歳代	5	19.2%	1	3.8%	1	3.8%	0	0.0%	9	34.6%	12	46.2%	
50歳代	3	3.3%	2	2.2%	0	0.0%	1	1.1%	32	34.8%	52	56.5%	
60歳～64歳	7	3.8%	4	2.2%	4	2.2%	1	0.5%	36	19.7%	108	59.0%	
65歳～69歳	12	2.1%	11	2.0%	19	3.4%	4	0.7%	102	18.1%	330	58.6%	
70歳～74歳	26	2.7%	27	2.8%	22	2.3%	6	0.6%	165	17.3%	579	60.8%	
全体	53	2.9%	45	2.5%	46	2.5%	12	0.7%	347	19.0%	1,084	59.5%	
再掲	40歳～74歳	53	2.9%	45	2.5%	46	2.5%	12	0.7%	344	18.9%	1,081	59.5%
	65歳～74歳	38	2.5%	38	2.5%	41	2.7%	10	0.7%	267	17.6%	909	60.0%

出典:国保データベース (KDB) システム「高血圧症のレセプト分析」(令和4年5月診療分)

虚血性心疾患のレセプト分析

年齢階層	被保険者数 (人)	レセプト件数 (件)	虚血性心疾患		脳血管疾患		人工透析		糖尿病		インスリン療法		
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G	G/C	
20歳代以下	455	202	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	284	123	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
40歳代	401	190	3	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
50歳代	463	312	19	4.1%	1	5.3%	0	0.0%	5	26.3%	0	0.0%	
60歳～64歳	650	531	22	3.4%	6	27.3%	2	9.1%	11	50.0%	1	4.5%	
65歳～69歳	1,376	1,211	69	5.0%	5	7.2%	1	1.4%	33	47.8%	3	4.3%	
70歳～74歳	1,869	2,131	169	9.0%	29	17.2%	2	1.2%	72	42.6%	12	7.1%	
全体	5,498	4,700	282	5.1%	41	14.5%	5	1.8%	121	42.9%	16	5.7%	
再掲	40歳～74歳	4,759	4,375	282	5.9%	41	14.5%	5	1.8%	121	42.9%	16	5.7%
	65歳～74歳	3,245	3,342	238	7.3%	34	14.3%	3	1.3%	105	44.1%	15	6.3%

年齢階層	糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害		高血圧症		高尿酸血症		脂質異常症		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	H	H/C	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C	
20歳代以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
40歳代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	1	33.3%	2	66.7%	
50歳代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	15	78.9%	10	52.6%	13	68.4%	
60歳～64歳	1	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	13	59.1%	4	18.2%	18	81.8%	
65歳～69歳	3	4.3%	3	4.3%	0	0.0%	60	87.0%	20	29.0%	46	66.7%	
70歳～74歳	8	4.7%	7	4.1%	4	2.4%	141	83.4%	39	23.1%	120	71.0%	
全体	12	4.3%	10	3.5%	4	1.4%	230	81.6%	74	26.2%	199	70.6%	
再掲	40歳～74歳	12	4.3%	10	3.5%	4	1.4%	230	81.6%	74	26.2%	199	70.6%
	65歳～74歳	11	4.6%	10	4.2%	4	1.7%	201	84.5%	59	24.8%	166	69.7%

出典:国保データベース (KDB) システム「虚血性心疾患のレセプト分析」(令和4年5月診療分)

脳血管疾患のレセプト分析

年齢階層	被保険者数 (人)	レセプト件数 (件)	脳血管疾患		虚血性心疾患		人工透析		糖尿病		インスリン療法		
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G	G/C	
20歳代以下	455	202	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	284	123	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
40歳代	401	190	3	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
50歳代	463	312	8	1.7%	1	12.5%	1	12.5%	2	25.0%	0	0.0%	
60歳～64歳	650	531	22	3.4%	6	27.3%	3	13.6%	12	54.5%	2	9.1%	
65歳～69歳	1,376	1,211	52	3.8%	5	9.6%	1	1.9%	21	40.4%	2	3.8%	
70歳～74歳	1,869	2,131	127	6.8%	29	22.8%	2	1.6%	50	39.4%	4	3.1%	
全体	5,498	4,700	212	3.9%	41	19.3%	7	3.3%	85	40.1%	8	3.8%	
再掲	40歳～74歳	4,759	4,375	212	4.5%	41	19.3%	7	3.3%	85	40.1%	8	3.8%
	65歳～74歳	3,245	3,342	179	5.5%	34	19.0%	3	1.7%	71	39.7%	6	3.4%

年齢階層	糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害		高血圧症		高尿酸血症		脂質異常症		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	H	H/C	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C	
20歳代以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
40歳代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	
50歳代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	75.0%	2	25.0%	3	37.5%	
60歳～64歳	1	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	17	77.3%	9	40.9%	16	72.7%	
65歳～69歳	1	1.9%	1	1.9%	2	3.8%	45	86.5%	11	21.2%	34	65.4%	
70歳～74歳	3	2.4%	7	5.5%	2	1.6%	105	82.7%	24	18.9%	84	66.1%	
全体	5	2.4%	8	3.8%	4	1.9%	173	81.6%	46	21.7%	138	65.1%	
再掲	40歳～74歳	5	2.4%	8	3.8%	4	1.9%	173	81.6%	46	21.7%	138	65.1%
	65歳～74歳	4	2.2%	8	4.5%	4	2.2%	150	83.8%	35	19.6%	118	65.9%

出典:国保データベース (KDB) システム「脳血管疾患のレセプト分析」(令和4年5月診療分)

(2)透析患者の状況

透析患者の状況について分析を行いました。本市の令和4年度における被保険者に占める透析患者の割合は0.23%で秋田県より0.10ポイント低いです。

透析患者数及び被保険者に占める透析患者の割合(令和4年度)

区分	被保険者数(人)	透析患者数(人)	被保険者に占める透析患者の割合(%)
にかほ市	5,228	12	0.23%
県	190,257	627	0.33%
同規模	2,020,054	7,840	0.39%
国	24,660,500	86,890	0.35%

出典:国保データベース(KDB)システム「医療費分析(1)細小分類」

本市の令和4年度の透析患者数12人は、平成30年度と比較すると横ばいとなっています。本市の令和4年度の患者一人当たりの透析医療費は、平成30年度と比較するとやや増加しています。

年度別 透析患者数及び医療費

年度	透析患者数(人)	透析医療費(円)※	患者一人当たりの透析医療費(円)
平成30年度	12	70,021,010	5,835,084
平成31年度	10	65,323,770	6,532,377
令和2年度	13	71,462,120	5,497,086
令和3年度	12	72,546,960	6,045,580
令和4年度	12	73,751,930	6,145,994

出典:国保データベース(KDB)システム「医療費分析(1)細小分類」

※透析医療費…人工透析を行っているレセプトの総点数を医療費換算したもの。

以下は、透析患者数及び被保険者に占める割合を男女年齢階層別に示したものです。男性0.40%、女性0.07%で全国的な数値と比べると女性が大幅に低い状況です。また、男性は50歳～54歳の年齢階層から透析患者が存在していることに注意が必要です。

男女年齢階層別 透析患者数及び被保険者に占める割合

年齢階層	男女合計			男性			女性		
	被保険者数(人)	透析患者数(人)	被保険者に占める透析患者割合(%)	被保険者数(人)	透析患者数(人)	被保険者に占める透析患者割合(%)	被保険者数(人)	透析患者数(人)	被保険者に占める透析患者割合(%)
0歳～4歳	45	0	0.00%	19	0	0.00%	26	0	0.00%
5歳～9歳	70	0	0.00%	37	0	0.00%	33	0	0.00%
10歳～14歳	78	0	0.00%	35	0	0.00%	43	0	0.00%
15歳～19歳	89	0	0.00%	53	0	0.00%	36	0	0.00%
20歳～24歳	76	0	0.00%	45	0	0.00%	31	0	0.00%
25歳～29歳	97	0	0.00%	52	0	0.00%	45	0	0.00%
30歳～34歳	113	0	0.00%	74	0	0.00%	39	0	0.00%
35歳～39歳	171	0	0.00%	112	0	0.00%	59	0	0.00%
40歳～44歳	189	0	0.00%	112	0	0.00%	77	0	0.00%
45歳～49歳	212	0	0.00%	117	0	0.00%	95	0	0.00%
50歳～54歳	222	1	0.45%	110	1	0.91%	112	0	0.00%
55歳～59歳	241	1	0.41%	128	1	0.78%	113	0	0.00%
60歳～64歳	650	4	0.62%	304	4	1.32%	346	0	0.00%
65歳～69歳	1,376	2	0.15%	658	2	0.30%	718	0	0.00%
70歳～74歳	1,869	5	0.27%	868	3	0.35%	1,001	2	0.20%
全体	5,498	13	0.24%	2,724	11	0.40%	2,774	2	0.07%

出典:国保データベース (KDB) システム「人工透析のレセプト分析」(令和4年5月診療分)

以下は、透析患者のレセプトデータから、併存している疾患の状況を示したものです。

透析のレセプト分析

年齢階層	被保険者数 (人)	レセプト件数 (件)	人工透析		糖尿病		インスリン療法		糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G	G/C	
20歳代以下	455	202	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	284	123	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
40歳代	401	190	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
50歳代	463	312	2	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
60歳～64歳	650	531	4	0.6%	2	50.0%	1	25.0%	1	25.0%	0	0.0%	
65歳～69歳	1,376	1,211	2	0.1%	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	
70歳～74歳	1,869	2,131	5	0.3%	4	80.0%	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	
全体	5,498	4,700	13	0.2%	8	61.5%	1	7.7%	2	15.4%	1	7.7%	
再掲	40歳～74歳	4,759	4,375	13	0.3%	8	61.5%	1	7.7%	2	15.4%	1	7.7%
	65歳～74歳	3,245	3,342	7	0.2%	6	85.7%	0	0.0%	1	14.3%	1	14.3%

年齢階層		糖尿病性神経障害		高血圧症		高尿酸血症		脂質異常症		脳血管疾患		虚血性心疾患	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
		H	H/C	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C
20歳代以下		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
30歳代		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
40歳代		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
50歳代		0	0.0%	2	100.0%	2	100.0%	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%
60歳～64歳		0	0.0%	4	100.0%	4	100.0%	3	75.0%	3	75.0%	2	50.0%
65歳～69歳		0	0.0%	2	100.0%	2	100.0%	1	50.0%	1	50.0%	1	50.0%
70歳～74歳		0	0.0%	4	80.0%	4	80.0%	3	60.0%	2	40.0%	2	40.0%
全体		0	0.0%	12	92.3%	12	92.3%	8	61.5%	7	53.8%	5	38.5%
再掲	40歳～74歳	0	0.0%	12	92.3%	12	92.3%	8	61.5%	7	53.8%	5	38.5%
	65歳～74歳	0	0.0%	6	85.7%	6	85.7%	4	57.1%	3	42.9%	3	42.9%

出典:国保データベース (KDB) システム「人工透析のレセプト分析」(令和4年5月診療分)

3. 健康診査データによる分析

以下は、令和4年度健康診査データによる、検査項目別の有所見者の状況を示したものです。健診受診者全体では、HbA1cの有所見者割合が最も高く、健診受診者の74.7%を占めています。

16検査項目中、ALTを除く15項目は秋田県より高くなっています。特に血糖、心電図、眼底検査、non-HDLは秋田県より5ポイント以上高く、HbA1Cは秋田県より20ポイント以上高いことに注意が必要です。なお、検査項目によっては検査の対象外である可能性があります。

検査項目別有所見者の状況(令和4年度)

区分			BMI	腹囲	中性脂肪	ALT	HDL	血糖	HbA1c	尿酸
			25以上	男性85以上 女性90以上	150以上	31以上	40未満	100以上	5.6以上	7.0以上
にかほ市	40歳～64歳	人数(人)	123	138	110	74	18	95	236	37
		割合(%)	33.7%	37.8%	30.1%	20.3%	4.9%	26.0%	64.7%	10.1%
	65歳～74歳	人数(人)	422	511	316	172	45	396	1,044	83
		割合(%)	31.3%	37.9%	23.4%	12.8%	3.3%	29.4%	77.4%	6.2%
	全体 (40歳～74歳)	人数(人)	545	649	426	246	63	491	1,280	120
		割合(%)	31.8%	37.9%	24.9%	14.4%	3.7%	28.7%	74.7%	7.0%
県		割合(%)	30.2%	35.3%	24.4%	15.1%	3.5%	22.9%	50.1%	6.4%
国		割合(%)	26.8%	34.9%	21.2%	14.0%	3.9%	24.7%	58.3%	6.7%

区分			収縮期血圧	拡張期血圧	LDL	クレアチニン	心電図	眼底検査	non-HDL	eGFR
			130以上	85以上	120以上	1.3以上	所見あり	検査あり	150以上	60未満
にかほ市	40歳～64歳	人数(人)	152	99	200	2	58	124	49	44
		割合(%)	41.6%	27.1%	54.8%	0.5%	15.9%	34.0%	13.4%	12.1%
	65歳～74歳	人数(人)	789	263	607	18	276	340	120	281
		割合(%)	58.5%	19.5%	45.0%	1.3%	20.5%	25.2%	8.9%	20.8%
	全体 (40歳～74歳)	人数(人)	941	362	807	20	334	464	169	325
		割合(%)	54.9%	21.1%	47.1%	1.2%	19.5%	27.1%	9.9%	19.0%
県		割合(%)	52.3%	20.3%	46.6%	1.0%	12.6%	20.6%	4.2%	17.7%
国		割合(%)	48.2%	20.7%	50.0%	1.3%	21.7%	18.7%	5.2%	21.9%

出典：国保データベース (KDB) システム「健診有所見者状況(男女別・年代別)」

以下は、令和4年度健康診査データによるメタボリックシンドローム該当状況を示したものです。健診受診者全体では、予備群は10.6%、該当者は25.0%です。また、血糖、血圧、脂質の3項目全ての追加リスクを持っている該当者は9.4%です。

メタボリックシンドローム該当状況(令和4年度)

年齢階層	健診受診者		腹囲のみ		予備群		血糖		血圧		脂質	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
40歳～64歳	365	28.9%	12	3.3%	41	11.2%	4	1.1%	26	7.1%	11	3.0%
65歳～74歳	1,348	46.0%	26	1.9%	141	10.5%	8	0.6%	104	7.7%	29	2.2%
全体(40歳～74歳)	1,713	40.8%	38	2.2%	182	10.6%	12	0.7%	130	7.6%	40	2.3%

年齢階層	該当者									
			血糖＋血圧		血糖＋脂質		血圧＋脂質		3項目全て	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
40歳～64歳	85	23.3%	8	2.2%	3	0.8%	42	11.5%	32	8.8%
65歳～74歳	344	25.5%	44	3.3%	16	1.2%	155	11.5%	129	9.6%
全体(40歳～74歳)	429	25.0%	52	3.0%	19	1.1%	197	11.5%	161	9.4%

出典：国保データベース (KDB) システム「メタボリックシンドローム該当者・予備群」

※メタボリックシンドローム判定基準

腹囲	追加リスク (①血糖 ②血圧 ③脂質)	該当状況
≥85cm (男性)	2つ以上該当	メタボリックシンドローム基準該当者
≥90cm (女性)	1つ該当	メタボリックシンドローム予備群該当者

※追加リスクの基準値は以下のとおりである。

- ①血糖：空腹時血糖が110mg/dl以上
- ②血圧：収縮期血圧130mmHg以上 または 拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質：中性脂肪150mg/dl以上 または HDLコレステロール40mg/dl未満

※糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者も対象となる。

以下は、令和4年度健康診査データにおける質問票調査の状況について、年齢階層別に示したものです。

全体（40歳～74歳）では、分類「服薬」「既往歴」「体重増加」「運動」「飲酒」「睡眠」「咀嚼」の各項目で課題となる項目の割合が秋田県よりも高いことに注意が必要です。

質問票調査の状況(令和4年度)

分類	質問項目	40歳～64歳				65歳～74歳			
		にかほ市	県	同規模	国	にかほ市	県	同規模	国
服薬	服薬_高血圧症	33.2%	24.3%	22.3%	20.2%	50.8%	46.2%	45.4%	43.7%
	服薬_糖尿病	6.3%	5.6%	6.1%	5.3%	10.5%	10.1%	11.3%	10.4%
	服薬_脂質異常症	19.5%	19.0%	17.2%	16.6%	36.2%	35.0%	33.7%	34.3%
既往歴	既往歴_脳卒中	2.2%	2.5%	1.9%	2.0%	3.9%	4.1%	3.8%	3.8%
	既往歴_心臓病	4.1%	3.5%	3.2%	3.0%	9.7%	7.3%	6.9%	6.8%
	既往歴_慢性腎臓病・腎不全	0.0%	0.3%	0.7%	0.6%	0.4%	0.4%	1.0%	0.9%
	既往歴_貧血	15.4%	14.6%	12.9%	14.2%	12.4%	9.7%	8.9%	9.3%
喫煙	喫煙	20.0%	20.9%	19.3%	18.9%	9.7%	10.5%	10.5%	10.2%
体重増加	20歳時体重から10kg以上増加	38.2%	38.4%	38.8%	37.8%	33.9%	30.4%	33.1%	33.2%
運動	1回30分以上の運動習慣なし	75.3%	69.8%	71.2%	68.7%	62.3%	59.8%	59.5%	55.3%
	1日1時間以上運動なし	58.2%	42.4%	48.0%	49.3%	54.4%	42.2%	46.9%	46.7%
	歩行速度遅い	56.0%	54.9%	57.2%	53.3%	56.8%	52.8%	53.4%	49.5%
食事	食べる速度が速い	27.9%	29.3%	31.4%	30.8%	23.3%	22.7%	25.1%	24.6%
	食べる速度が普通	66.0%	63.7%	60.9%	61.1%	70.2%	70.1%	66.6%	67.6%
	食べる速度が遅い	6.0%	7.0%	7.7%	8.2%	6.5%	7.2%	8.3%	7.8%
	週3回以上就寝前夕食	17.3%	19.5%	19.7%	21.0%	13.9%	15.5%	13.2%	12.1%
	週3回以上朝食を抜く	11.0%	14.1%	15.5%	18.8%	5.2%	4.5%	5.0%	5.8%
飲酒	毎日飲酒	28.0%	29.4%	25.1%	24.3%	27.4%	29.7%	25.5%	24.7%
	時々飲酒	24.7%	23.5%	23.6%	25.2%	21.7%	20.4%	19.3%	21.0%
	飲まない	47.3%	47.1%	51.3%	50.5%	51.0%	50.0%	55.2%	54.3%
	1日飲酒量(1合未満)	40.2%	45.2%	58.1%	61.0%	41.6%	49.1%	64.7%	67.6%
	1日飲酒量(1～2合)	35.8%	34.5%	25.1%	23.0%	40.3%	34.8%	25.1%	23.1%
	1日飲酒量(2～3合)	17.6%	14.4%	12.2%	11.2%	15.9%	13.5%	8.5%	7.8%
	1日飲酒量(3合以上)	6.4%	5.9%	4.6%	4.8%	2.3%	2.6%	1.7%	1.5%
睡眠	睡眠不足	21.8%	22.9%	28.0%	28.4%	20.9%	18.9%	23.9%	23.5%
生活習慣改善意欲	改善意欲なし	21.5%	24.1%	26.6%	23.2%	26.9%	30.4%	32.0%	29.4%
	改善意欲あり	43.3%	37.6%	33.1%	32.8%	34.3%	30.9%	26.9%	25.9%
	改善意欲ありかつ始めている	14.3%	13.8%	14.0%	16.3%	14.4%	12.7%	11.6%	12.9%
	取り組み済み6ヶ月未満	8.3%	9.2%	9.4%	10.0%	8.3%	7.7%	8.0%	8.5%
	取り組み済み6ヶ月以上	12.7%	15.3%	17.0%	17.8%	16.2%	18.3%	21.5%	23.1%
	保健指導利用しない	63.8%	64.0%	68.0%	62.6%	62.1%	60.6%	65.3%	63.0%
咀嚼	咀嚼_何でも	80.0%	80.3%	82.7%	83.8%	72.4%	73.7%	74.6%	77.0%
	咀嚼_かみにくい	18.6%	19.0%	16.5%	15.5%	26.9%	25.6%	24.4%	22.2%
	咀嚼_ほとんどかめない	1.4%	0.7%	0.8%	0.7%	0.7%	0.8%	1.0%	0.8%
間食	3食以外間食_毎日	19.4%	23.1%	24.5%	23.7%	16.7%	22.2%	21.0%	20.7%
	3食以外間食_時々	58.6%	56.0%	55.6%	55.4%	62.4%	58.4%	58.8%	58.5%
	3食以外間食_ほとんど摂取しない	21.9%	20.9%	19.9%	20.9%	20.8%	19.3%	20.2%	20.8%

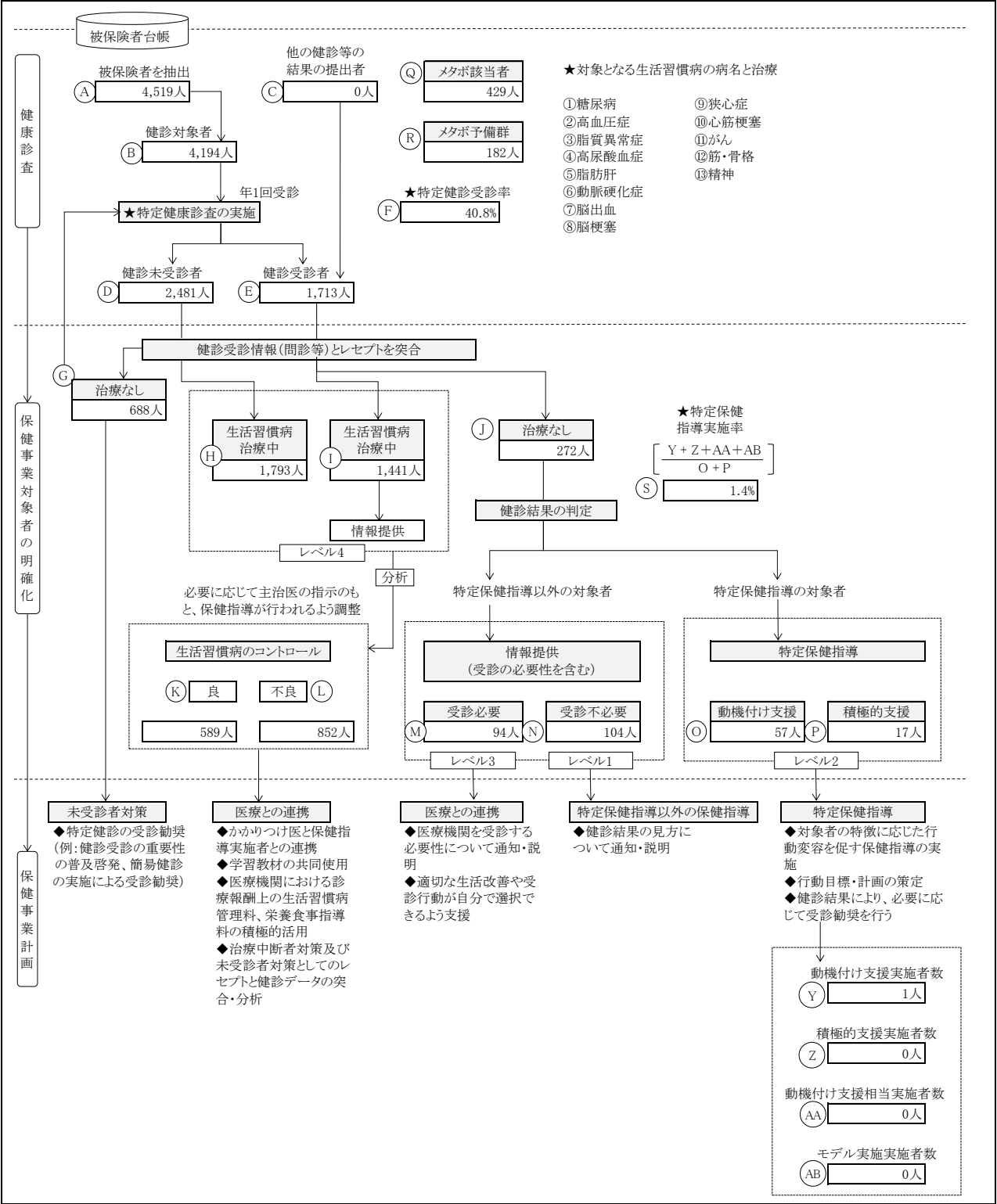
分類	質問項目	全体(40歳～74歳)			
		にかほ市	県	同規模	国
服薬	服薬_高血圧症	47.0%	41.1%	39.1%	36.9%
	服薬_糖尿病	9.6%	9.0%	9.9%	8.9%
	服薬_脂質異常症	32.7%	31.2%	29.2%	29.2%
既往歴	既往歴_脳卒中	3.5%	3.7%	3.3%	3.3%
	既往歴_心臓病	8.5%	6.4%	5.9%	5.7%
	既往歴_慢性腎臓病・腎不全	0.4%	0.4%	0.9%	0.8%
	既往歴_貧血	13.1%	10.9%	10.0%	10.7%
喫煙	喫煙	11.9%	12.9%	12.9%	12.7%
体重増加	20歳時体重から10kg以上増加	34.8%	32.3%	34.7%	34.5%
運動	1回30分以上の運動習慣なし	65.1%	62.2%	62.7%	59.2%
	1日1時間以上運動なし	55.2%	42.2%	47.2%	47.4%
	歩行速度遅い	56.6%	53.3%	54.4%	50.6%
食事	食べる速度が速い	24.3%	24.3%	26.8%	26.4%
	食べる速度が普通	69.3%	68.6%	65.0%	65.7%
	食べる速度が遅い	6.4%	7.1%	8.2%	7.9%
	週3回以上就寝前夕食	14.6%	16.5%	14.9%	14.7%
	週3回以上朝食を抜く	6.4%	6.8%	7.8%	9.6%
飲酒	毎日飲酒	27.5%	29.6%	25.4%	24.6%
	時々飲酒	22.3%	21.1%	20.5%	22.2%
	飲まない	50.2%	49.3%	54.1%	53.2%
	1日飲酒量(1合未満)	41.3%	48.2%	62.9%	65.6%
	1日飲酒量(1～2合)	39.3%	34.7%	25.1%	23.1%
	1日飲酒量(2～3合)	16.3%	13.7%	9.5%	8.8%
	1日飲酒量(3合以上)	3.2%	3.4%	2.5%	2.5%
睡眠	睡眠不足	21.1%	19.8%	25.0%	24.9%
生活習慣 改善意欲	改善意欲なし	25.7%	28.9%	30.5%	27.6%
	改善意欲あり	36.2%	32.5%	28.6%	27.9%
	改善意欲ありかつ始めている	14.4%	13.0%	12.2%	13.9%
	取り組み済み6ヶ月未満	8.3%	8.1%	8.4%	9.0%
	取り組み済み6ヶ月以上	15.4%	17.6%	20.3%	21.6%
	保健指導利用しない	62.5%	61.4%	66.0%	62.9%
咀嚼	咀嚼_何でも	74.0%	75.2%	76.8%	79.0%
	咀嚼_かみにくい	25.1%	24.0%	22.2%	20.2%
	咀嚼_ほとんどかめない	0.9%	0.7%	0.9%	0.8%
間食	3食以外間食_毎日	17.3%	22.4%	21.9%	21.6%
	3食以外間食_時々	61.6%	57.9%	57.9%	57.6%
	3食以外間食_ほとんど摂取しない	21.1%	19.7%	20.1%	20.9%

出典：国保データベース (KDB) システム「質問票調査の状況」

4. 被保険者の階層化

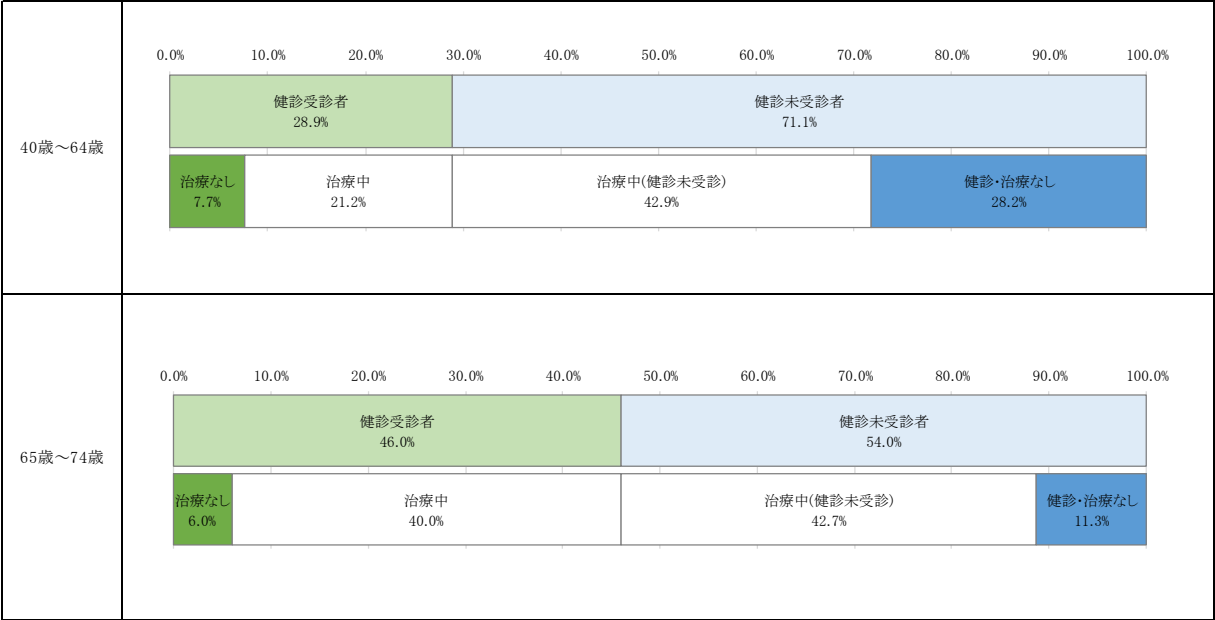
以下は、令和4年度における健康診査データ及びレセプトデータから被保険者を階層化した結果を示したものです。

被保険者の階層化(令和4年度)



以下は、令和4年度における40歳以上の特定健診対象者について、健診受診状況別に生活習慣病の治療状況を示したものです。

特定健診対象者の生活習慣病治療状況(令和4年度)



出典:国保データベース (KDB) システム「糖尿病等生活習慣病予防のための健診・保健指導」
※「治療中」…特定健診対象者のうち、生活習慣病のレセプトを持つ患者を対象として集計。

第5章 健康課題の抽出と保健事業の実施内容

1. 分析結果に基づく健康課題の抽出と解決のための対策

第3期データヘルス計画における秋田県共通評価シート（地域特性）

<人口・被保険者に関すること>

項目		計画策定時の値		第3期計画期間					
		年度	実績値	R6	R7	R8	R9	R10	R11
人口（人）	総数	R4	22,601						
	うち男性	R4	10,876						
	うち女性	R4	11,725						
人口の年齢構成割合（％）	15歳未満	R4	9.0%						
	15～64歳	R4	50.8%						
	65歳以上	R4	40.3%						
	うち75歳以上	R4	21.5%						
国保被保険者数（人）	総数	R4	5,228						
国保被保険者の年齢構成割合（％）	～39歳	R4	13.6%						
	40～64歳	R4	27.6%						
	65～74歳	R4	58.8%						

<寿命・死亡比に関すること>

項目		計画策定時の値		第3期計画期間					
		年度	実績値	R6	R7	R8	R9	R10	R11
平均寿命（年）	男性	R4	79.6						
	女性	R4	86.0						
平均自立期間（要介護2以上）（年）	男性	R4	78.6						
	女性	R4	83.1						
標準化死亡比（人口10万対）	男性	R4	111.7						
	女性	R4	110.3						
死因（％）	がん	R4	48.7%						
	心臓病	R4	28.7%						
	脳疾患	R4	16.4%						
	糖尿病	R4	1.0%						
	腎不全	R4	4.6%						
	自殺	R4	0.5%						

<医療費に関すること>

項目		計画策定時の値		第3期計画期間					
		年度	実績値	R6	R7	R8	R9	R10	R11
男性の医科受診率 (人口千対)	0～14歳	R4	17,180						
	15～39歳	R4	40,850						
	40～44歳	R4	51,310						
	45～49歳	R4	78,180						
	50～54歳	R4	40,980						
	55～59歳	R4	39,710						
	60～64歳	R4	62,040						
	65～69歳	R4	41,410						
	70～74歳	R4	41,120						
女性の医科受診率 (人口千対)	0～14歳	R4	21,010						
	15～39歳	R4	25,410						
	40～44歳	R4	27,990						
	45～49歳	R4	38,550						
	50～54歳	R4	38,620						
	55～59歳	R4	70,740						
	60～64歳	R4	28,040						
	65～69歳	R4	26,620						
	70～74歳	R4	27,250						
医科の1人当たり 医療費 (円)	外来	R4	18,489						
	入院	R4	12,372						

<医療費が高額な疾病の推移>

項目		計画策定時の値		第3期計画期間					
		年度	実績値	R6	R7	R8	R9	R10	R11
医療費の高い疾病の 点数【外来】 ※計画策定時における 上位10選の推移	高血圧症	R4	12,401,038						
	糖尿病	R4	11,426,629						
	肺がん	R4	5,296,077						
	不整脈	R4	4,943,373						
	脂質異常症	R4	4,622,555						
	慢性腎臓病 (透析あり)	R4	4,141,016						
	関節疾患	R4	3,497,767						
	大腸がん	R4	2,847,944						
	小児科	R4	2,220,797						
	白血病	R4	2,151,084						
医療費の高い疾病の 点数【入院】 ※計画策定時における 上位10選の推移	統合失調症	R4	5,165,973						
	脳梗塞	R4	3,930,213						
	うつ病	R4	3,826,401						
	肺がん	R4	2,310,074						
	大腸がん	R4	1,780,902						
	慢性腎臓病 (透析あり)	R4	1,622,233						
	関節疾患	R4	1,608,790						
	骨折	R4	1,503,160						
	胃がん	R4	1,485,696						
	肺炎	R4	1,293,146						

2. 健康課題を解決するための個別の保健事業

第3期データヘルス計画における秋田県共通評価シート（生活習慣病予防）

評価指標		計画策定時の 値 (R4年度)	第3期計画期間					
			R6	R7	R8	R9	R10	R11
<アウトカム指標> 喫煙者の割合	目標値	－	11.0%	11.0%	11.0%	10.0%	10.0%	9.0%
	男性実績	22.5%						
	女性実績	3.4%						
<アウトカム指標> 運動習慣のない者の割合	目標値	－	65.0%	64.0%	63.0%	62.0%	61.0%	60.0%
	男性実績	59.2%						
	女性実績	69.5%						
<アウトカム指標> 適量飲酒者の割合	目標値	－	71.0%	72.0%	73.0%	74.0%	75.0%	75.0%
	男性実績	72.4%						
	女性実績	70.7%						
<アウトカム指標> 血圧が保健指導判定値を超える者の割合	目標値	－	57.0%	56.0%	55.0%	54.0%	53.0%	52.0%
	実績	57.6%						
関連施策の実施状況								
事業名①		楽しくアンチエイジング教室						
事業の具体的内容		【目的】 健康づくりのために運動習慣を身に付けたいと思っている人、また、健診結果より生活習慣の改善が必要な人、特定保健指導対象者・実施者に対し、様々な運動を通して生活習慣の改善を促す 【対象者】 被保険者 市民 健診結果で生活習慣の改善が必要と思われる者 特定保健指導実施者 【実施内容】 市内公共施設を会場に月1～2回実施 体力測定、体幹トレーニング、ヨガなど毎回内容を変えて実施						
事業名②		巡回健康相談・町内健康教室						
事業の具体的内容		【目的】 地域の身近な場所である通いの場（自治会サロン等）に出向き、健康寿命の延伸に向けて自ら健康づくりが出来るよう働きかける。 【対象者】 被保険者 市民 【実施内容】 血圧測定、健康講話、健康相談等の実施						
事業名③		貯蓄体操教室						
事業の具体的内容		【目的】 自らの健康のために運動習慣を確立すること 【対象者】 被保険者 市民 【実施内容】 月3～4回、保健センターを会場に実施						

事業名④	健康づくり食育教室
	【目的】 健康づくりと生活習慣予防のため、「食」について考えるきっかけづくりを行い、食育を推進する 【対象者】 被保険者 市民 【実施内容】 健康づくりと生活習慣予防のため、「食」について考えるきっかけづくりを行い、食育を推進する 市内公共施設を会場に5月～2月（月1回）実施 栄養講話・調理実習
評価	
課題	
次年度以降の対応方針	

第3期データヘルス計画における秋田県共通評価シート（特定健康診査）

評価指標		計画策定時の 値 (R4年度)	第3期計画期間					
			R6	R7	R8	R9	R10	R11
<アウトカム指標> 特定健康診査の受診率	目標値	－	45.0%	45.0%	45.0%	45.0%	45.0%	45.0%
	実績	41.2%						
	うち男性	37.7%						
	うち女性	44.5%						
関連施策の実施状況								
事業名①	特定健診及び受診勧奨							
事業の具体的内容	【目的】 被保険者の健康状態を把握し病気を早期発見することで医療費適正化に資するため 【対象者】 被保険者40歳～74歳 【実施内容】 受診券の全戸配布・健診の勧奨状発送							
事業名②	人間ドック助成（健康推進課）							
事業の具体的内容	【目的】 働く世代の受診しやすい環境づくりを目指し、疾病の早期発見・早期治療、壮年期のがん死亡率の減少を目的として実施 健康維持増進と疾病の早期発見・早期治療のため、がん検診を含んだ人間ドック料金の一部を助成する 【対象者】 被保険者 市民 令和4年度までは40～69歳の方　令和5年度からは40～68歳の偶数年齢の方 【実施内容】 働く世代の受診しやすい環境づくりを目指し、疾病の早期発見・早期治療、壮年期のがん死亡率の減少を目的として実施 助成額　10,000円（40・50・60歳は半額補助）							
事業名③	人間ドック助成（市民課）							
事業の具体的内容	【目的】 被保険者の健康状態を把握し、生活習慣病の早期発見と予防につなげるために人間ドックの受診へ補助をする 【対象者】 被保険者 【実施内容】 人間ドックの受診に補助をする（年1回） 人間ドック　10,000円 脳ドック　20,000円							
評価								
課題								
次年度以降の対応方針								

第3期データヘルス計画における秋田県共通評価シート（特定保健指導）

評価指標		計画策定時の 値 (R4年度)	第3期計画期間					
			R6	R7	R8	R9	R10	R11
<アウトカム指標> 特定保健指導による特定保健 指導対象者の減少率	目標値	-	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%
	実績	14.5%						
	うち男性	15.5%						
	うち女性	12.9%						
<アウトプット指標> 特定保健指導実施率	目標値	-	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%
	実績	19.4%						
	うち男性	14.5%						
	うち女性	26.3%						
関連施策の実施状況								
事業名①		特定保健指導						
事業の具体的内容		【目的】 市民が自ら生活習慣病予防に取り組めるように、健診結果をもとに個別に応じた保健指導を実施する 【対象者】 被保険者40歳～74歳 【実施内容】 特定健診の結果、対象となった住民に対し利用券を発行。 結果をもとに、生活状況を確認して食事や運動等の改善を図る。						
事業名②								
事業の具体的内容		(対象者、方法、実施者など)						
事業名③								
事業の具体的内容		(対象者、方法、実施者など)						
評価								
課題								
次年度以降の対応方針								

第3期データヘルス計画における秋田県共通評価シート
(特定健診結果に基づく医療機関への受診勧奨)

評価指標		計画策定時の 値 (R4年度)	第3期計画期間					
			R6	R7	R8	R9	R10	R11
<アウトカム指標> 特定健診で受診勧奨を受けた者の医療機関受診率	目標値	-	55.0%	55.0%	55.0%	55.0%	55.0%	55.0%
	実績	54.8%						
関連施策の実施状況								
事業名①	生活習慣病重症化予防対策							
事業の具体的内容	【目的】 糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者・受診中断者を健診データから抽出し、受診勧奨を行う 【対象者】 未受診者・受診中断者 【実施内容】 糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者・受診中断者を健診データから抽出し、受診勧奨を行う							
事業名②								
事業の具体的内容	(対象者、方法、実施者など)							
事業名③								
事業の具体的内容	(対象者、方法、実施者など)							
評価								
課題								
次年度以降の対応方針								

第3期データヘルス計画における秋田県共通評価シート（がん検診）

評価指標		計画策定時の 値 (R3年度)	第3期計画期間					
			R6	R7	R8	R9	R10	R11
＜アウトカム指標＞ 胃がん検診の受診率	目標値	－	11.0%	11.0%	11.0%	11.0%	11.0%	11.0%
	実績	10.3%						
＜アウトカム指標＞ 大腸がん検診の受診率	目標値	－	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%
	実績	17.6%						
＜アウトカム指標＞ 肺がん検診の受診率	目標値	－	14.0%	14.0%	14.0%	14.0%	14.0%	14.0%
	実績	13.1%						
＜アウトカム指標＞ 子宮頸がん検診の受診率	目標値	－	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	実績	9.9%						
＜アウトカム指標＞ 乳がん検診の受診率	目標値	－	17.0%	17.0%	17.0%	17.0%	17.0%	17.0%
	実績	16.0%						
関連施策の実施状況								
事業名①	各種がん検診							
事業の具体的内容	【目的】 がんの早期発見・早期治療に努め、がんによる死亡を減少させる 【対象者】 被保険者 市民 胃がん 40歳以上 大腸がん 30歳以上 肺がん 30歳以上 乳がん 40歳以上の偶数歳の女性 子宮頸がん・卵巣がん、HPV検査（20～40歳） ①20～40歳までの女性 ②42歳以上の偶数歳の女性 前立腺がん 50歳以上の男性 【実施内容】 集団方式によるがん検診の実施（胃・大腸・乳・子宮頸・前立腺がん検診） 医療機関方式によるがん検診の実施（胃・乳・子宮頸がん検診）							
事業名②								
事業の具体的内容	（対象者、方法、実施者など）							
事業名③								
事業の具体的内容	（対象者、方法、実施者など）							
評価								
課題								
次年度以降の対応方針								

第3期データヘルス計画における秋田県共通評価シート（歯と口腔の健康づくり）

評価指標		計画策定時の 値 (年度)	第3期計画期間					
			R6	R7	R8	R9	R10	R11
＜アウトカム指標＞ 歯科の1人当たり医療費	目標値	-	-	-	-	-	-	-
	実績	2,096円						
関連施策の実施状況								
事業名①	成人歯科健診							
事業の具体的内容	【目的】 歯科へ通う機会の提供及び生活習慣病の予防を図る 【対象者】 年度において、20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳になる方 【事業内容】 対象となる年齢の者に受診券を送付し、7月から2月末まで、にかほ市内及び由利本荘市の各歯科医院での予約による個別健診							
事業名②								
事業の具体的内容	(対象者、方法、実施者など)							
事業名③								
事業の具体的内容	(対象者、方法、実施者など)							
評価								
課題								
次年度以降の対応方針								

第3期データヘルス計画における秋田県共通評価シート（糖尿病重症化予防）

評価指標		計画策定時の 値 (R4年度)	第3期計画期間					
			R6	R7	R8	R9	R10	R11
＜アウトカム指標＞ 被保険者に占める糖尿病患者 の割合	目標値	－	14.0%	14.0%	14.0%	14.0%	14.0%	14.0%
	実績	14.0%						
＜アウトカム指標＞ HbA1c8.0%以上の者の割合	目標値	－	1%以内	1%以内	1%以内	1%以内	1%以内	1%以内
	実績	1.0%						
＜アウトカム指標＞ 新規人工透析患者数	目標値	－	5人以内	5人以内	5人以内	5人以内	5人以内	5人以内
	実績	1人						
関連施策の実施状況								
事業名①	生活習慣病(糖尿病等)訪問指導							
事業の具体的内容	【目的】 糖尿病が重症化するリスクの高い医療機関の未治療者・治療中断者に対して訪問指導を行い、早期受診、早期治療に結びつける。 【対象者】 重症化するリスクの高い者 【実施内容】 特定健診結果で、尿蛋白（＋）以上かつHbA1c6.5以上または尿蛋白（＋）以上かつ空腹時血糖126mg/dl以上に訪問を実施							
事業名②								
事業の具体的内容	(対象者、方法、実施者など)							
事業名③								
事業の具体的内容	(対象者、方法、実施者など)							
評価								
課題								
次年度以降の対応方針								

第3期データヘルス計画における秋田県共通評価シート（介護予防）

評価指標		計画策定時の 値 (R4年度)	第3期計画期間					
			R6	R7	R8	R9	R10	R11
<アウトカム指標> 1件当たり介護給付費	目標値	-	-	-	-	-	-	-
	実績	78,379円						
<アウトカム指標> 介護認定率	目標値	-	-	-	-	-	-	-
	実績	19.0%						
関連施策の実施状況								
事業名①	介護予防普及啓発事業							
事業の具体的内容	【目的】 介護の入り口の前段階から予防を行い、住み慣れた地域で自立した生活を送れるように、高齢者の健康と暮らしの向上を目指す。 【対象者】 市内に住所を有する65歳以上の方 【実施内容】 まめだが教室、かるやか健康教室、トレーニングマシン解放日、マシンリハビリ教室、パンフレット等の作成・配付、講演会・相談会の開催							
事業名②	地域介護予防活動支援事業							
事業の具体的内容	【目的】 誰でも一緒に参加することのできる介護予防活動の地域展開を目指す。 【対象者】 市内に住所を有する65歳以上の方等 【実施内容】 自治会等に委託							
事業名③	地域リハビリテーション活動支援事業							
事業の具体的内容	【目的】リハビリの専門的知見を有する者を地域に派遣する等し、介護予防の取組を総合的に支援する。 【対象者】 市内に住所を有する65歳以上の方 【実施内容】 リハビリの専門的知見を有する者を地域の通いの場に派遣し、介護予防に関する技術的助言を行う							
評価								
課題								
次年度以降の対応方針								

第3期データヘルス計画における秋田県共通評価シート（医療費適正化）

評価指標		計画策定時の 値 (R4年度)	第3期計画期間					
			R6	R7	R8	R9	R10	R11
＜アウトカム指標＞ 重複・頻回受診の状況	目標値	－	5人以内	5人以内	5人以内	5人以内	5人以内	5人以内
	実績	7人						
＜アウトカム指標＞ 重複処方の状況	目標値	－	3人以内	3人以内	3人以内	3人以内	3人以内	3人以内
	実績	3人						
＜アウトカム指標＞ 多剤投与の状況	目標値	－	1,000人以内	1,000人以内	1,000人以内	1,000人以内	1,000人以内	1,000人以内
	実績	995人						
＜アウトカム指標＞ 後発医薬品使用率	目標値	－	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%
	実績	85.1%						
現年度の関連施策								
事業名①	医療費通知							
事業の具体的内容	【目的】 被保険者の医療費に対する意識の向上を図る 【対象者】 国保被保険者全受診世帯 【実施内容】 医療費通知を2ヵ月ごとに6回および年間1回発送							
事業名②	ジェネリック医薬品差額通知							
事業の具体的内容	【目的】 ジェネリック医薬品の利用を促進し、医療費の削減を図る 【対象者】 対象世帯（通知対象差額設定による、300円以上等） 【実施内容】 ジェネリック医薬品差額通知を年間2回（8月、2月）発送							
事業名③								
事業の具体的内容	（対象者、方法、実施者など）							
評価								
課題								
次年度以降の対応方針								

第3期データヘルス計画における 県共通評価シート以外 (その他1 広報活動)

評価指標		計画策定時の 値 (R4年度)	第3期計画期間					
			R6	R7	R8	R9	R10	R11
国保に関する広報活動の実施	目標値	－	－	－	－	－	－	－
	実績	実施済						
	目標値							
	実績							
	目標値							
	実績							
	目標値							
	実績							
現年度の関連施策								
事業名①	広報活動							
事業の具体的内容	【目的】 健康及び医療に関する知識の普及及び意識の高揚を図るため、広報や国保だよりの発行し啓蒙を図る。 【対象者】 被保険者 及び 全市民 【実施内容】 年1回「国保だより」を全世帯へ配布（国保制度周知、直診診療所紹介） 特定健診日程・勧奨及び国保事業周知を目的に適宜広報に掲載 保険証更新時に合わせ国保のしおり・パンフレット等送付							
事業名②								
事業の具体的内容	(対象者、方法、実施者など)							
事業名③								
事業の具体的内容	(対象者、方法、実施者など)							
評価								
課題								
次年度以降の対応方針								

第3期データヘルス計画における 県共通評価シート以外 (その他2 人材育成)

評価指標		計画策定時の 値 (R4年度)	第3期計画期間					
			R6	R7	R8	R9	R10	R11
地域の健康づくりを担う人材 の育成を行う	目標値	－	－	－	－	－	－	－
	実績	実施済						
	目標値							
	実績							
	目標値							
	実績							
	目標値							
	実績							
現年度の関連施策								
事業名①	市町村健康づくり人材育成事業							
事業の具体的内容	【目的】 当市の健康課題の解決に向けて、行政と共に歩む健康づくりの担い手を育成する 【対象者】 健康推進員 【実施内容】 当市の健康課題に適した内容を単年ごとに設定し、行政と共に歩む健康づくりの担い手を1年に50人、10年間で500人育成する							
事業名②	食生活改善推進員養成講座							
事業の具体的内容	【目的】 地域での食生活を中心とした健康づくりボランティアを行うための推進員を養成する 【対象者】 被保険者 市民 【実施内容】 地域での食生活を中心とした健康づくりボランティアを行うための推進員を養成する 食生活改善推進員養成講座カリキュラム10単位20時間を受講（講話・調理実習・運動等）							
事業名③	食生活講習会							
事業の具体的内容	【目的】 食生活改善推進員に対して講習会を行い、地域での食育活動を推進する 【対象者】 食生活改善推進員 【実施内容】 食生活改善推進員に対して講習会を行い、地域での食育活動を推進する 各保健センターを会場に年12回実施 栄養講話・調理実習							
評価								
課題								
次年度以降の対応方針								

1. 計画の評価及び見直し

(1) 個別の保健事業の評価・見直し

個別の保健事業の評価は年度毎に行うことを基本として、計画策定時に設定した保健事業毎の評価指標に基づき、事業の効果や目標の達成状況を確認します。

目標の達成状況が想定に達していない場合は、ストラクチャーやプロセスが適切であったか等を確認の上、目標を達成できなかった原因や事業の必要性等を検討して、次年度の保健事業の実施やデータヘルス計画の見直しに反映させます。

(2) データヘルス計画全体の評価・見直し

① 評価の時期

最終評価のみならず、設定した評価指標に基づき、進捗確認のため令和8年度に中間評価を行い、次期計画の円滑な策定に向けて、計画の最終年度である令和11年度上半期に仮評価を行います。

② 評価方法・体制

計画は、中長期的な計画運営を行うものであることを踏まえ、短期では評価が難しいアウトカム(成果)指標を中心とした評価指標による評価を行います。また、評価に当たっては、後期高齢者医療広域連合と連携して行うなど、必要に応じ他保険者との連携・協力体制を整備します。

2. 計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表するとともに、周知・啓発を図ります。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとします。

3. 個人情報の取扱い

個人情報の取扱いに当たっては、個人情報の保護に関する各種法令、ガイドラインに基づき適切に管理します。また、業務を外部に委託する際も同様に取り扱われるよう委託契約書に定めるとともに、委託先に対して必要かつ適切な管理・監督を行い、個人情報の取扱いについて万全の対策を講じるものとします。

4. 地域包括ケアに係る取り組み及びその他の留意事項

令和2年4月から「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」が本格施行となり、被保険者一人一人の暮らしを地域全体で支える地域共生社会の体制の構築・実現を目指す、地域包括ケアシステムの充実・強化が推進されています。地域包括ケアとは、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、介護が必要な状態になっても可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように支援する仕組み(システム)のことです。地域包括ケアシステムの充実に向けて、下記の取り組みを実施していきます。

① 地域で被保険者を支える連携の促進

- ・医療・介護・保健・福祉・住まい・生活支援などについての議論の場に国保保険者として参加し、地域の課題を共有し、対応策を検討するとともに、地域支援事業に国保部局として参画

② 課題を抱える被保険者層の分析と、地域で被保険者を支える事業の実施

- ・レセプトデータ、介護データ等を活用して前期高齢者等のハイリスク群・予備群等を抽出し、当該ターゲット層に対する支援や介護予防を目的とした健康教室等のプログラムの実施

③ 国民健康保険診療施設の施設・人材の活用

- ・医療提供における役割だけではなく、地域で必要とされている保健事業、訪問診療、介護サービス、生活支援等の一体的・総合的な提供の場として活用

庁内各部門及び地域における多様な専門機関、事業者、団体等の関係機関との連携により、関係者間で包括的に地域の実態把握・課題分析を共有し、地域が一体となって取り組みを推進します。

第2部
第4期特定健康診査等実施計画

第1章 特定健康診査等実施計画について

1. 計画策定の趣旨

近年、急速な少子高齢化、経済の低成長への移行、国民生活や意識の変化など、大きな環境変化に直面し、医療制度を今後も持続していくための構造改革が急務となっています。

このような状況に対応するため、健康と長寿を確保しつつ、医療費の伸びの抑制にもつながることから、生活習慣病を中心とした疾病予防を重視することとし、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号。以下「法」という。)により、医療保険者は被保険者に対し生活習慣病に関する健康診査及び保健指導を実施することとされました。

にかほ市国民健康保険においても、法第19条に基づき特定健康診査等実施計画(第1期～第3期)を策定し、特定健康診査及び特定保健指導の適切かつ有効な実施に努めてきました。このたび、令和5年度に前期計画が最終年度を迎えることから、令和6年度を初年度とする第4期特定健康診査等実施計画を策定します。

2. 特定健康診査等実施計画の位置づけ

法第19条を踏まえるとともに、「健康増進計画」及び「データヘルス計画」等で用いた評価指標を用いるなど、それぞれの計画との整合性を図るものとします。

3. 計画期間

計画期間は令和6年度から令和11年度までの6年間とします。

4. データ分析期間

- 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
単年分析
令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)

- 健康診査データ
単年分析
令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)

- 国保データベース(KDB)システムデータ
平成30年度～令和4年度(5年分)

第2章 特定健康診査及び特定保健指導の現状と評価

1. 取り組みの実施内容

以下は、特定健康診査及び特定保健指導に係る、これまでの主な取り組みを示したものです。

【特定健康診査】

事業分類	取り組み	実施内容
特定健康診査の 周知・啓発	啓発ポスターの掲示、広報	庁舎等関係施設内にポスター掲示、広報、国保だより等での周知・啓発。
	未受診者勧奨	未受診者に対する勧奨通知を年2回～3回行った。
健診体制の整備	土曜日健診の実施	対応可能な市内医療機関の協力により土曜日健診の実施。
	がん検診との連携	実施機関との調整により、がん検診との同日受診日を設けている。

【特定保健指導】

事業分類	取り組み	実施内容
特定保健指導の 利用勧奨	特定健診結果説明会の実施	健診結果説明会を実施することで保健指導の実施に繋げた。
特定保健指導の 実施体制	集団健診会場での初回面談実施	特定健診集団会場にて特定保健指導初回面談を行った。

2. 特定健康診査の受診状況

以下は、平成20年度から令和5年度（見込み値）における、特定健康診査の受診状況を示したものです。

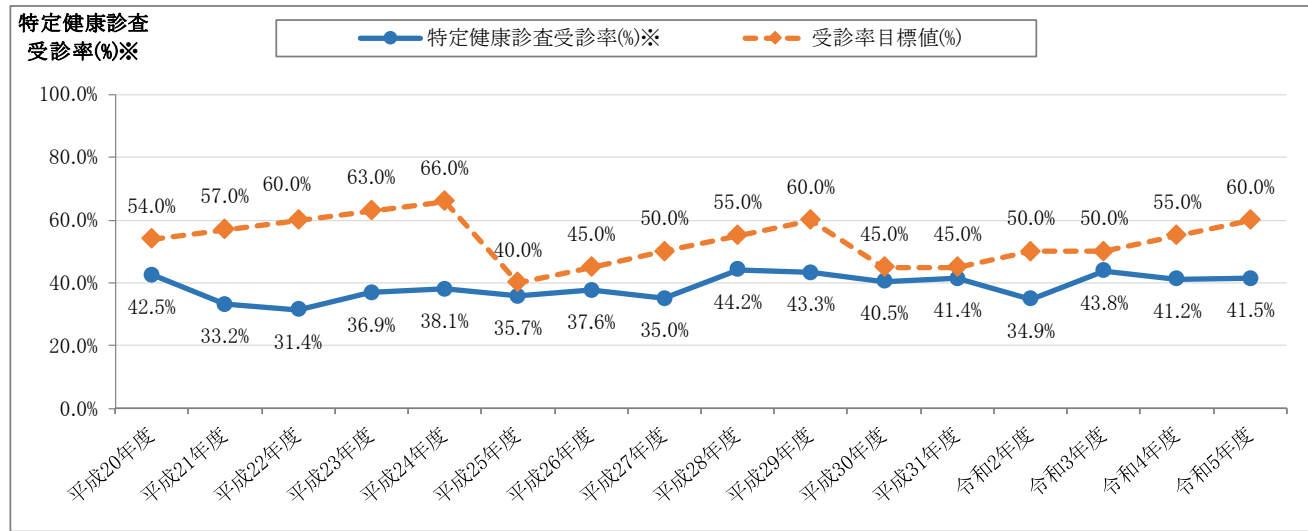
特定健康診査受診率及び目標値

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
特定健康診査対象者数(人)	5,509	5,503	5,429	5,497	5,450	5,486	5,451	5,272
特定健康診査受診者数(人)	2,343	1,825	1,705	2,027	2,076	1,961	2,050	1,847
特定健康診査受診率(%)※	42.5	33.2	31.4	36.9	38.1	35.7	37.6	35.0
受診率目標値(%)	54.0	57.0	60.0	63.0	66.0	40.0	45.0	50.0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み値)
特定健康診査対象者数(人)	5,048	4,894	4,729	4,609	4,563	4,370	4,176	4,100
特定健康診査受診者数(人)	2,231	2,119	1,916	1,909	1,592	1,912	1,722	1,700
特定健康診査受診率(%)※	44.2	43.3	40.5	41.4	34.9	43.8	41.2	41.5
受診率目標値(%)	55.0	60.0	45.0	45.0	50.0	50.0	55.0	60.0

特定健康診査対象者数、特定健康診査受診者数、特定健康診査受診率は法定報告値。
※特定健康診査受診率…特定健康診査対象者に対する特定健康診査受診者数の割合。

特定健康診査受診率及び目標値



特定健康診査対象者数、特定健康診査受診者数、特定健康診査受診率は法定報告値。
※特定健康診査受診率…特定健康診査対象者に対する特定健康診査受診者数の割合。

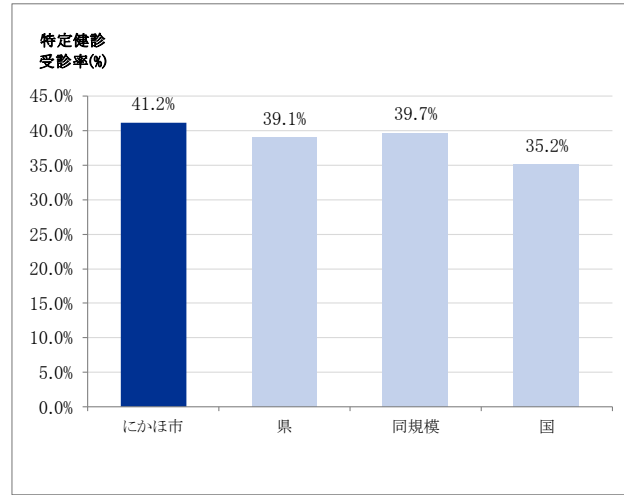
国保データベース (KDB) システムより集計した、令和4年度における、特定健康診査の受診率は以下のとおりです。

特定健康診査受診率(令和4年度)

区分	特定健診受診率
にかほ市	41.2%
県	39.1%
同規模	39.7%
国	35.2%

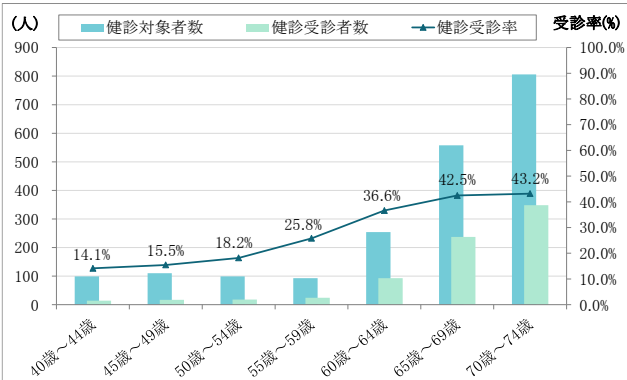
出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

特定健康診査受診率(令和4年度)



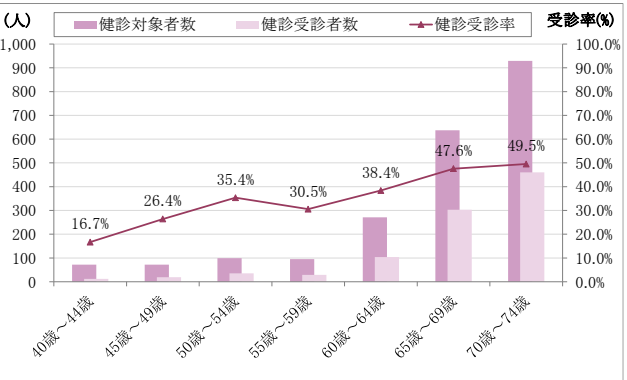
出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

(男性) 年齢別特定健康診査受診率(令和4年度)



出典:国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

(女性) 年齢別特定健康診査受診率(令和4年度)



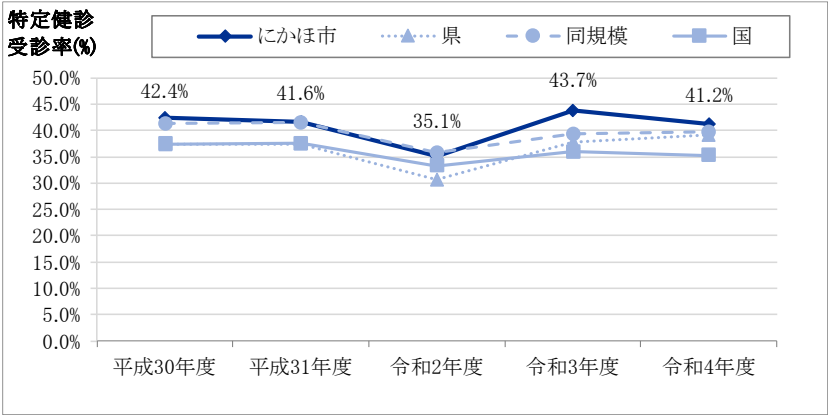
以下は、本市の平成30年度から令和4年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示したものです。令和4年度の特定健康診査受診率41.2%は平成30年度42.4%より1.2ポイント減少しています。

年度別 特定健康診査受診率

区分	特定健診受診率				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
にかほ市	42.4%	41.6%	35.1%	43.7%	41.2%
県	37.3%	37.4%	30.6%	37.7%	39.1%
同規模	41.3%	41.5%	35.7%	39.3%	39.7%
国	37.4%	37.5%	33.3%	35.9%	35.2%

出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

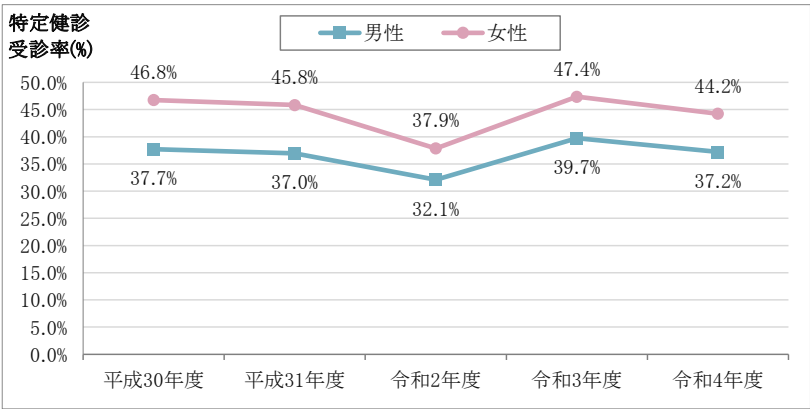
年度別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の令和4年度受診率37.2%は平成30年度37.7%より0.5ポイント減少しており、女性の令和4年度受診率44.2%は平成30年度46.8%より2.6ポイント減少しています。

年度・男女別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

3. 特定保健指導の実施状況

以下は、平成20年度から令和5年度（見込み値）における、特定保健指導の実施状況を示したものです。

特定保健指導実施率及び目標値

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
特定保健指導対象者数(人)	380	290	221	272	279	250	219	164
特定保健指導利用者数(人)	66	42	30	41	22	15	5	27
特定保健指導実施者数(人)※	60	42	29	31	14	9	5	23
特定保健指導実施率(%)※	15.8%	14.5%	13.1%	11.4%	5.0%	3.6%	2.3%	14.0%
実施率目標値(%)	34.0%	37.0%	40.0%	43.0%	46.0%	20.0%	30.0%	40.0%

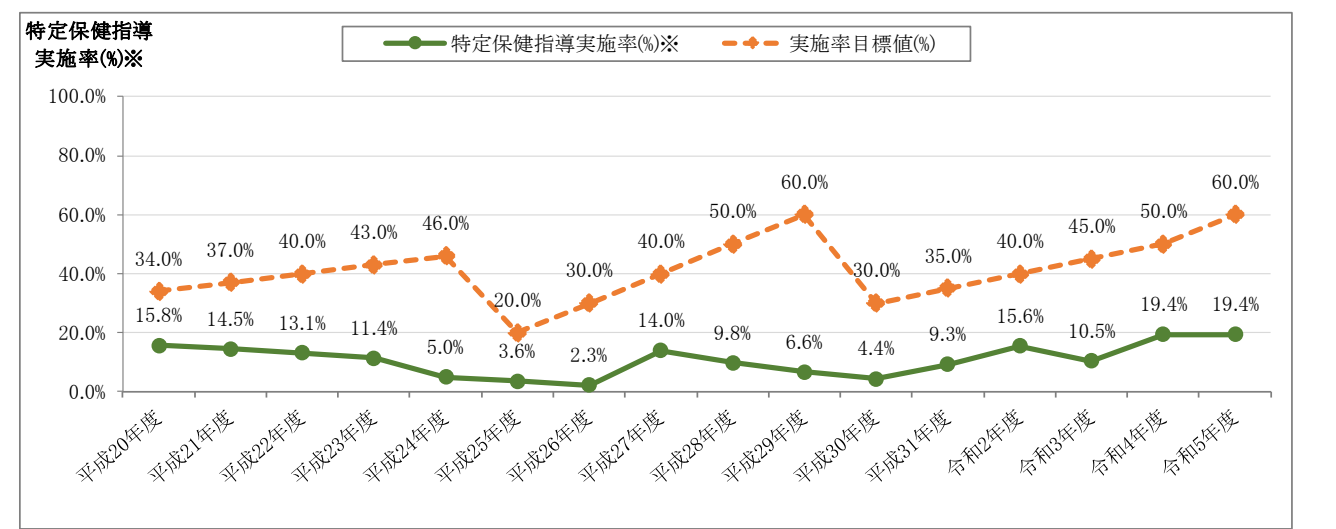
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み値)
特定保健指導対象者数(人)	214	211	204	205	135	172	186	186
特定保健指導利用者数(人)	61	67	44	68	26	27	45	45
特定保健指導実施者数(人)※	21	14	9	19	21	18	36	36
特定保健指導実施率(%)※	9.8%	6.6%	4.4%	9.3%	15.6%	10.5%	19.4%	19.4%
実施率目標値(%)	50.0%	60.0%	30.0%	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%	60.0%

特定保健指導対象者数、特定保健指導利用者数、特定保健指導実施者数、特定保健指導実施率は法定報告値。

※特定保健指導実施者数…特定保健指導を終了した人数。

※特定保健指導実施率…特定保健指導対象者に対する特定保健指導実施者の割合。

特定保健指導実施率及び目標値



特定保健指導実施率は法定報告値。

※特定保健指導実施率…特定保健指導対象者に対する特定保健指導終了者の割合。

以下は、支援レベル別の特定保健指導の実施状況を示したものです。

積極的支援実施状況

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
積極的支援対象者数(人)	91	40	44	75	63	60	50	47
積極的支援利用者数(人)	26	6	9	9	8	5	2	6
積極的支援実施者数(人)※	22	5	9	9	5	2	2	5
積極的支援実施率(%)※	24.2%	12.5%	20.5%	12.0%	7.9%	3.3%	4.0%	10.6%

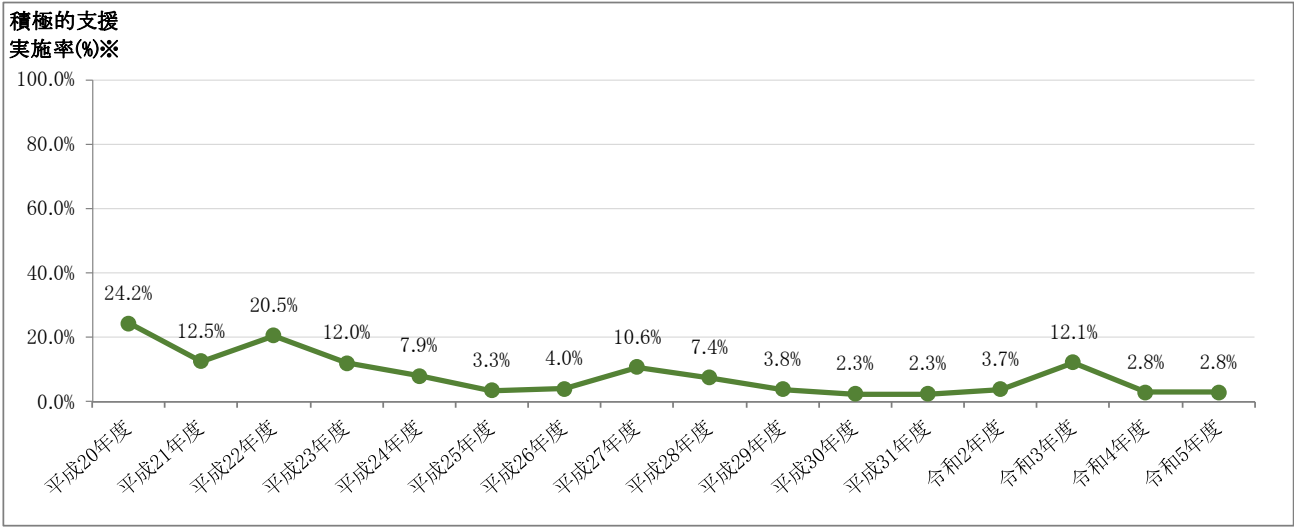
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み値)
積極的支援対象者数(人)	54	53	43	43	27	33	36	36
積極的支援利用者数(人)	14	16	11	15	1	4	4	4
積極的支援実施者数(人)※	4	2	1	1	1	4	1	1
積極的支援実施率(%)※	7.4%	3.8%	2.3%	2.3%	3.7%	12.1%	2.8%	2.8%

積極的支援対象者数、積極的支援利用者数、積極的支援実施者数、積極的支援実施率は法定報告値。

※積極的支援実施者数…積極的支援を終了した人数。

※積極的支援実施率…積極的支援対象者に対する積極的支援実施者の割合。

積極的支援実施状況



積極的支援実施率は法定報告値。

※積極的支援実施率…積極的支援対象者に対する積極的支援実施者の割合。

動機付け支援実施状況

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
動機付け支援対象者数(人)	289	250	177	197	216	190	169	117
動機付け支援利用者数(人)	40	36	21	32	14	10	3	21
動機付け支援実施者数(人)※	38	37	20	22	9	7	3	18
動機付け支援実施率(%)※	13.1%	14.8%	11.3%	11.2%	4.2%	3.7%	1.8%	15.4%

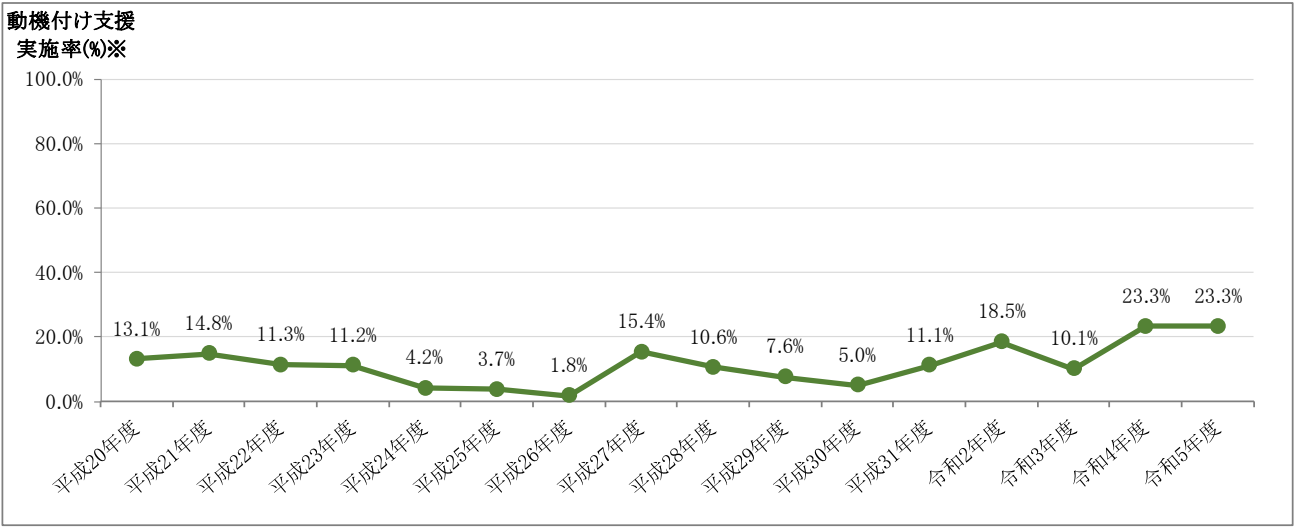
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み値)
動機付け支援対象者数(人)	160	158	161	162	108	139	150	150
動機付け支援利用者数(人)	47	51	33	53	25	23	41	41
動機付け支援実施者数(人)※	17	12	8	18	20	14	35	35
動機付け支援実施率(%)※	10.6%	7.6%	5.0%	11.1%	18.5%	10.1%	23.3%	23.3%

動機付け支援対象者数、動機付け支援利用者数、動機付け支援実施者数、動機付け支援実施率は法定報告値。

※動機付け支援実施者数…動機付け支援を終了した人数。

※動機付け支援実施率…動機付け支援対象者に対する動機付け支援実施者の割合。

動機付け支援実施状況



動機付け支援実施率は法定報告値。

※動機付け支援実施率…動機付け支援対象者に対する動機付け支援実施者の割合。

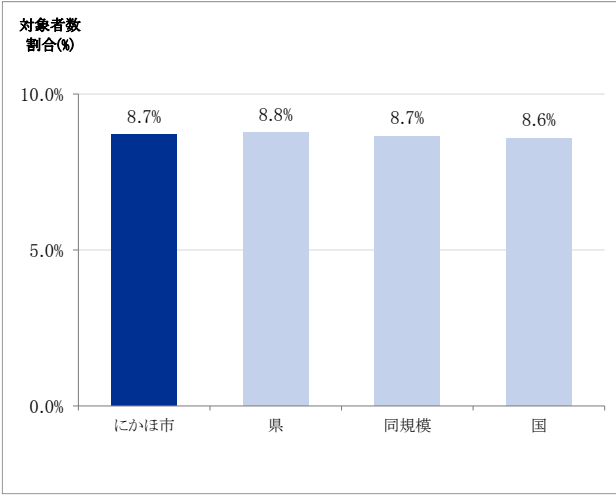
国保データベース (KDB) システムより集計した、令和4年度における、特定保健指導の実施状況は以下のとおりです。

特定保健指導実施状況 (令和4年度)

区分	動機付け支援 対象者数割合	積極的支援 対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導 実施率
にかほ市	8.7%	2.0%	10.7%	19.4%
県	8.8%	2.4%	11.2%	12.3%
同規模	8.7%	2.7%	11.3%	16.7%
国	8.6%	2.7%	11.3%	9.5%

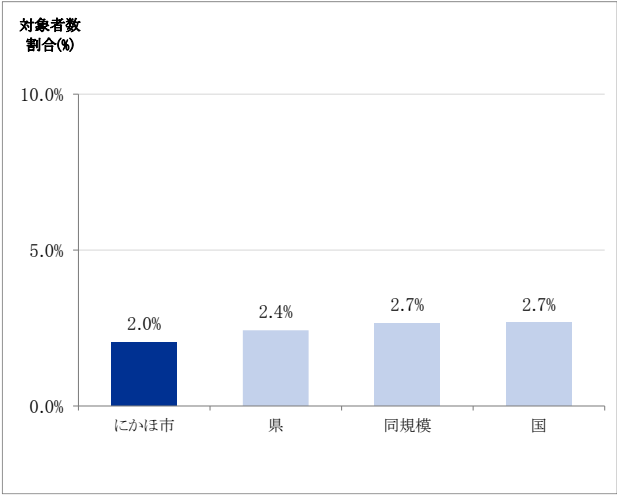
動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。
特定保健指導実施率…最新データ反映前のため、最終結果とは異なる。
出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

動機付け支援対象者数割合 (令和4年度)



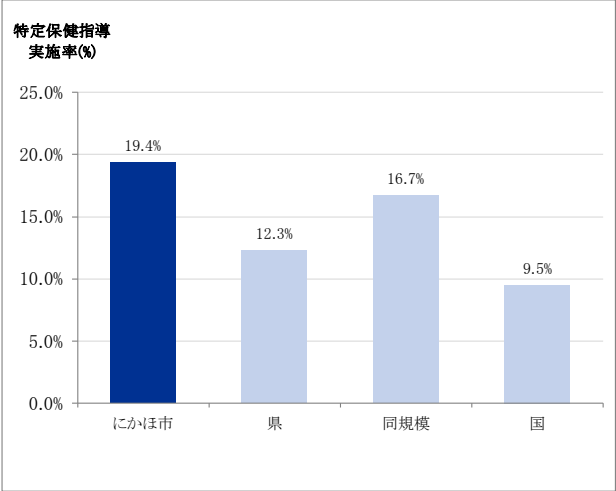
出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

積極的支援対象者数割合 (令和4年度)



出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

特定保健指導実施率 (令和4年度)



出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

以下は、本市の平成30年度から令和4年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示したものです。令和4年度の特定保健指導実施率19.4%は平成30年度4.8%より14.6ポイント増加しています。

年度別 動機付け支援対象者数割合

区分	動機付け支援対象者数割合				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
にかほ市	8.2%	8.4%	6.8%	7.3%	8.7%
県	9.6%	9.5%	8.8%	9.1%	8.8%
同規模	9.2%	9.1%	9.0%	9.0%	8.7%
国	9.0%	8.9%	9.0%	8.9%	8.6%

年度別 積極的支援対象者数割合

区分	積極的支援対象者数割合				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
にかほ市	2.2%	2.2%	1.8%	1.7%	2.0%
県	2.8%	2.8%	2.4%	2.6%	2.4%
同規模	2.9%	2.8%	2.6%	2.7%	2.7%
国	2.7%	2.7%	2.6%	2.7%	2.7%

年度別 支援対象者数割合

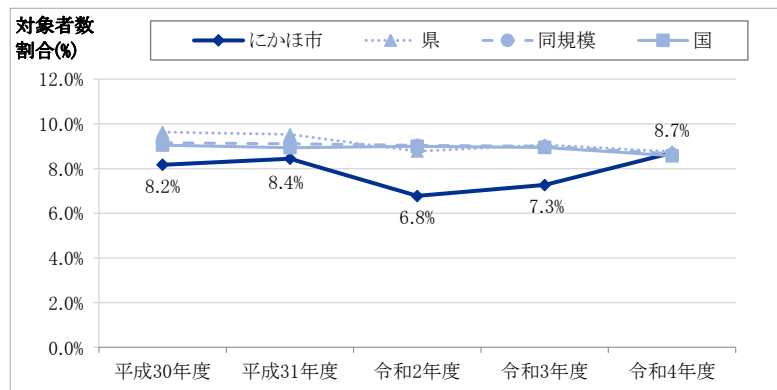
区分	支援対象者数割合				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
にかほ市	10.4%	10.7%	8.5%	9.0%	10.7%
県	12.4%	12.3%	11.2%	11.7%	11.2%
同規模	12.0%	11.9%	11.6%	11.7%	11.3%
国	11.8%	11.6%	11.6%	11.7%	11.3%

年度別 特定保健指導実施率

区分	特定保健指導実施率				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
にかほ市	4.8%	9.3%	14.0%	11.0%	19.4%
県	20.1%	20.4%	20.3%	19.1%	12.3%
同規模	41.3%	41.8%	41.8%	41.8%	16.7%
国	25.8%	26.3%	25.9%	25.9%	9.5%

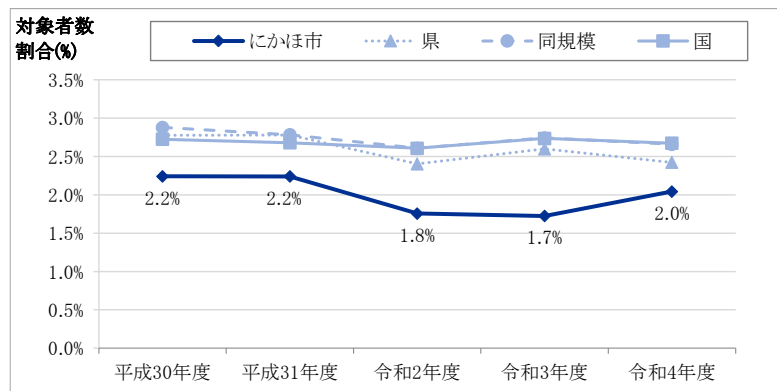
動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。
特定保健指導実施率(令和4年度)…最新データ反映前のため、最終結果とは異なる。
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 動機付け支援対象者数割合



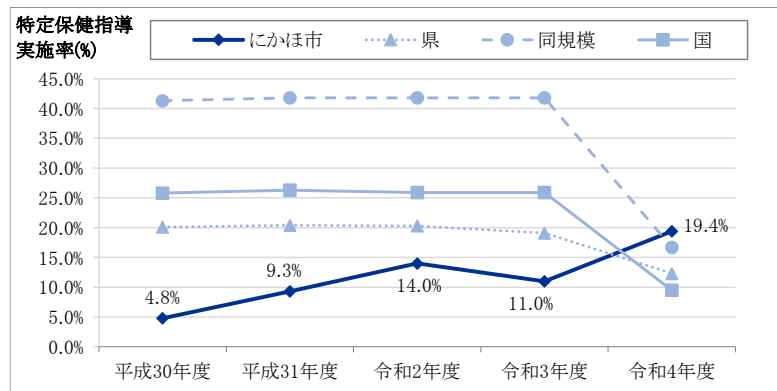
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 積極的支援対象者数割合



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 特定保健指導実施率



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

4. メタボリックシンドローム該当状況

以下は、令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況を示したものです。基準該当は25.2%、予備群該当は10.4%です。

メタボリックシンドローム該当状況

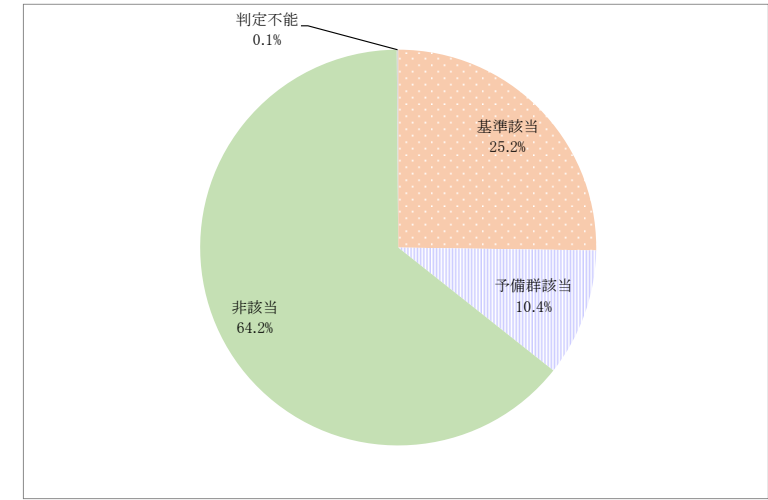
	健診受診者数	基準該当	予備群該当	非該当	判定不能
該当者数(人)	1,724	435	180	1,107	2
割合(%) ※	－	25.2%	10.4%	64.2%	0.1%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

メタボリックシンドローム該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

※メタボリックシンドローム判定基準

腹囲	追加リスク (①血糖 ②脂質 ③血圧)	該当状況
≥85cm (男性)	2つ以上該当	メタボリックシンドローム基準該当者
≥90cm (女性)	1つ該当	メタボリックシンドローム予備群該当者

※追加リスクの基準値は以下のとおりである。

①血糖:空腹時血糖が110mg/dl以上

②脂質:中性脂肪150mg/dl以上 または HDLコレステロール40mg/dl未満

③血圧:収縮期血圧130mmHg以上 または 拡張期血圧85mmHg以上

※糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者も対象となる。

5. 第3期計画の評価と考察

(1) 現状のまとめと目標に対する達成状況

分類	指標	状況
特定健康診査	特定健診受診率	令和4年度の実績は41.2%で計画目標である55%を下回った。
	特定健診受診率の推移	平成20年度から実施率は45%に達していない。直近では令和2年度がコロナ禍において35%台となったが近年は平均して40%台を維持している。
特定保健指導	特定保健指導実施率	令和4年度の実績は19.4%で計画目標である50%を下回った。
	特定保健指導実施率の推移	平成20年度から実施率は20%に達していないものの、特定健診受診者における対象者の数は平成20年度当初と比べて約5%減少している。

(2) 事業実施体制の評価

分類	状況
職員体制	・にかほ市市民福祉部市民課国保年金班を主とした特定健診 ・にかほ市市民福祉部健康推進課保健師・栄養士を主とした特定保健指導
関係機関・部門との連携	・市内医療機関、一般社団法人秋田県医師会、秋田県厚生農業協同組合連合会、独立行政法人地域医療機能推進機構秋田病院、全国健康保険協会秋田支部、秋田県総合保健事業団、秋田県国民健康保険団体連合会
実施体制	・市民課・健康推進課が相互に連携・協力し特定健康診査、特定保健指導を行う実施体制

1. 特定健診の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況

以下は、特定健康診査受診状況別に、生活習慣病の医療機関受診状況を分析した結果を示したものです。特定健康診査受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査受診者全体の64.9%です。特定健康診査未受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査未受診者全体の52.2%です。

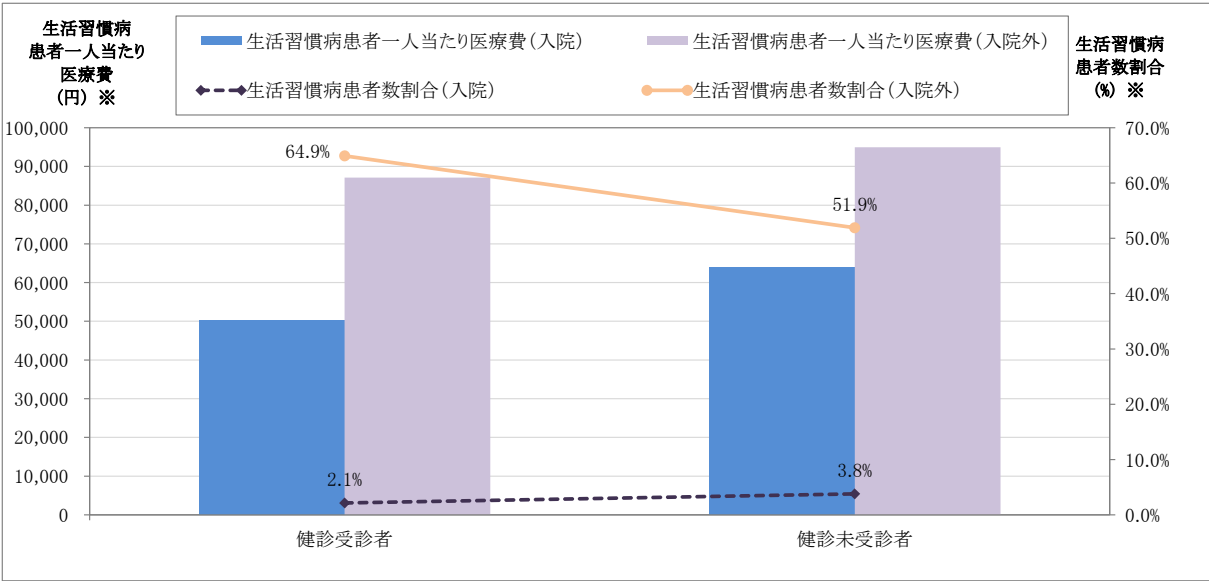
特定健診受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況

	人数(人)	構成比(%)	生活習慣病医療費(円) ※		
			入院	入院外	合計
健診受診者	1,724	38.5%	1,860,977	97,490,757	99,351,734
健診未受診者	2,750	61.5%	6,663,164	135,598,125	142,261,289
合計	4,474		8,524,141	233,088,882	241,613,023

	生活習慣病患者数 ※						生活習慣病患者一人当たり医療費(円) ※		
	入院		入院外		合計 ※		入院	入院外	合計
	患者数(人)	割合(%)	患者数(人)	割合(%)	患者数(人)	割合(%)			
健診受診者	37	2.1%	1,119	64.9%	1,119	64.9%	50,297	87,123	88,786
健診未受診者	104	3.8%	1,428	51.9%	1,436	52.2%	64,069	94,957	99,068
合計	141	3.2%	2,547	56.9%	2,555	57.1%	60,455	91,515	94,565

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。
※生活習慣病医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者の生活習慣病医療費。
※生活習慣病患者数…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者数。合計人数は、入院、入院外の区分けなく集計した実人数。
※生活習慣病患者一人当たり医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの生活習慣病医療費。

特定健診受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。
※生活習慣病患者一人当たり医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの生活習慣病医療費。
※生活習慣病患者数割合…健診受診者、健診未受診者それぞれに占める、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者数の割合。

2. 特定保健指導対象者に係る分析

(1) 保健指導レベル該当状況

以下は、令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)における、保健指導レベル該当状況を示したものです。積極的支援対象者割合は1.7%、動機付け支援対象者割合は7.5%です。

保健指導レベル該当状況

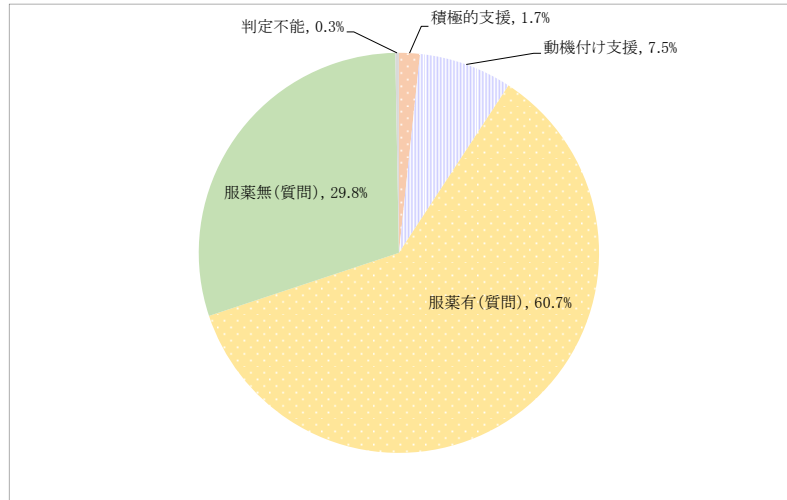
	健診受診者数 (人)	該当レベル					
		特定保健指導対象者(人)			情報提供		判定不能
			積極的支援	動機付け支援	服薬有(質問)	服薬無(質問)	
該当者数(人)	1,724	159	29	130	1,046	514	5
割合(%) ※	-	9.2%	1.7%	7.5%	60.7%	29.8%	0.3%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

保健指導レベル該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

※特定保健指導の対象者(階層化の基準)

腹囲/BMI	追加リスク	喫煙歴(注)	対象	
	①血糖 ②脂質 ③血圧		40歳-64歳	65歳-74歳
≥85cm (男性) ≥90cm (女性)	2つ以上該当	あり なし	積極的 支援	動機付け 支援
	1つ該当			
上記以外でBMI ≥25	3つ該当	あり なし	積極的 支援	動機付け 支援
	2つ該当			
	1つ該当			

(注)喫煙歴の欄の斜線は、階層化の判定が喫煙歴の有無と無関係であることを意味する。

※追加リスクの基準値は以下のとおりである。

①血糖：空腹時血糖が100mg/dl以上 または HbA1c(NGSP値)5.6%以上
(空腹時血糖及びHbA1c(NGSP値)の両方を測定している場合には、空腹時血糖の値を優先。)

②脂質：中性脂肪150mg/dl以上 または HDLコレステロール40mg/dl未満

③血圧：収縮期血圧130mmHg以上 または 拡張期血圧85mmHg以上

※特定保健指導では、糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者については、対象から除いている。

※65歳以上75歳未満の者については、積極的支援の対象となった場合でも動機付け支援とする。

以下は、保健指導レベル該当状況を年齢階層別に示したものです。

年齢階層別 保健指導レベル該当状況

年齢階層	健診受診者数(人)	特定保健指導対象者数(人)				
			積極的支援		動機付け支援	
			人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
40歳 ～ 44歳	27	7	4	14.8%	3	11.1%
45歳 ～ 49歳	36	9	6	16.7%	3	8.3%
50歳 ～ 54歳	54	5	2	3.7%	3	5.6%
55歳 ～ 59歳	53	10	7	13.2%	3	5.7%
60歳 ～ 64歳	199	17	10	5.0%	7	3.5%
65歳 ～ 69歳	546	46	0	0.0%	46	8.4%
70歳 ～	809	65	0	0.0%	65	8.0%
合計	1,724	159	29	1.7%	130	7.5%

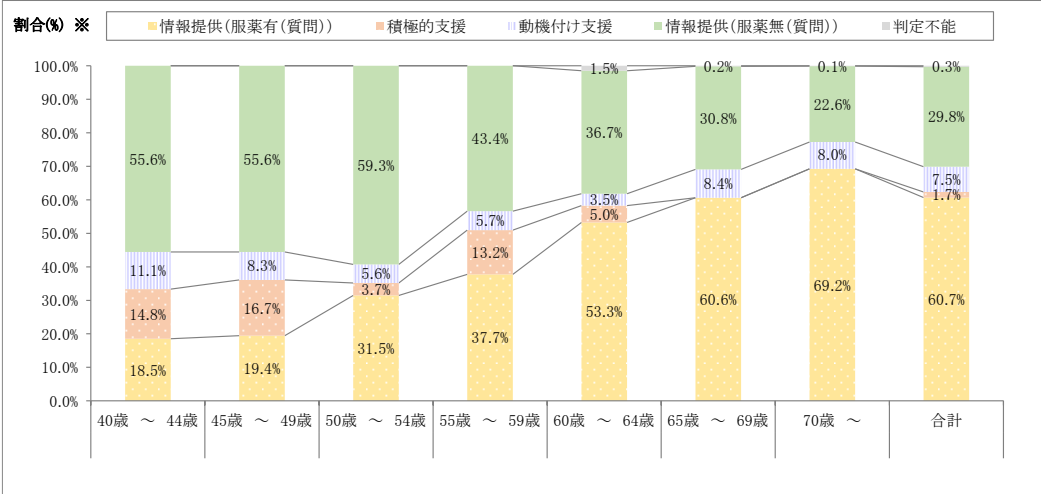
年齢階層	健診受診者数(人)	情報提供				判定不能	
		服薬有(質問)		服薬無(質問)			
		人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
40歳 ～ 44歳	27	5	18.5%	15	55.6%	0	0.0%
45歳 ～ 49歳	36	7	19.4%	20	55.6%	0	0.0%
50歳 ～ 54歳	54	17	31.5%	32	59.3%	0	0.0%
55歳 ～ 59歳	53	20	37.7%	23	43.4%	0	0.0%
60歳 ～ 64歳	199	106	53.3%	73	36.7%	3	1.5%
65歳 ～ 69歳	546	331	60.6%	168	30.8%	1	0.2%
70歳 ～	809	560	69.2%	183	22.6%	1	0.1%
合計	1,724	1,046	60.7%	514	29.8%	5	0.3%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

年齢階層別 保健指導レベル該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

(2) 特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

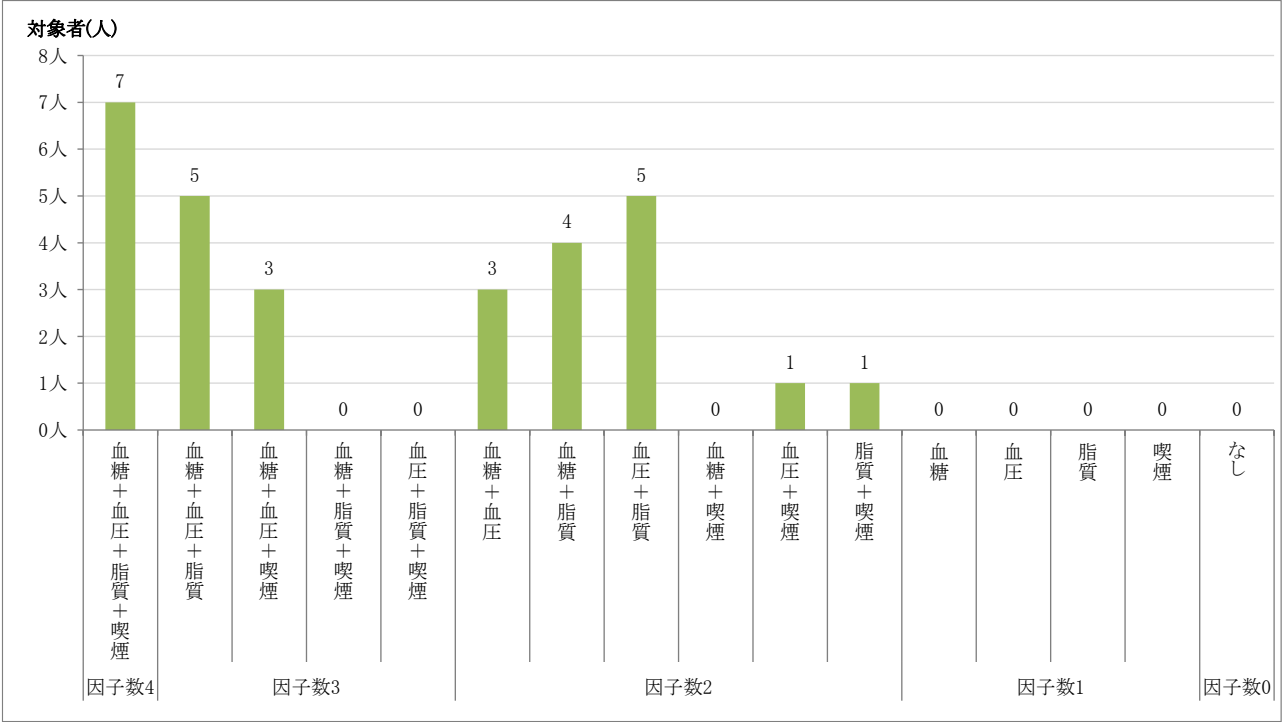
以下は、令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)における、特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況を示したものです。

特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者	
	① 血 糖	② 血 圧	③ 脂 質	④ 喫 煙			159人	
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血压＋脂質＋喫煙	7人	29人 18%
	●	●	●		因子数3	血糖＋血压＋脂質	5人	
	●	●		●		血糖＋血压＋喫煙	3人	
	●		●	●		血糖＋脂質＋喫煙	0人	
		●	●	●		血压＋脂質＋喫煙	0人	
	●	●			因子数2	血糖＋血压	3人	
	●		●			血糖＋脂質	4人	
		●	●			血压＋脂質	5人	
	●			●		血糖＋喫煙	0人	
		●		●		血压＋喫煙	1人	
			●	●		脂質＋喫煙	1人	
	●				因子数1	血糖	0人	
		●				血压	0人	
			●			脂質	0人	
				●		喫煙	0人	
					因子数0	なし	0人	
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血压＋脂質＋喫煙	3人	130人 82%
	●	●	●		因子数3	血糖＋血压＋脂質	17人	
	●	●		●		血糖＋血压＋喫煙	1人	
	●		●	●		血糖＋脂質＋喫煙	2人	
		●	●	●		血压＋脂質＋喫煙	1人	
	●	●			因子数2	血糖＋血压	20人	
	●		●			血糖＋脂質	11人	
		●	●			血压＋脂質	14人	
	●			●		血糖＋喫煙	1人	
		●		●		血压＋喫煙	1人	
			●	●		脂質＋喫煙	2人	
	●				因子数1	血糖	21人	
		●				血压	30人	
			●			脂質	6人	
				●		喫煙	0人	
					因子数0	なし	0人	

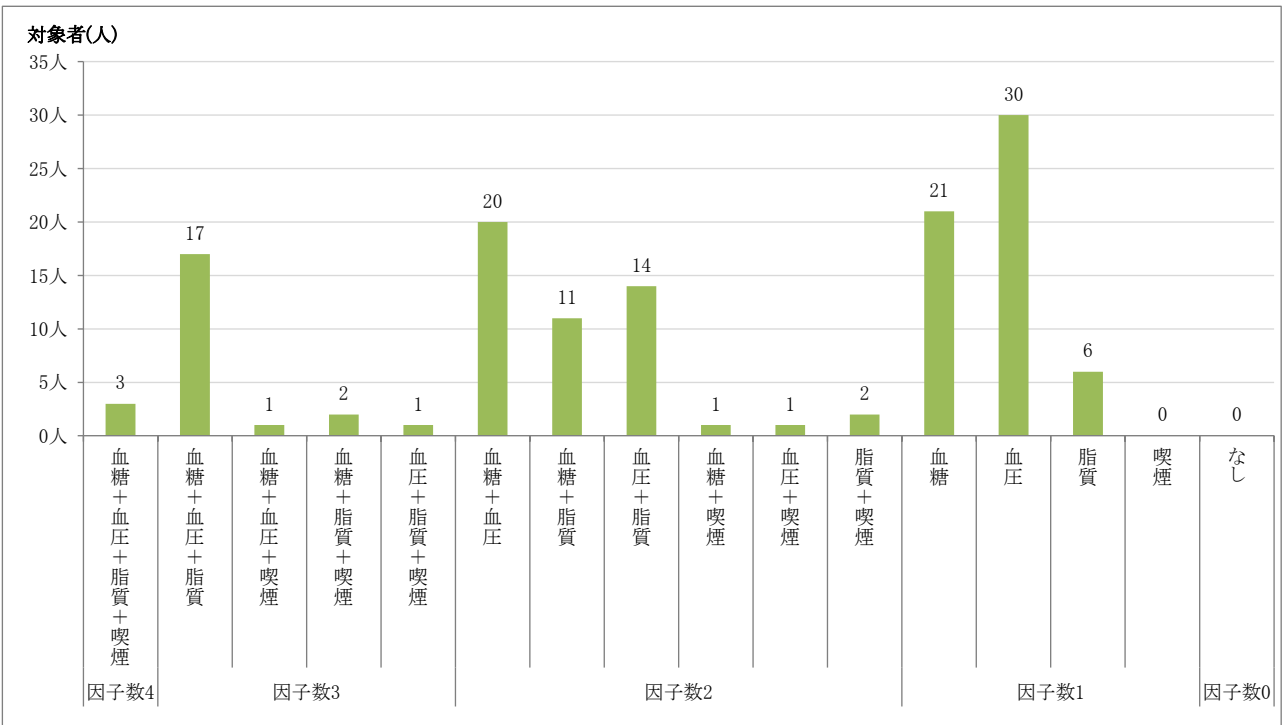
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。
※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。また、医師の判断等により、リスク因子数が0であっても特定保健指導対象者に分類される場合がある。
リスク判定の詳細は以下のとおりとする。
①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上 または HbA1c5.6%以上(NGSP)
(空腹時血糖とHbA1cの両方を測定している場合は、空腹時血糖を優先し判定に用いる)
②血压…特定健康診査の検査値において、収縮期血压が130mmHg以上 または 拡張期血压85mmHg以上
③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上 または HDLコレステロール40mg/dl未満
④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。

(3) 特定保健指導対象者と非対象者の医療費の比較

令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)の積極的支援及び動機付け支援の該当者を「対象者」、情報提供の該当者を「非対象者」とし、更に「非対象者」について、質問票における回答内容から「非対象者(服薬有)」と「非対象者(服薬無)」に分類しました。以下は各分類の生活習慣病医療費について比較した結果を示したものです。特定保健指導により「対象者」の生活習慣改善を促し、服薬開始を防ぐことが重要です。

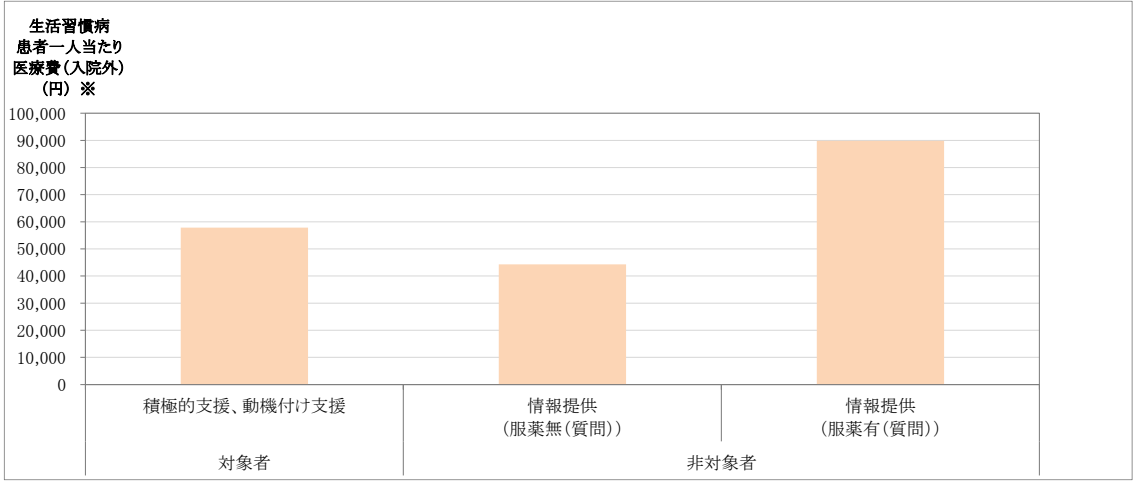
特定保健指導対象者・非対象者別 生活習慣病医療費

		人数(人)	生活習慣病医療費(円) ※			生活習慣病患者数(人) ※		
			入院	入院外	合計	入院	入院外	合計 ※
対象者	積極的支援、動機付け支援	159	392,833	1,388,467	1,781,300	2	24	24
非対象者	情報提供 (服薬無(質問))	514	641	2,347,037	2,347,678	1	53	53
	情報提供 (服薬有(質問))	1,046	1,467,503	93,241,406	94,708,909	34	1,038	1,038

		人数(人)	生活習慣病患者一人当たり医療費(円) ※		
			入院	入院外	合計
対象者	積極的支援、動機付け支援	159	196,417	57,853	74,221
非対象者	情報提供 (服薬無(質問))	514	641	44,284	44,296
	情報提供 (服薬有(質問))	1,046	43,162	89,828	91,242

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。
非対象者…健康診査受診における質問表の服薬の項目にて一項目でも「はい」と回答した健康診査受診者は「服薬有」、服薬の全項目「なし」と回答した健康診査受診者は「服薬無」で表記。
※生活習慣病医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者の生活習慣病医療費。
※生活習慣病患者数…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者数。合計人数は、入院、入院外の区分けなく集計した実人数。
※生活習慣病患者一人当たり医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの生活習慣病医療費。

特定保健指導対象者・非対象者別 生活習慣病患者一人当たり医療費(入院外)



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和5年3月31日時点。
※生活習慣病患者一人当たり医療費(入院外)…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの入院外生活習慣病医療費。

第4章 特定健康診査等実施計画

1. 目標

国では、市町村国保において、計画期間の最終年度である令和11年度までに特定健康診査受診率60.0%以上、特定保健指導実施率60.0%以上、特定保健指導対象者の減少率25.0%以上(平成20年度比)を達成することとしています。本市においては各年度の目標値を以下のとおり設定します。

目標値

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和11年度 (国基準)
特定健康診査受診率(%)	45.0%	45.0%	45.0%	45.0%	45.0%	45.0%	60.0%
特定保健指導実施率(%)	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	60.0%
特定保健指導対象者の 減少率(%)※	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%

※特定保健指導対象者の減少率…平成20年度比。

2. 対象者数推計

(1) 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

以下は、令和6年度から令和11年度までの特定健康診査対象者数及び受診者数について、各年度の見込みを示したものです。

特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
特定健康診査対象者数(人)	3,717	3,509	3,298	3,114	2,899	2,709
特定健康診査受診率(%) (目標値)	45.0%	45.0%	45.0%	45.0%	45.0%	45.0%
特定健康診査受診者数(人)	1,673	1,579	1,484	1,401	1,305	1,219

年齢階層別 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
特定健康診査 対象者数(人)	40歳～64歳	1,243	1,197	1,150	1,120	1,110	1,110
	65歳～74歳	2,474	2,312	2,148	1,994	1,789	1,599
特定健康診査 受診者数(人)	40歳～64歳	415	398	382	373	376	381
	65歳～74歳	1,258	1,181	1,102	1,028	929	838

3. 実施方法

(1) 特定健康診査

①対象者

実施年度中に40歳～74歳になる被保険者（実施年度中に75歳になる75歳未満の者も含む）で、かつ、年度途中での加入・脱退等異動のない者を対象とします。ただし、妊産婦、刑務所入所中、海外在住、長期入院等、厚生労働省告示で定める除外規定に該当する者は対象者から除くものとします。

②実施方法

ア. 実施場所

委託契約を結んだ医療機関等で実施します。

イ. 実施項目

国が定める対象者全員に実施する「基本的な健診項目」と、医師が必要と判断した場合に実施する「詳細な健診項目」に基づき実施します。

■ 基本的な健診項目（全員に実施）

質問項目	標準的な質問票
身体計測	身長、体重、BMI、腹囲（内臓脂肪面積）
理学的所見	身体診察
血圧測定	血圧
脂質検査	空腹時中性脂肪（やむを得ない場合には随時中性脂肪）、HDLコレステロール、LDLコレステロールまたはNon-HDLコレステロール
肝機能検査	AST（GOT）、ALT（GPT）、 γ -GT（ γ -GTP）
血糖検査	空腹時血糖またはHbA1c、やむを得ない場合には随時血糖
尿検査	尿糖、尿蛋白

■ 詳細な健診項目（医師が必要と判断した場合に実施）

心電図検査	
眼底検査	
貧血検査	赤血球数、ヘモグロビン値、ヘマトクリット値
血清クレアチニン検査	eGFRによる腎機能の評価を含む

ウ. 実施時期

4月から2月において実施します。

エ. 案内方法

対象者に、特定健康診査受診券と受診案内を個別に発送します。また、広報やホームページ等で周知を図ります。

(2) 特定保健指導

① 対象者

国が定める「特定保健指導対象者の選定基準」に基づき、特定健康診査の結果を踏まえ、内臓脂肪蓄積の程度とリスク要因数による階層化を行い、対象者を抽出します。ただし、質問票により服薬中と判断された者は、医療機関における継続的な医学的管理のもとでの指導が適当であるため、対象者から除くこととします。また、65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみ実施します。

特定保健指導対象者の選定基準

腹囲/BMI	追加リスク	喫煙歴(注)	対象	
	①血糖 ②脂質 ③血圧		40歳-64歳	65歳-74歳
≥85cm (男性) ≥90cm (女性)	2つ以上該当	あり なし	積極的 支援	動機付け 支援
	1つ該当			
上記以外でBMI ≥25	3つ該当	あり なし	積極的 支援	動機付け 支援
	2つ該当			
	1つ該当			

(注)喫煙歴の欄の斜線は、階層化の判定が喫煙歴の有無と無関係であることを意味する。

※追加リスクの基準値は以下のとおりである。

- ①血糖：空腹時血糖が100mg/dl以上 または HbA1c (NGSP値) 5.6%以上
(空腹時血糖及びHbA1c (NGSP値)の両方を測定している場合には、空腹時血糖の値を優先。)
- ②脂質：空腹時中性脂肪150mg/dl以上(やむをえない場合は随時中性脂肪175mg/dl以上) または HDLコレステロール40mg/dl未満
- ③血圧：収縮期血圧130mmHg以上 または 拡張期血圧85mmHg以上

※特定保健指導では、糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者については、対象から除いている。
※65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみを行っている。

② 実施方法

ア. 実施場所

市内の地域（仁賀保・金浦・象潟）ごとに市の保健師等により実施します。

イ. 実施内容

保有するリスクの数に応じて階層化された保健指導対象者に対し、個々の生活習慣の改善に主眼を置いた保健指導を実施します。第4期計画期間においては、特定保健指導の質の向上、対象者の利便性の向上及び負担軽減を目的として、「評価体系の見直し(アウトカム評価の導入)」、「ICTを活用した特定保健指導の推進」、「特定健診実施後の特定保健指導の早期初回面接実施の促進」等が国の指針として示されています。これらを踏まえ、保健指導の効果的・効率的な実施に努めるものとします。

ウ. 実施時期

特定健診に合わせて実施します。

エ. 案内方法

特定健診時の初回面談及び健診結果の送付と併せた案内の通知を行います。

動機付け支援

支援内容	対象者本人が、自分の生活習慣の改善点・延ばすべき行動等に気付き、自ら目標を設定し行動に移すことができるように、対象者の個性に応じた指導や情報提供等を行う。
支援形態	初回面接による支援のみの原則1回とする。 ○初回面接 一人当たり20分以上の個別支援 (ICT含む)、 または1グループ当たりおおむね80分以上のグループ支援 (ICT含む)。
実績評価	○3カ月以上経過後の評価 設定した行動目標が達成されているか並びに身体状況及び生活習慣に変化が見られたかどうかを評価する。面接または通信手段を利用して行う。

積極的支援

支援内容	特定健康診査の結果から、対象者本人が身体状況を理解し、生活習慣改善の必要性を認識し、具体的に実践可能な行動目標を自らが設定できるように行動変容を促す。 支援者は、対象者の過去の生活習慣及び行動計画の実施状況を踏まえて目標達成のために必要な支援計画を立て、行動が継続できるように定期的・継続的に支援する。	
支援形態	初回面接による支援を行い、その後、3カ月以上の継続的な支援を行う。 ○初回面接 一人当たり20分以上の個別支援 (ICT含む)、 または1グループ当たりおおむね80分以上のグループ支援 (ICT含む)。 ○3カ月以上の継続的な支援 個別支援 (ICT含む)、グループ支援 (ICT含む)のほか、電話、電子メール等のいずれか、もしくはいくつかを組み合わせる行う。	
実績評価	○3カ月以上経過後の評価 アウトカム評価 (成果が出たことへの評価)を原則とし、プロセス評価 (保健指導実施の介入量の評価)も併用して評価する。	
	アウトカム評価	
	主要達成目標	・ 腹囲2cm・体重2kg減 または、当該年の健診時の体重の値に、0.024を乗じた体重 (kg) 以上かつ同体重と同じ値の腹囲 (cm) 以上の減少
	目標未達成の場合の行動変容評価指標	・ 腹囲1cm・体重1kg減 ・ 生活習慣病予防につながる行動変容 (食習慣の改善、運動習慣の改善、喫煙習慣の改善、休養習慣の改善、その他の生活習慣の改善)
	プロセス評価	
	・ 継続的支援の介入方法による評価 (個別支援 (ICT含む)、グループ支援 (ICT含む)、電話、電子メール・チャット等) ・ 健診後早期の保健指導実施を評価	

4. 目標達成に向けての取り組み

以下は、第4期計画期間における目標達成に向けての取り組みを示したものです。

【特定健康診査】

事業分類	取り組み
特定健康診査の周知・啓発	啓発ポスターの掲示、広報
	未受診者勧奨を継続するとともに、医療機関への診療情報提供の働きかけを行う
	データ分析により40～44才の受診率が男性14.1%、女性16.7%と低いことから勧奨通知回数を増やす等勧奨の取り組みを強化する
健診体制の整備	土曜日健診の実施
	がん検診との連携

【特定保健指導】

事業分類	取り組み
特定保健指導の利用勧奨	コロナ禍で中止していた体組成測定日など、再開した保健事業への参加を通じた保健指導勧奨の実施
特定保健指導の実施体制	集団健診会場での初回面談実施継続
	データ分析により実施開始の平成20年度から対象者数は5%から減少していることから、数値目標も大事であるが、保健指導の着実な取り組みを継続していく

5. 実施スケジュール

	実施項目	当年度												次年度			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
特定健康診査	対象者抽出	↔															
	受診券送付	↔															
	特定健康診査実施	↔															
	未受診者受診勧奨						↔										
特定保健指導	対象者抽出	↔															
	利用券送付	↔															
	特定保健指導実施	↔															
	未利用者利用勧奨	↔															
前年度の評価													↔				
次年度の計画													↔				

1. 個人情報の保護

(1) 個人情報保護関係規定の遵守

個人情報の保護に関する法律及び同法に基づくガイドライン等に準じて、厳格な運用管理を行います。

また、外部委託を行う場合は個人情報の厳重な管理や、目的外使用の禁止等を契約書に定めるとともに、委託先の契約遵守状況を管理します。

(2) データの管理

特定健康診査・特定保健指導結果のデータの保存年限は原則5年とし、保存期間経過後適切に破棄します。

2. 特定健康診査等実施計画の公表及び周知

法第19条3において、「保険者は、特定健康診査等実施計画を定め、又はこれを変更したときは、遅滞なく、これを公表しなければならない。」とあります。主に参加者(特に特定健診・特定保健指導の対象者)に対し、計画期間中の取り組み方針を示し、事業の趣旨への理解を促し積極的な協力を得るため、広報、ホームページ等で公表し、広く周知を図ります。

3. 特定健康診査等実施計画の評価及び見直し

(1) 評価

特定健康診査の受診率、特定保健指導対象者の割合、特定保健指導の実施率、特定保健指導の成果(目標達成率、行動変容率)、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率等について、客観的に評価を行います。

(2) 計画の見直し

計画の見直しについては、毎年度目標の達成状況を評価し、必要に応じて見直しを行うものとします。

4. 他の健診との連携

特定健康診査の実施に当たっては、庁内連携を図り、がん検診等他の関連する検(健)診と可能な限り連携して実施するものとします。

5. 実施体制の確保及び実施方法の改善

(1) 実施体制の確保

特定保健指導に係る人材育成・確保に努めます。

(2) 特定保健指導の実施方法の改善

特定健診の集団健診時に合わせた初回面談の実施に努めます。

